OPERATION MANUAL

Mimaki

カラーインクジェットプリンタ

JV33-130/160

取扱説明書

株式会社ミマキエンジニアリング

D201693-16

目次

第 2 章　基本的な使い方

第 3 章　便利な使い方

第 4 章　日常のお手入れ

第 5 章　困ったときは

第 6 章　付録

ご注意

株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない）に関して一切の責任を負わないものとします。
また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。
一例として、本製品を使用したメディア等の損失や、作成された物によって生じた間接的な損失等の責任負担もしないものとします。
本装置を使用したことによる金銭上の損害および逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

おねがい

- この取扱説明書は、内容について十分注意しておりますが、万一ご不審な点などがありましたら、販売店または弊社営業所までご連絡ください。
- この取扱説明書は、改良のため予告なく変更する場合があります。

電波障害自主規制

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合は、使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

テレビ / ラジオの受信障害について

本装置は、使用時に高周波が発生します。このため、本装置が不適切な条件下で設置または使用した場合、ラジオやテレビの受信障害を発生する可能性があります。したがって特殊なラジオ／テレビに対しては保証しておりません。
本装置がラジオ／テレビ受信の障害原因と思われましたら、本装置の電源を切り、ご確認ください。電源を切り受信障害が解消すれば、本製品が原因と考えられます。
次の手順のいずれか、またはいくつかを組み合わせてお試しください。

- テレビやラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置をさがしてください。
- この製品から離れた場所にテレビやラジオを設置してください。
- この製品とは別の電源供給路にあるコンセントにテレビやラジオを接続してください。

はじめに

この度は、カラー インクジェットプリンタ JV33-130/160 をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。

「JV33-130/160」は、ソルベントインク (4/6/8 色) または、水性インク (4/6 色) で作図する、高画質に対応したカラーインクジェットプリンタです。

- 4 色モデル　　: シアン・マゼンタ・イエロー・ブラックの各インクカートリッジを 2 本ずつ使用可能
- 6 色モデル　　: シアン・マゼンタ・イエロー・ブラック・ライトシアン・ライトマゼンタの各インクカートリッジを 1 本使用可能 (ただし、シアン・マゼンタは 2 本)
- 6 色 + 白モデル : シアン・マゼンタ・イエロー・ブラック・ライトシアン・ライトマゼンタ・ホワイトの各インクカートリッジを 1 本使用可能 (ただし、ホワイトのみ 2 本)
- 7 色モデル　　: シアン・マゼンタ・イエロー・ブラック・ライトシアン・ライトマゼンタ・ライトブラックの各インクカートリッジを 1 本使用可能
(ただし、ライトブラックのみ 2 本)
- 8 色モデル　　: シアン・マゼンタ・イエロー・ブラック・ライトシアン・ライトマゼンタ・ホワイト・シルバーの各インクカートリッジを 1 本使用可能
(ファームウェアバージョン V4.60 より対応)

JV33-130/160 には、巻き取り装置を標準装備した高性能モデル (タイプ A) と、巻き取り装置を使用しない低価格モデル (タイプ B) があります。

取扱説明書について

- 本書は、「カラーインクジェットプリンタ JV33-130/160」（以後本装置と称します）の操作やメンテナンスなどの取り扱いについて説明いたします。
- 本書をお読みになり、十分理解してからお使いください。また、本書をいつも手元に置いてお使いください。
- 本書は、本装置をお使いになる担当者のお手元に確実に届くようお取りはからいください。
- 本書は、内容について十分注意して作成していますが、万一不審な点がありましたら、販売店または弊社営業所までご連絡ください。
- 本書は、改良のため予告なく変更する場合があります。ご了承ください。
- 本書が焼失／破損などの理由により読めなくなった場合は、新しい取扱説明書を弊社営業所にてお買い求めください。
- 取扱説明書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

本装置のご紹介

本装置の持つ特長をご紹介します。本書で説明する操作方法と併せて , 作図のご理解にお役立てください。

新世代のプリントヘッドで高画質・高速プリントを実現

1 ヘッドに 1440 ノズル (180 ノズル x8 列）を搭載した新開発のプリントヘッドを採用しました。
バリアブルドットテクノロジーを採用することにより、高画質 • 高速なプリントを可能にしました。

ダブルカートリッジ自動切換機能 (4 色モードの場合)

2 カートリッジ /1 セットのインク自動切換機能で、1 色あたり 880cc のインク容量を搭載でき、長時間のプリントを可能としました。

人に優しいエコ設計の **ES3** インクと、屋外サインに最適な **SS21** インクを用意 (ソルベントインクをお使いの場合)

ES3 インクは、特別な脱臭装置が不要で、溶剤特有の刺激臭も殆ど無く、臭いを気にされるデザイナーやオペレーターも安心してお使いになれる、作業者や環境に優しいエコ設計のインクです。
SS21 インクは屋外サインに最適で、耐水性・耐候性に優れたインクです。有機則非該当のため、特別な取り扱いや免許は不要です。

高画質・高速プリントが可能な昇華転写インクと水性顔料インクを使用可能

- 昇華転写インクは、作図した画像を違うメディアに転写したいときに使用します。
- 水性顔料インク (Pig) は耐光性に優れ、大型サインディスプレイ (看板) などの屋外用プリントに最適です。
- 水性顔料インク (Eco-PA1) は耐水性に優れ、光の乱反射が少なく染料インクに劣らない発色性と色の再現性に優れたインクです。

インク残量を表示

使用中のインクの残量を表示して確認できます。無駄なくインクやメディアを使用できます。

インテリジェントヒーター搭載

プリヒーター・プリントヒーター・アフターヒーターの 3ヵ所にヒーターを配置し、独立して温度が設定できます。
また、スタンバイモード、自動オフのインテリジェント機能の搭載により、周囲の温度を検知して温度を制御するため、お使いになるメディアに最適な加熱温度を設定できます。

簡単メンテナンス

ヘッドの自動キャッピング方式により、電源をオフする前のヘッド洗浄が不要です。また、キャップからインク排路を自動的に洗浄します。インク詰まりはクリーニング機能を実行すると復旧できます。
本装置を使用しないで放置すると、一定時間ごとにインク詰まりを回避する動作を自動的に行います。（主電源スイッチがオンになっている場合）
使用していない時間を監視して、電源をオンしたとき、およびプリント開始時に自動的にクリーニングを実行し、インク詰まりなどを防ぎます。

便利なダイレクトキー

ダイレクトキーを使用することで、使用頻度の高い機能にすばやくアクセスできます。

LED ポインタによる作図原点の設定

作図原点の変更を設定しやすくするため、キャリッジに装備された LED ポインタの光点で位置決めできるようになりました。

作図の情報が確認できる

作図中のプリント長をディスプレイに表示したり、作図条件の情報を作図して確認できます。

高速インターフェイスを使用できる

高速インターフェイス「USB2.0」を使用して、コンピュータからのデータ受信を高速に行えます。

巻き取り装置を使用した長尺作図が可能 (タイプ B は除く)

作図終了したメディアを、本装置と連動した「巻き取り装置」が巻き取ることにより、長尺作図が可能となりました。

メディア置き用のサポートバーを設置

本装置の後ろ側にメディアセット時のサポートバーを設置しました。幅広のロールメディアなど重量のあるメディアセット時に、サポート用としてお使いください。

ヘッドの高さ (2 段階) に対応

ヘッドの高さは、調整レバーにより 2mm/3mm の切り替えが可能です。

メディア両端の浮き防止

メディア押さえを使用して、幅の広いメディアの両端の浮き上がりを防止します。また、ヘッドとの接触を防ぎます。

安全にお使いいただくために

マーク表示について

本書では、マーク表示により操作上の注意内容を説明しています。注意内容により表示するマークは異なります。各マーク表示の持つ意味をご理解し、本装置を安全に正しくお使いください。

マーク表示の例

	内　容
警 告	「警告」マークは、指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。必ずよくお読みになり、正しくお使いください。
注 意	「注意」マークは、指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
重 要 !	「重要」マークは、本装置をお使いいただく上で、知っておいていただきたい内容が書かれています。操作の参考にしてください。
	「ヒント」マークは、知っておくと便利なことが書かれています。操作の参考にしてください。
	関連した内容の参照ページを示しています。
	△マークは、注意 (危険・警告を含む) を促す内容があることを告げるものです。中に具体的な注意事項 (左図の場合は感電注意) が描かれています。
	⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容 (左図の場合は分解禁止) が描かれています。
	●記号は、行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容 (左図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜いてください) が描かれています。

使用上の警告と注意

警　告

- 換気の悪い部屋、または密閉された部屋で使用しないでください。
- 換気の悪い部屋、または密閉された部屋で使用する場合は、必ずオプションの乾燥排気ユニットをお使いください。
- 付属の電源ケーブルを使用してください。
- 電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重い物をのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源ケーブルが破損し、火災・感電の原因になります。
- 湿気の多い場所の使用や、装置に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になります。
- 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常事態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに、電源スイッチをオフにして、その後必ずプラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、販売店または弊社営業所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対に行わないでください。
- 本装置やインクカートリッジの分解・改造は、絶対にしないでください。感電や故障の原因になります。
- プラテンのヒーターにホコリやゴミ等が付着しないようにしてください。発火、火災の原因になります。
- 湿気の多い場所の使用や、装置に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になります。

- 本装置で使用する専用インクは、危険物第 4 種第 2 石油類、または危険物第 4 類第 3 石油類に該当します。よって、引火する可能性があるため、本プリンターを使用する場所は、火気厳禁としてください。

- 危険な可動部に、指や体の他の部分を近づけないでください。

使用上のご注意

注　意

電源供給について

- ブレーカーは常時 ON にしておいてください。
- 背面にある主電源スイッチは OFF にしないでください。

ヒーターについて

- プラテン上に液体をかけないでください。ヒーターの故障や発火の原因になります。
- プラテンのヒーターが熱いうちに素手で触らないください。火傷の原因になります。
- 本装置を移動する場合は、ヒーターの温度が十分下がった状態で行ってください。目安として、ヒーターの電源を OFF にしてから 30 分以上お待ちください。なお、本装置の移動は、段差のない同一フロアー内とします。移設の場合は、弊社営業所、または販売店にご連絡ください。

インクの取り扱い

- 万一、インクが目に入った場合は、直ちに大量の清浄な水で 15 分以上洗い流し、まぶたの裏まで完全に洗い流してください。また、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤ってインクを飲み込んだ場合は、安静にして直ちに医師の診断を受けてください。嘔吐物は、飲み込ませないでください。その後、毒物管理センターに連絡してください。
- 蒸気を大量に吸い込んで気分が悪くなった場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移り、暖かくして安静にしてください。また、直ちに医師の診察を受けてください。
- インクには有機溶剤を使用しています。皮膚に付着した場合は、直ちに石けん水で洗った後、水で十分に洗い流してください。（ソルベントインクをお使いの場合）

メンテナンス上の注意

- インクステーションやヘッドを清掃する際は、必ず付属の手袋を着用してください。また、ソルベントインクをお使いの場合は、付属のゴーグルの着用が必要です。

ご注意とお願い

警　告

インクカートリッジの取り扱い

- JV33　専用インクをお使いください。専用インク以外を使用して故障した場合の修理は、お客様の負担になりますのでご了承ください。
- JV33　専用インク以外のインクを使用すると、装置保護のため、動作しません。
- JV33　専用のインクは、他のプリンタで使用しないでください。プリンタが壊れます。
- カートリッジ内のインクを詰め替えないでください。詰め替えたインクを使用して生じた不具合について、弊社はいっさいの責任を負いかねます。
- インクカートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は、3 時間以上室温環境下に放置してから使用してください。
- インクカートリッジは、取付直前に開封してください。開封した状態で長時間放置しておくと、正常に作図できない場合があります。
- インクカートリッジは、冷暗所で保存してください。
- インクカートリッジや廃インクタンクは、子供の手の届かない場所に保管してください。
- インクカートリッジは、開封してから 3 カ月以内に使い切ってください。開封後、長時間経過したものは、作図品質が低下します。
- インクカートリッジを強くたたいたり、激しく振り回さないでください。カートリッジからインクが漏れる場合があります。
- インクカートリッジの基板接点部分は、手で触れたり、汚したりしないでください。基板の故障の原因になります。
- 空になったインクカートリッジ・廃インクは、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください

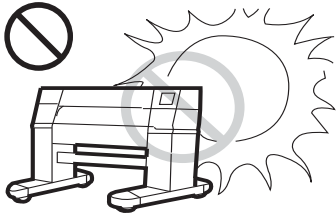
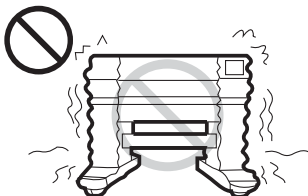
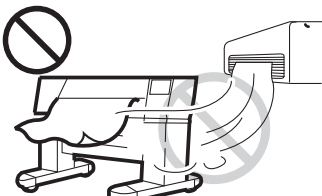
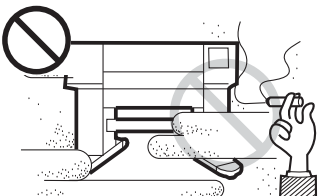
フロントカバーとレバーについて

- 作図中にフロントカバーを開けたり、レバーを上げたりしないでください。作図が終了してしまいます。

メディアの取り扱い

- 推奨メディアをご使用ください。
  安定した高画質で作図するには、弊社推奨のメディアをご使用ください。
- メディアの特性に合わせ、ヒーター温度を設定してください。
  メディアの種類や特性に合わせて、プリヒーター、プリントヒーターおよびアフターヒーターの温度を設定してください。また、専用 RIP からプロファイル指定により自動温度設定を操作パネルから指定する方法があります。指定方法は、お使いの RIP の取扱説明書を参照してください。
- メディアの伸縮にご注意ください。
  包装を開けて間もないメディアは、使用しないでください。室内の温度や湿度によって、メディアが伸縮する場合があります。包装を開けて、使用する場所で 30 分以上さらしてから装置に取り付けてください。
- カールしたメディアは使用しないでください。
  紙詰まりの原因になるだけでなく、画質にも影響を及ぼします。
  また、カールのきついメディアは、カールを取り除いてから使用してください。コーティングした定型サイズ紙をまるめて保管する場合は、コーティング面が外側になるようにしてください。

メディアとホコリについて

- メディアは袋に入れて保管してください。メディアに付着したホコリを拭き取ると、静電気により逆効果になります。
- 夜帰宅する際は、メディアをロールハンガーに掛けっぱなしにしないでください。メディアの上にホコリが付着してしまいます。

⚠ 警　告
メンテナンス上の注意
• できるだけホコリの少ない部屋で利用してください。悪環境下では、リフレッシュレベルを 2 または 3 に設定してください。(P.3-29 「リフレッシュの設定」) • 作図しないときも必ずフロントカバーは閉めておいてください。ホコリがヘッドノズルに付着する原因になります。 • 作図中に、突然インクの雫がヘッドからメディアに落ちるのもホコリが原因です。この場合は、ヘッドクリーニングを実行してください。(P.3-22 「オートクリーニングの設定をする」) • インクステーションやヘッドをクリーニングする際は、必ず付属の手袋を着用してください。また、ソルベントインクをお使いの場合は、付属のゴーグルの着用が必要です。 • キャッピングステーション、およびワイパーの拭き掃除 (ホコリ、紙粉) は、こまめに行ってください。
定期交換部品
• 本装置には定期的に交換する部品があります。機材を末永くご利用いただくためにも、必ず、年間保守契約にご加入ください。

設置上のご注意

⚠ 注　意		
直射日光が当たる場所	水平でない場所	温度や湿度の変化が激しい場所
		• 次の環境下でお使いください。 • 使用環境： 20 ～ 35 ℃ 35 ～ 65 % (Rh)
振動が発生する場所	エアコンなどの風が直接当たる場所	火を使う場所

第 1 章
ご使用の前に

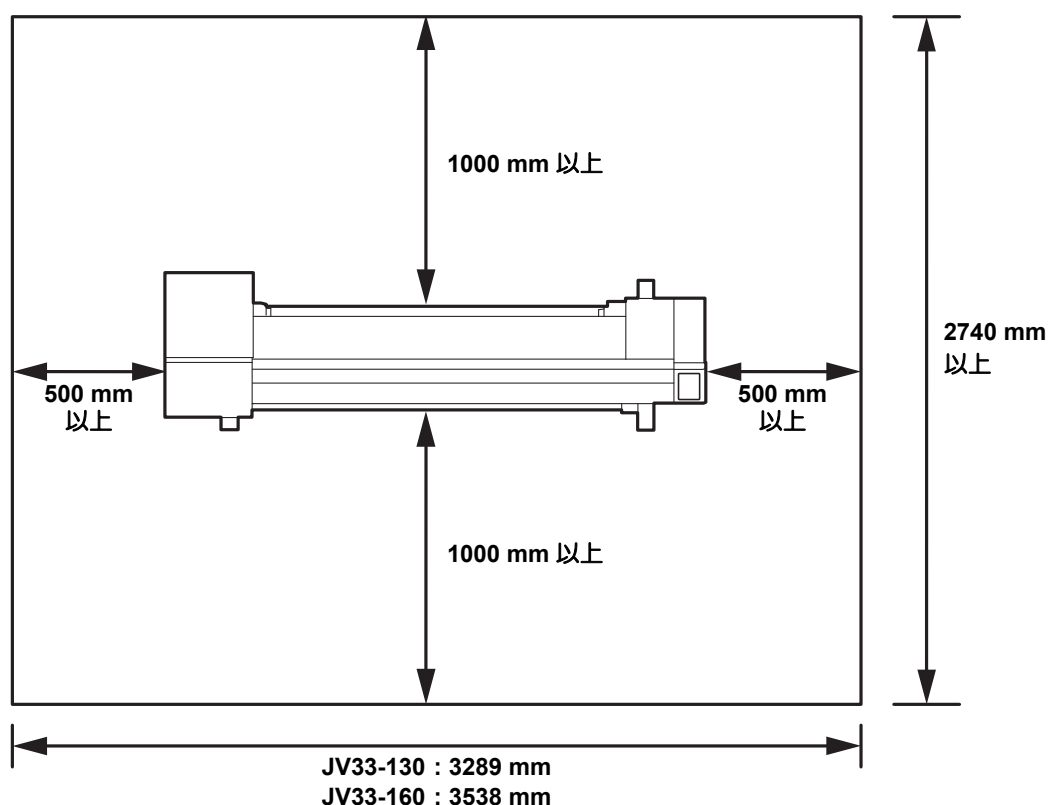
この章では ...

本装置の各部の名称や設置方法など、ご使用の前に知っておいていただきたいことについて説明します。

本装置の移動

設置場所について

本装置を組み立てる前に、設置するスペースを確保してください。
本体の大きさと作図のために必要なスペースを考慮して設置します。

機　　種	横　　幅	縦　　幅	高　　さ	全体重量
JV33-130	2289mm	739mm	1424mm	145kg
JV33-160	2538mm	739mm	1424mm	160kg

使用環境温度について

本装置は安定したプリントを行うために、20 ～ 35 ℃の環境でご使用ください。
周囲の温度条件により、ヒーター温度が設定値まで上昇しない場合があります。

本装置の移動

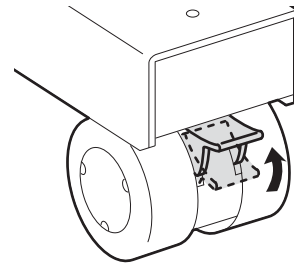
本装置をやむを得ず、段差のない同一フロアー内で移動する場合は、下記のように行ってください。

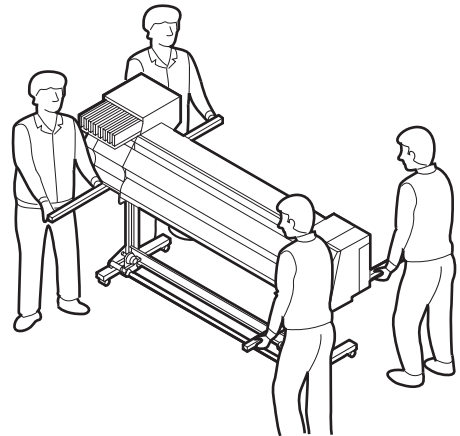
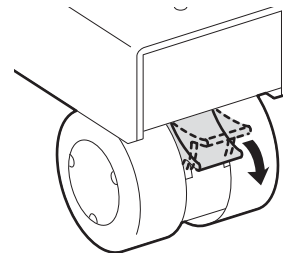
重要！

- 本装置の移設の際は、弊社営業所または販売店までご連絡ください。
  お客様が本装置の移設を行うと、故障や破損の原因になります。
  本装置の移設は、必ず専門の担当者におまかせください。

注意

- 移動するときは、大きな振動を与えないでください。
- 移動後は、必ずキャスターをロックしてください。

1 キャスターのロックを解除する

2 図のようにして、移動する

- 本装置を移動するときは、必ず 4 人以上で行ってください。
- カバーを押して移動すると、カバーが割れる可能性があります。

3 キャスターをロックする

各部の名称とはたらきについて

装置前面

メンテナンスカバー

メンテナンス時にカバーを開けます。電源スイッチがオフの場合でも、カバーは閉じておいてください。

フロントカバー

メディアのセット、メディア詰まりの処置およびステーション内部のメンテナンス時に開けます。電源スイッチがオフの場合でも、カバーは閉じておいてください。

インクカートリッジ
各色のインクが入っています。

カートリッジ保護カバー
440cc カートリッジの突出によるケガや装置の破損などを防止します。
(インクカートリッジの下にあります）

クランプレバー (前)

ピンチローラを上下して、メディアを保持 / 解放します。

キャリッジ

印字を行うヘッドがあり、左右にスキャンします。

操作パネル

本装置に必要な設定を行う操作キーや、操作項目を表示するディスプレイがあるパネルです。

電源スイッチ *1

本装置の電源をオン / オフします。

廃インクタンク

廃インクを溜めるタンクです。

巻き取り装置 (タイプ B は除く)

作図終了後のロールメディアを自動で巻き取ります。

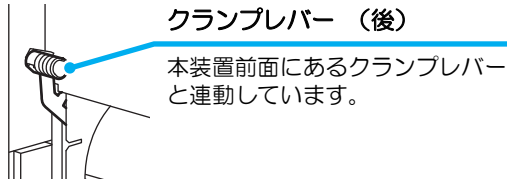
脚

本体を支える部分です。移動するためのキャスタが付いています。

プラテン
プラテンに沿って、メディアを出力します。プラテン内の３カ所にヒーターが内蔵されています。

プリントヒーター / アフターヒーター
印字中のインクの定着と乾燥を行います。
（プラテンの内側にあります。）

*1 : 電源スイッチをオンにすると操作パネル下の電源スイッチが緑色に点灯し、オフにすると点滅します。主電源スイッチ（☞ P.1-5）をオンにしておくと、電源スイッチをオフにしても定期的にインク詰まり防止動作を行います。(スリープ機能)

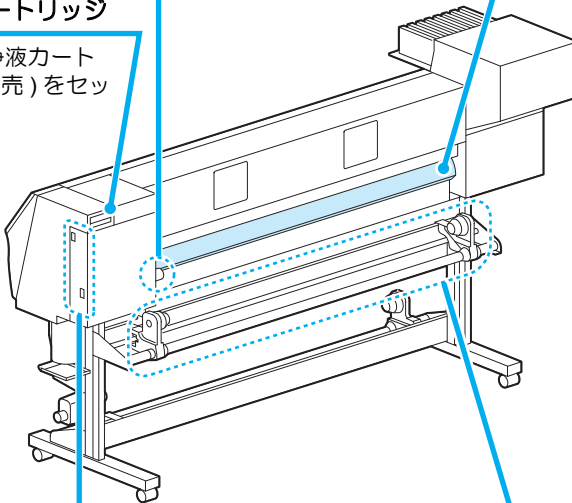
装置背面 / 側面

クランプレバー （後）

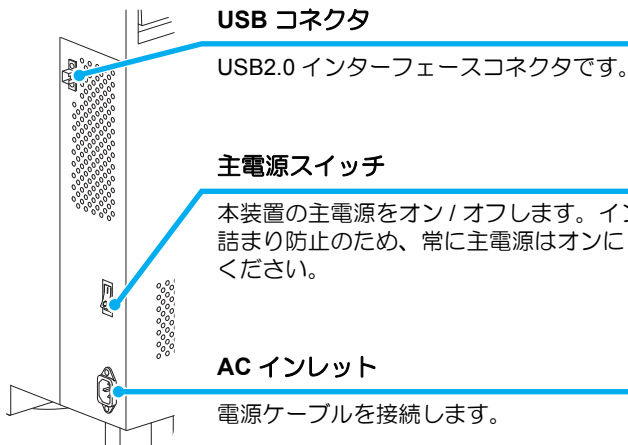
本装置前面にあるクランプレバーと連動しています。

プリヒーター

プリント前のメディアに予熱をかけます。（プラテンの内側にあります。）

洗浄液カートリッジ

専用の洗浄液カートリッジ (別売) をセットします。

ロールホルダー

ロールメディアの紙管の左右に入れて、メディアを保持します。２インチと３インチの紙管に対応しています。

USB コネクタ

USB2.0 インターフェースコネクタです。

主電源スイッチ

本装置の主電源をオン / オフします。インク詰まり防止のため、常に主電源はオンにしてください。

AC インレット

電源ケーブルを接続します。

操作パネル

操作パネルは、作図方法の設定、各種操作に使用します。

ディスプレイ

本装置の状態、設定項目、エラーなどを表示します。

ACTIVE ランプ

データ受信中や作図中に点滅します。

CONSTANT ランプ

ヒーターの温度が設定温度に達すると緑色に点灯します。

HEAT ランプ

ヒーター加熱中にオレンジ色に点灯します。("POST" はアフターヒーターを表します。)

ST.MAINTE キー

ステーションメンテをするときに使用します。

TEST DRAW キー

インク詰まりなどの作図不良がないか確認するためにテストパターンを作図します。

HEATER キー

プリントヒーター、プリヒーター、アフターヒーターの温度を設定します。現在のプラテンの温度も確認できます。

USER TYPE キー

ユーザータイプを選択するときに使用します。

CLEANING キー

インク詰まりを起こしている場合のヘッドのクリーニングを実行します。

DATA CLEAR キー

本装置が受信したデータを消去します。

ジョグキー ◀ ▶ ▲ ▼

《ローカルモード》でのヘッドやメディアの移動、作図条件の項目選択に使用します。

FUNCTION キー

各種機能設定メニューに入ります。

END キー

直前に入力した設定のキャンセルや、設定メニューを 1 つ前の階層に戻す場合に使用します。

REMOTE キー

《ローカルモード》と《リモートモード》を切り替えます。

ENTER キー

1 段下の階層メニューに移動する場合や、設定値の確定に使用します。

ジョグキーのはたらき

ジョグキーは、使用するタイミングにより機能が異なります。

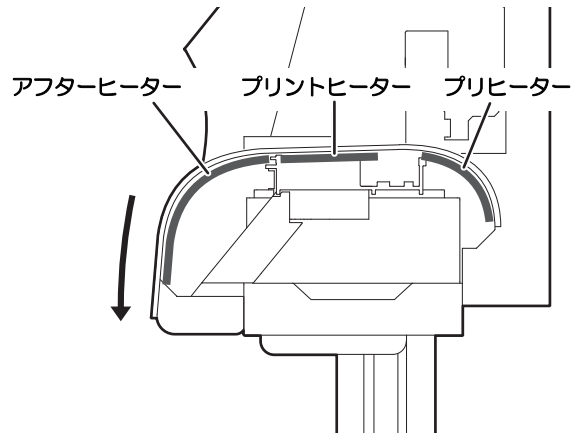
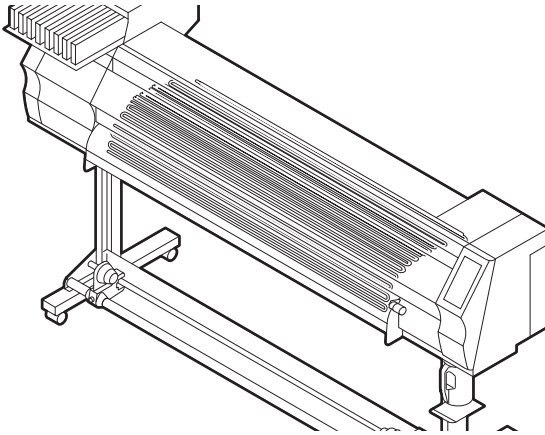
	メディア検出前	メディア検出後	機能選択時	設定の選択時
◀	メディア幅を検出	キャリッジを左へ移動		
▶	メディア幅と メディア長を検出	キャリッジを右へ移動		
▲		メディアを奥へ移動	1 つ前の機能に戻る	1 つ前の値を選択
▼		メディアを前に移動	次の機能に移る	次の値を選択

ヒーター

プラテンには、プリヒーター・プリントヒーター・アフターヒーターが内蔵されています。
プリヒーターは、印字前のメディアを予熱し、プリント部での急激な温度変化を抑えます。
プリントヒーターは、印字する際の画像品質を上げます。アフターヒーターは印刷後のインクを乾燥させます。

注意

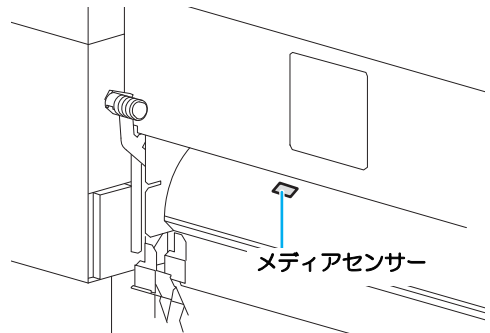
- ヒーターの加熱中は、プラテンが高温になっています。フロントカバーを開ける際やメディアを交換する際は、ヒーターの温度を下げ、プラテンの温度が十分下がってから行ってください。火傷の原因になります。
- 薄手のメディアに交換する際は、ヒーターの温度を下げてプラテンの温度が十分下がってから行ってください。プラテンが高温の状態で行うと、メディアがプラテンに貼り付いたり、シワやカールの原因になります。

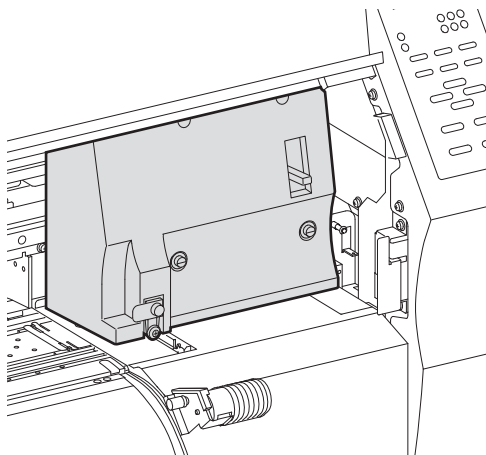
アフターヒーター
プリントヒーター
プリヒーター

メディアセンサー

メディアセンサーは、メディアの有無とメディア長を検出します。
プラテン上（背面側）にメディアセンサーが 1 箇所あります。

重要!

- メディアは、必ずプラテン後部側のメディアセンサーを覆い隠すようにセットしてください。センサー上にメディアがないと、メディア検出を実行できません。

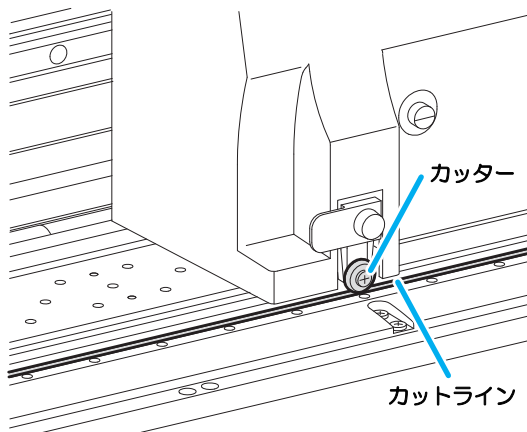
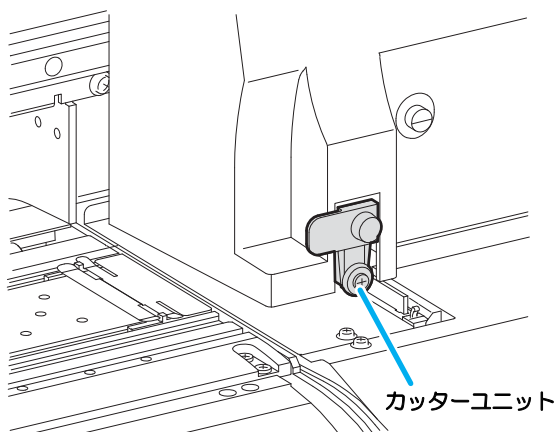
メディアセンサー

キャリッジ

キャリッジには、作図用のインクヘッドや、メディアカット用のカッターユニットなどが付いています。
また、メディアの厚さに合わせて、ヘッドの高さを２段階に調整するレバーが付いています。
（☞ P.2-6）

カッター刃とカットライン

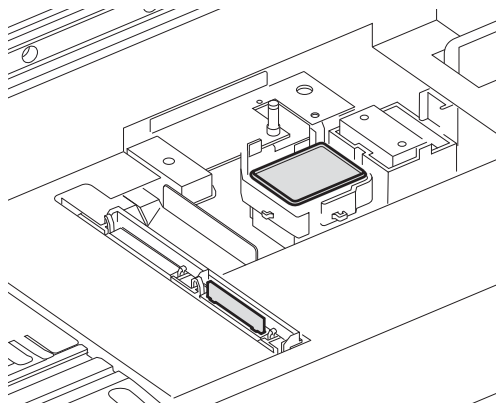
キャリッジにはメディアをカットするカッターユニットが付いています。
プラテンのカットラインに沿ってメディアをカットします。

カッターユニット

カッター

カットライン

キャッピングステーション

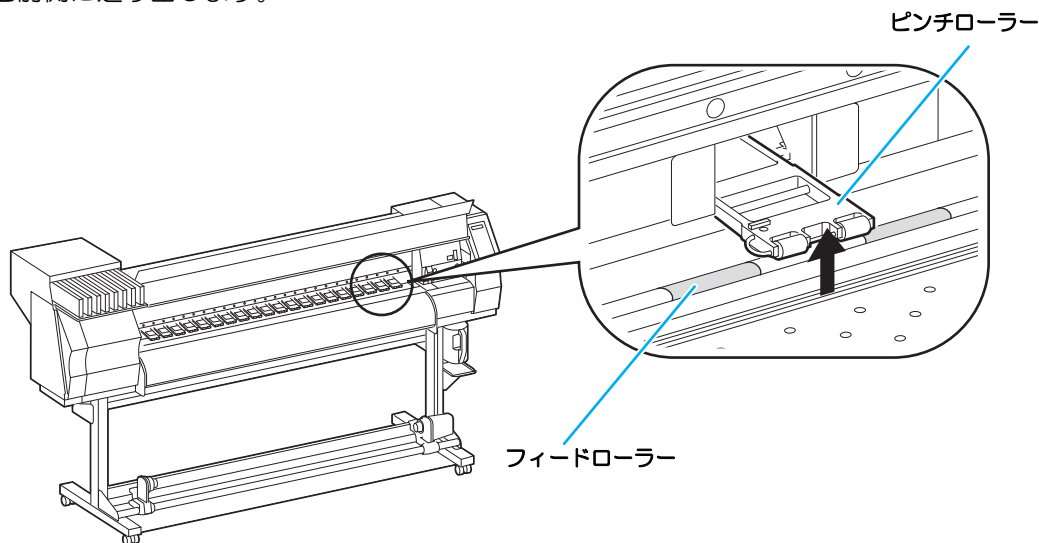
・キャッピングステーション内をクリーニングする場合は、必ず付属のゴーグルを着用してください。目にインクが入る危険があります。

キャッピングステーションは、インクキャップやヘッドのメンテナンスに必要なワイパなどで構成されています。
インクキャップは、インクヘッドのノズル乾きを防ぎます。
ワイパは、ヘッドのクリーニングに使用します。
ワイパは、消耗品です。ワイパが変形したりメディアが汚れる場合は、新しいワイパに交換してください。

ピンチローラーとフィードローラー

重要！ ・本装置を使用しない時は、ピンチローラーを上げた状態にしておいてください。ピンチローラーを下げたまま長時間放置しておくと、ピンチローラが変形し、メディアを確実に保持できなくなる場合があります。

本装置は、「ピンチローラー」と「フィードローラー」でメディアを保持し、作図時にメディアを前側に送り出します。

ピンチローラー

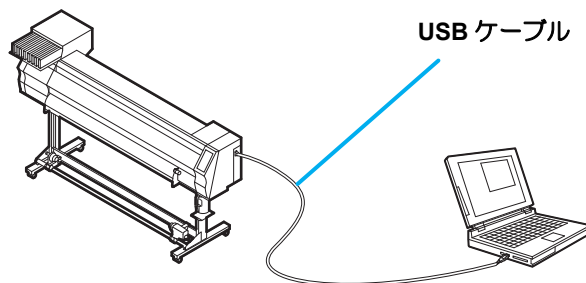
フィードローラー

ケーブルを接続する

USB2.0 インターフェイスケーブルを接続する

コンピュータと本装置をUSB2.0インター
フェイスケーブルで接続します。

注意

- ご使用の RIP が USB2.0 インターフェイスに対応している必要があります。
- USB2.0 インターフェイスがコンピュータに付いていない場合は、お近くの RIP メーカーまたは弊社営業所までお問い合わせください。

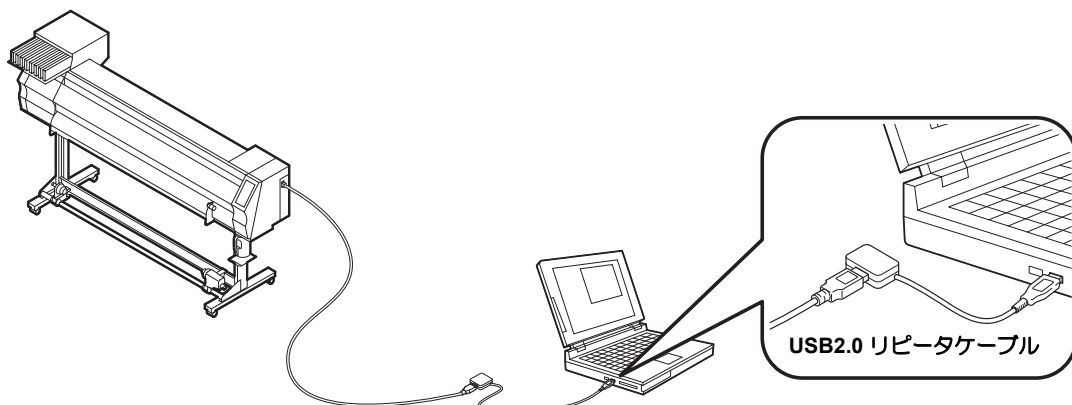
USB ケーブル

USB 2.0 インターフェイスについての注意事項

重要！

- ご使用の RIP が、USB 2.0 に対応している必要があります。

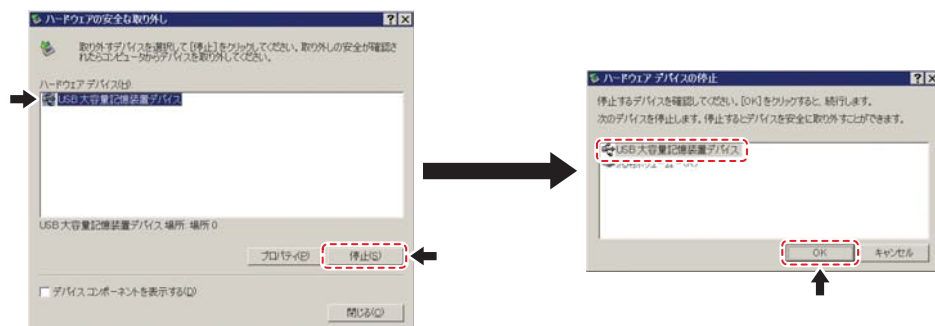
● 1 台のパソコンに複数の JV33 を接続する場合

1 台のパソコンに JV33 を複数台接続する場合、JV33 を正常に認識できない場合があります。
複数の USB ポートが付いているパソコンの場合は、他の USB ポートに接続して JV33 を認識できるか確認してください。USB ポートを変えても JV33 を認識しない場合は、市販の USB2.0 リピータケーブルを使用してください。

USB2.0 リピータケーブル

● USB ハイスピードモードの周辺機器について

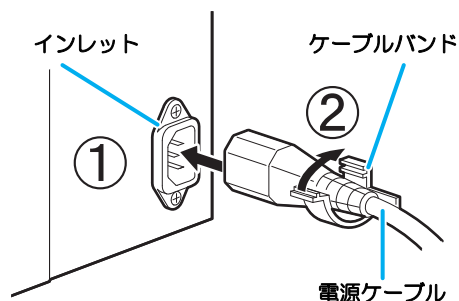
JV33 と USB ハイスピードモードで動作する周辺機器 (USB メモリ、USB-HDD など) を併用した場合、USB 機器が認識できない場合があります。
外付けの USB のハードディスクドライブなどを接続したパソコンに JV33 を接続した場合、JV33 へのデータ出力速度が遅くなる場合があります。よって、作図中にヘッドが右端または左端でいったん停止する原因になります。

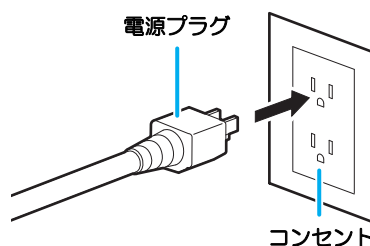
● USB メモリの抜きかた

JV33 を接続してあるパソコンに USB メモリを差してある場合は、「ハードウェアの安全な取り外し」により「停止」させてから抜いてください。
[ERROR 10 コマンドエラー] 発生の原因になります。
スプールデータをハードディスクにコピーした後、作図出力してください。

電源ケーブルを接続する

1 電源ケーブルを本装置のインレットに差し込む

2 ケーブルバンドを固定する

- 本装置に備え付けのケーブルバンドでケーブルを固定します。

3 電源プラグをコンセントに差し込む

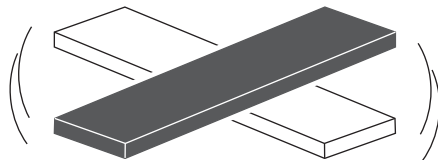
警告

- 付属品の電源ケーブル以外は使用しないでください。

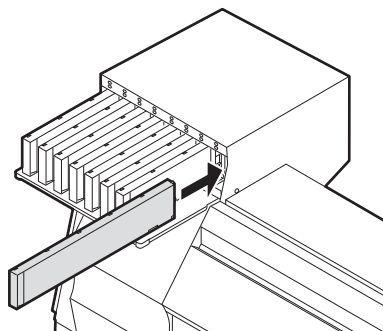
重要！

- 必ず本装置の近くにある電源コンセントに接続し、容易に取り外しができるようにしてください。
- 電源ケーブルのプラグは、アース処理したコンセントに接続してください。感電・火災の原因となります。

インクカートリッジを入れる

インクカートリッジを挿入します。

1 図のようにして、インクカートリッジを振る

2 インクカートリッジを差し込む

- IC チップがある方を左側に向けて、縦にして差し込んでください。
- ディスプレイには、次のように色を表示します。
  ブラック : K, シアン :C, マゼンダ :M,
  イエロー : Y, ライトシアン : c,
  ライトマゼンダ : m , ホワイト :W
  シルバー：S, ライトブラック：k

インクカートリッジを交換する

ディスプレイに [インクエンド] や [インクニアエンド] などが表示されたときは、次のようにしてください。

● [インクエンド] が表示されたとき

(1) 交換するインクカートリッジを引き抜く
(2) IC チップの向きに注意して、新しいインクカートリッジを差し込む

● [インクニアエンド] が表示されたとき

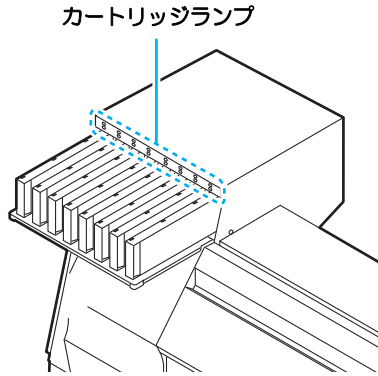
インク残量が少なくなっています。続けて作図をすることはできますが、作図中にインクがなくなる恐れがあります。早めにインクカートリッジの交換をすることをお勧めします。

重 要 !

- [インクニアエンド] 表示中は、作図中クリーニングの設定ができなくなります。（☞ P.3-24）
- 装置設置時にソルベントインクを選択している場合、ソルベントインクから転写インクまたは水性顔料インクに変更することはできません。

インクカートリッジランプについて

インクカートリッジの上にあるランプで、セット中のインクカートリッジの状態を確認することができます。

カートリッジランプ

ランプの状態		説　明
上段 赤色ランプ	消灯	異常なし
	点滅	次のいずれかのエラーを発生しています。 ・インクニアエンド ・インクエンド ・インク期限切れ (1ヶ月)
	点灯	次のいずれかのエラーを発生しています。 ・インクの残量が 0 になった ・インクカートリッジが挿入されていない ・その他のインクエラー（☞ P.5-5）
下段 緑色ランプ	消灯	異常なし
	点灯	4 色インクセットでお使いのとき、本機はインク残量の少ないインクカートリッジからインク供給を行います。この場合、使用中のカートリッジのランプが緑点灯します。

インクカートリッジ取り扱い上のご注意

- ソルベントインクには有機溶剤を使用しております。皮膚に付着した場合は、直ちに石けん水で洗った後、水で十分に洗い流してください。万一、インクが目に入った場合は、直ちに大量の清浄な流水で 15 分以上洗い流し、まぶたの裏まで完全に洗い流してください。できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 本装置には専用のインクカートリッジをお使いください。本装置は、専用のインクカートリッジを認識して動作します。インクカートリッジ等の改造により故障した場合は、保証期間内であっても保証の対象外になります。
- インクカートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は、３時間以上、室温環境下に放置してから使用してください。
- インクカートリッジは開封してから 3 カ月以内に使い切ってください。開封後、長時間経過したものは作図品質が低下します。
- インクカートリッジは冷暗所で保存してください。
- インクカートリッジは、子供の手の届かない場所に保管してください。
- 空になったインクカートリッジは、産業廃棄物の処理業者に処理を依頼してください。
- インクカートリッジを強く振らないでください。強く振ったり、振り回したりすると、カートリッジからインクがもれることがあります。
- インクカートリッジのインクを詰め替えないでください。故障の原因になります。また、インクを詰め替えて使用したことによって生じた不具合について、弊社はいっさい責任を負いかねます。
- インクカートリッジの基板接点部分は、手で触れたり汚したりしないでください。基板の故障の原因になります。
- インクカートリッジは分解しないでください。

ES3 インクのシルバー、ホワイトインクに関するご注意

ES3 インクのシルバー、ホワイトインクをお使いになる前に必ずお読みください。

- ES3 インクのシルバー、ホワイトインクは、ファームウェアバージョン 4.60 よりご使用になれます。

● シルバーインク、ホワイトインクは時間がたつと顔料が沈降します。

ES3 インクのシルバー、ホワイトインクは、長時間放置していると、顔料が沈降する性質があります。
顔料が沈降したインクでそのまま作図すると、色ムラなどが発生する原因になります。

● インクを長時間使用していなかった場合は、「特色メンテナンス」をしてから作図してください。

装置にセットしたまま、長時間使用していなかったシルバーインクやホワイトインクを使って作図をするときは、顔料の沈降による色ムラの防止のため「特色メンテナンス」を実行してください。(☞ P.2-26「特色メンテナンスを行う」)

● インクを長時間放置していると、電源投入時に警告メッセージを表示します。

インクを長時間放置していると、電源投入時にメンテナンスが必要であることをお知らせするメッセージを表示します。
P.2-28「特色メンテナンスの実行警告表示について」を参照して、メンテナンスを行ってください。

重要！

- ES3 インクのシルバーインクやホワイトインクを充填した後は、本機の主電源を切らないでください。(プリンタをご使用にならない場合は、装置前面の電源スイッチで電源をオフしてください。)

メディアについて

使用可能なメディアサイズと、その取り扱い方法について説明します。

使用可能メディアサイズ

機種名		JV33-130	JV33-160
推奨メディアの種類		ターポリン /FF(Flexible Face)/ 塩ビフィルム	
最大幅		1371mm	1620mm
最小幅		210mm	210mm
最大作図範囲		1361mm	1610mm
ロールメディア	厚さ	1.0mm 以下	
	ロール外径	Φ180mm 以下	
	ロール重量	25kg 以下	
	紙管内径	2 インチまたは 3 インチ	
	作図面	ロール外側面	
	巻き終り処理	紙管にテープ止めまたは弱粘着	

メディア取り扱い上の注意

メディアの取り扱いについて、次の点にご注意ください。

重要！

- **推奨メディアをご使用ください。**
  安定した高画質で作図するには、弊社推奨のメディアをご使用ください。
- **メディアの特性に合わせ、ヒーター温度を設定してください。**
  メディアの種類や特性に合わせて、プリヒーターおよびプリントヒーターの温度を設定してください。また、専用 RIP からプロファイル指定により自動温度設定を操作パネルから指定する方法があります。指定方法は、お使いの RIP の取扱説明書を参照してください。
- **メディアの伸縮にご注意ください。**
  包装を開けて間もないメディアは、使用しないでください。室内の温度や湿度によって、メディアが伸縮する場合があります。包装を開けて、使用する場所で 30 分以上さらしてから装置に取り付けてください。
- **カールしたメディアは使用しないでください。**
  紙詰まりの原因になります。コーティングした定型サイズ紙をまるめて保管する場合は、コーティング面が外側になるようにしてください。

メニューモードについて

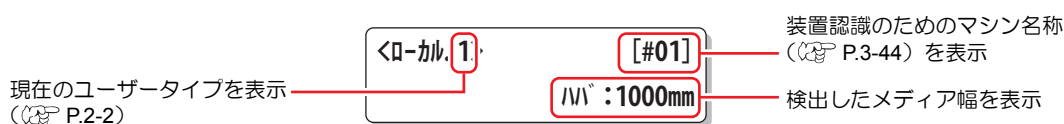
本装置には 4 つのモードがあります。各メニューモードについて説明します。

ノットレディモード

メディアを検出する前のモードです。(REMOTE)/(TEST DRAW)キー以外のキーが有効です。

ローカルモード

ローカルモードは、作図準備状態のモードです。
全てのキーが有効です。
コンピュータから、データを受信できます。ただし、作図は行いません。

ローカルモード中のディスプレイ表示

ローカルモードでは以下の操作が可能です。

- ジョグキーを押して、作図原点や作図範囲を設定します。
- (TEST DRAW)キーを押して、「テスト作図」を行います。
- (CLEANING)キーを押して「ヘッドクリーニング」を行います。
- (FUNCTION)キーを押して、各種機能を設定します。（→ファンクションモードへ）
- (HEATER)キーを押して、ヒーターの温度を設定します。
- (ENTER)キーを押して、インク残量、カートリッジエラーの内容、機種名およびファームウェアバージョンなどを確認します。
- (REMOTE)キーを押して、「ローカルモード」と「リモートモード」を切り替えます。
- (DATA CLEAR)キーを押して、受信した作図データを消去します。
- (USER TYPE)キーを押して、ユーザータイプを変更します。
- (ST.MAINTE)キーを押して、メンテナンス機能の [ステーションメンテナンス] をダイレクトに選択します。

ファンクションモード

ローカルモード時に、(FUNCTION)キーを押すとファンクションモードになります。
各ファンクション機能を設定します。

リモートモード

受信したデータを作図します。
作図中に(REMOTE)キーを押すと、一時停止します。

第 2 章
基本的な使い方

この章では ...

インクやメディアの準備から作図までの手順や設定方法について説明します。

ユーザータイプについて

本装置を使って作図をするとき、メディアの特性に合わせたプリント設定を作成（ユーザータイプの設定）することにより、より高画質な作図を実現することができます。
本装置では、ユーザータイプ 1 ～ 4 の 4 種類のタイプを設定できます。

ユーザータイプに登録できる設定内容

ユーザータイプ（1 ～ 4）への登録方法は、P.3-2 を参照してください。

設定項目	参照ページ	設定項目	参照ページ
メディア補正の設定	P.3-5	リフレッシュの設定	P.3-28
ヒーターの設定	P.3-8	吸着の設定	P.3-28
作図方式の設定	P.3-12	フィード速度レベルの設定	P.3-28
重ね塗りの設定	P.3-28	優先順位の設定	P.3-20
乾燥時間の設定	P.3-18	オートクリーニングの設定	P.3-22
オートカットの設定	P.3-28	作図中クリーニングの設定	P.3-24
プリフィードの設定	P.3-28	メディア検出の設定	P.3-26
マージンの設定	P.3-19	送り原点の設定	P.3-28
カラーパターンの設定	P.3-28		

登録したユーザータイプを使用する

1 ローカルモードで、(USER TYPE) キーを押す

USER TYPE

```
< ローカル. 1 >          [ #01 ]
              ハハ゛ ****mm
```

2 (▲)(▼) でユーザータイプ（1 ～ 4）を選択する

- (USER TYPE) キーを押しても選択できます。

```
   ユーザ゛ータイフ゜  ヘンコウ
タイフ゜ （1）-> <2>   :ent
```

3 (ENTER) キーを押す

ENTER

```
< ローカル. 2 >          [ #01 ]
             ハハ゛ : ****mm
```

選択したユーザータイプの番号

(USER TYPE) を使わないでユーザータイプを選ぶには

(USER TYPE) キーを押さなくても、ローカルモードから (FUNCTION) キーを使ってユーザータイプを選ぶことができます。

ローカルモードで (FUNCTION) を押す → ［セッテイ］を確認後、(ENTER) を押す → (▲)(▼) を押してユーザータイプ（1 ～ 4）を選ぶ → (ENTER) を押す

作業の流れ

1 電源を入れる / 切る

「電源を入れる / 切る」（☞ P.2-4）を参照してください。

2 メディアをセットする

「メディアをセットする」（☞ P.2-6）を参照してください。

3 ヒーターの準備をする

「ヒーターの準備をする」（☞ P.2-18）を参照してください。

4 テスト作図をする

「テスト作図をする」（☞ P.2-20）を参照してください。

5 データを作図する

「データを作図する」（☞ P.2-30）を参照してください。

電源を入れる / 切る

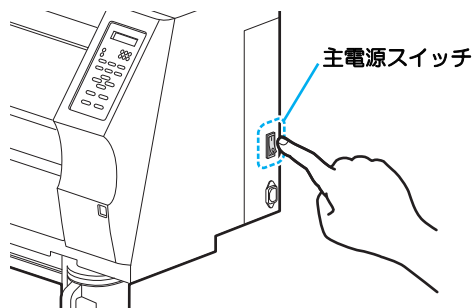
電源を入れる

本装置には、2 つの電源スイッチがあります。

主電源スイッチ：本装置の側面にあります。常時「オン」にしておいてください。

電源スイッチ：通常、電源のオン / オフをするときはこのスイッチを使用します。
電源がオンのときは電源スイッチが緑色に点灯し、オフにすると緑色に点滅します。
電源スイッチがオフでも、主電源スイッチがオンになっていれば（電源スイッチが緑色点滅）、定期的に電源が自動的に入り、ノズル詰まり防止機能が動作します。

1 主電源スイッチを入れる

- 装置側面にある主電源スイッチを「I」側に倒します。

主電源スイッチ

- 電源をオンにするとファームウェアのバージョンを表示します。

```
JV33-160          V*.**
```

- 初期動作を実行します。

```
シハ゛ラク オマチクタ゛サイ
```

2 ローカルモードになる

```
<ローカル.1>        [#01]
```

3 接続しているコンピュータの電源をオンにする

重要！

- フロントカバー / メンテナンスカバーを閉じてから電源を入れてください。
- 主電源スイッチを「オフ」のまま長時間放置すると、ヘッドのノズル詰まりの原因となります。

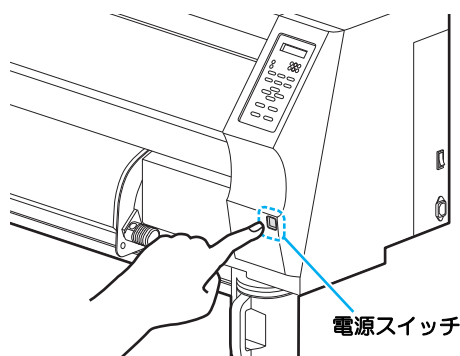
電源を切る

プリンタの使用が終了したら、装置前面にある電源スイッチを押して電源をオフにします。
電源を切るときは、次のことを確認してください。

- コンピュータからデータを受信中ではないか、また、未出力のデータが残っていないか。
- ヘッドはキャッピングステーションに戻っているか。
- エラーは発生していないか。（☞ P.5-9「エラーメッセージ」）

1 接続してあるコンピュータの電源をオフにする

2 電源スイッチを押して、電源を切る

- 電源スイッチが緑色に点滅します。
- 装置側面にある主電源スイッチは、切らないでください。
- 次に、本装置をご使用になるときは、電源スイッチを押して緑色ランプを点灯させてからお使いください。

電源スイッチ

電源を切るときのご注意

● **主電源スイッチは切らないでください。**
主電源スイッチが入っていると、定期的に電源が入りノズル詰まり防止機能（フラッシング機能）が働きます。
主電源スイッチを切っていると、フラッシング等のスリープ機能が働かず、ノズル詰まりの原因となります。

● **フロントカバー / メンテナンスカバーは閉めた状態にしてください。**
カバーが開いていると、フラッシング等のスリープ機能が働かなくなります。

● **ヘッドの位置を確認してから電源を切ってください。**
ヘッドがキャッピングステーションに戻っていない状態で電源を切ると、ヘッドが乾燥してノズル詰まりの原因となります。
このときは、再度、電源を入れ、ヘッドがキャッピングステーションに戻ったことを確認してから電源を切ってください。

● **作図中は電源を切らないでください。**
ヘッドがキャッピングステーションに戻らないことがあります。

● **電源スイッチを切ってから、主電源スイッチを切ってください。**
装置の移動や装置のエラー対処等で主電源スイッチを切る場合、必ず、装置前面にある電源スイッチを押し、操作パネルのディスプレイ表示が消えていることを確認してから主電源スイッチを切ってください。

メディアをセットする

本装置では、ロールメディアとリーフメディアをご使用になれます。
使用できるメディアについては、P.1-15「使用可能メディアサイズ」を参照してください。

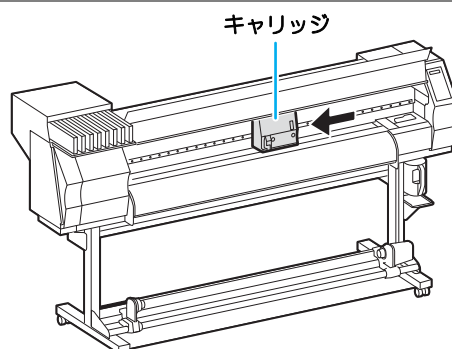
ヘッド高さを調整する

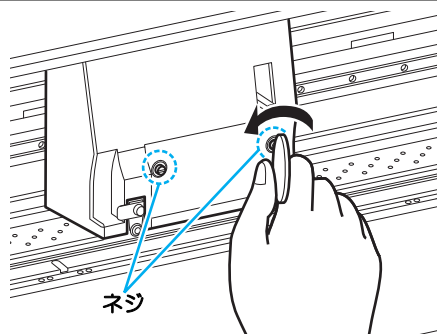
お使いになるメディアの厚みに合わせて、ヘッド高さを調節してください。

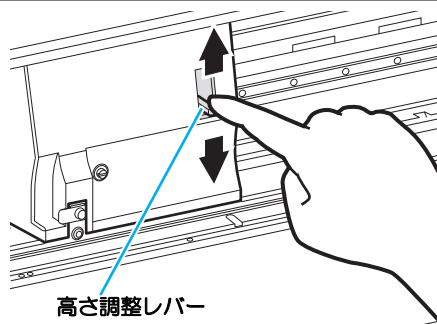
重要！

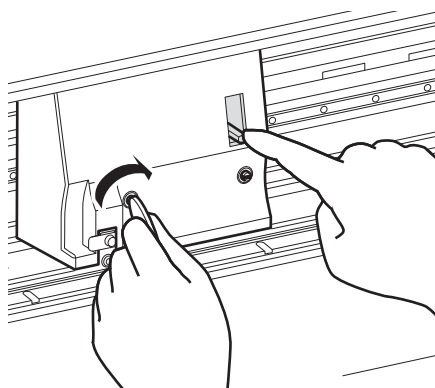
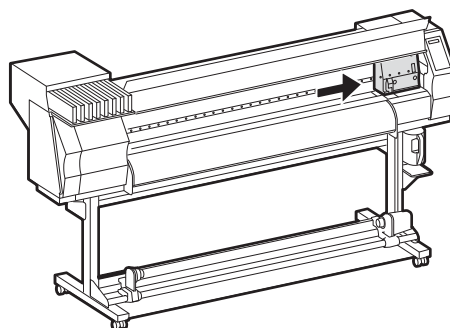
- ヘッド高さの調整は、メディアをセットする前に行ってください。メディアをセットしたあとに調整すると、メディア詰まりや作図品質の低下、ヘッドの破損の原因となります。
- 使用目的に応じ、ヘッド、イニシャル高さのレンジを 2 段階に調整できます。
- JV33 の印刷高さ範囲は、一般印刷 (L レンジ :2mm/3mm) から転写印刷 (H レンジ :4mm/5mm) です。(出荷時は、L レンジ 2mm で設定)
- 作図品質を " ソウホウコウ " にセット（P.3-14）している場合、ヘッド高さの調整後にメンテナンス機能の「ドット位置補正」をしてください。(P.4-25)

1 キャリッジをプラテン上に移動する

- 電源オン時
  メンテナンス機能の「ステーションメンテナンス - キャリッジアウト」を実行 (P.4-6 手順 1,2)
- 電源オフ時
  フロントカバーを開け、手でキャリッジを動かす

2 正面にある 2ヶのネジを緩める

- ドライバー等を使って、1 回程度回して緩める

3 高さ調整レバーをメディアに応じて調整する

- 「調整レバーとレンジについて」を参照して、レバーの位置を調整してください。
- 高さ調整レバーは、確実に上か下に設定してください。レバーが中間にあると、作図異常をおこします。

4 高さ調整レバーを押さえたまま、2ヶのネジを締める

- 必ず、高さ調整レバーを押さえながらでネジを締めてください。正常な位置にヘッドを固定できません。
- ネジは緩まないように確実に締めてください。

5 キャリッジをステーションに戻す

調整レバーとレンジについて

レンジ	高さ調整レバー	ヘッド高さ	切換エリア	
L レンジ (一般印刷)	Thin / ウスイ	2mm (出荷時設定位置)	ユーザー切換	サービスマン切換 L ⇔ H の変更については、弊社営業へお問い合わせください。
	Thick / アツイ	3mm		
H レンジ (転写系印刷)	Thin / ウスイ	4mm		
	Thick / アツイ	5mm		

- ターポリンや FF のように厚いメディアをお使いになる場合は、レバーを「厚い (Thick)」にセットしてください。
- メディアの種類により、ヘッドにホコリが付着しやすい場合やインクこすれが発生する場合、レバーを「厚い (Thick)」にセットしてください。

注意

- ソルベントインクの場合は、H レンジでご使用にならないでください。画質の保証ができません。
- 1mm 厚以下のメディアと SS21 インクの組み合わせでお使いの場合、ヘッド高さはウスイ（Thin）に必ず設定してください。
  ヘッド高さをアツイ（Thick）で使用すると、ヘッドギャップ（メディアからヘッドノズル面の高さ）が空きすぎてインク滴が飛び散ることがあり、画質の保証ができません。
- 装置設置後に転写インクからその他の水性インクに変更する場合、または水性顔料インクから転写インクに変更する場合、ヘッドイニシャル高さ (H/L レンジ）の調整が必要です。弊社営業にご相談ください。

ロールメディアをセットする

ロールメディアは、装置背面にあるロールメディアハンガーにセットします。

注意

- セットするときは、メディアを足などに落とさないように注意してください。メディアの重みで怪我をすることがあります。
- ロールストッパーアームはクランプレバーに連動して動きます。 ロールストッパーアームと本体の間にロールストッパーが入り込んだ状態で、クランプレバーを下げないでください。ロールストッパーアームを破損し、ロールストッパー機能[*1]が使用できなくなることがあります。

OK

ロールストッパーアーム

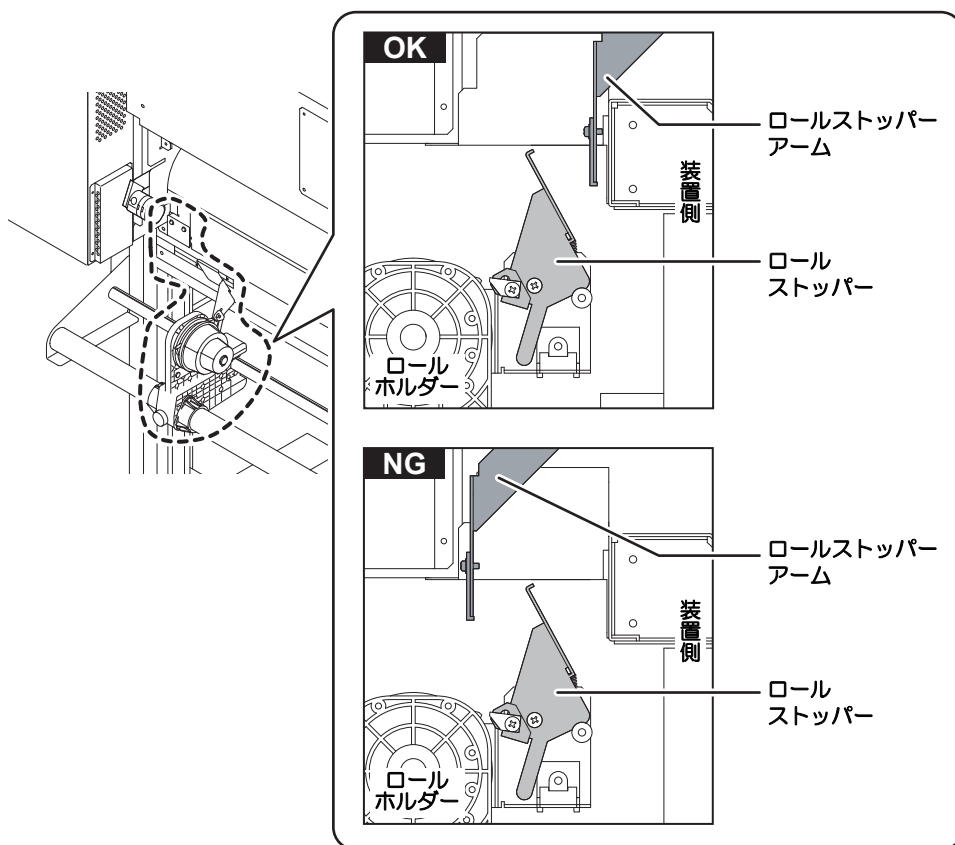
装置側

ロールストッパー

ロールホルダー

NG

ロールストッパーアーム

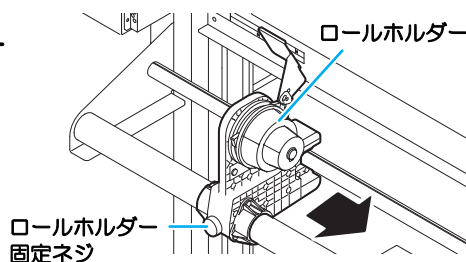
装置側

ロールストッパー

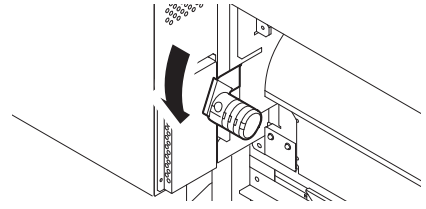
ロールホルダー

*1. 一定量引き出すと、メディア引き出しが一時固定される機能

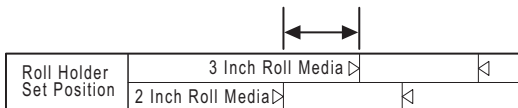
1 装置背面にあるロールホルダーを、装置中央方向に移動する

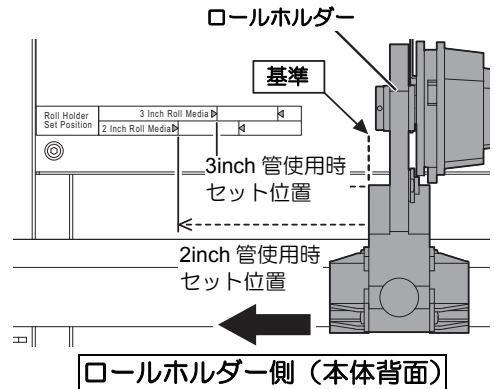
- ロールホルダー固定ネジを緩めてから移動させます。

ロールホルダー

ロールホルダー固定ネジ

2 クランプレバーが下がっていることを確認する

3 ロールホルダーをロールセット位置へ移動する

基準位置がこの範囲内に入るように、ロールホルダーをセットすること。

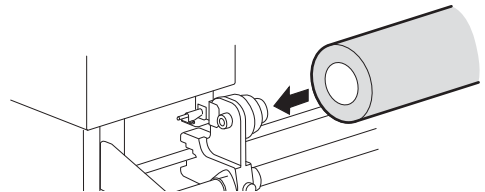
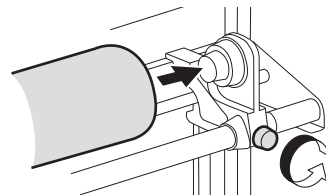
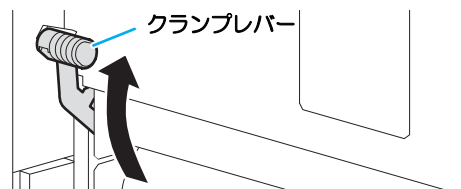
Roll Holder Set Position	3 Inch Roll Media ▷	◁
	2 Inch Roll Media ▷	◁

- ロールメディアの紙管の内径は、2 インチと 3 インチの 2 種類があります。

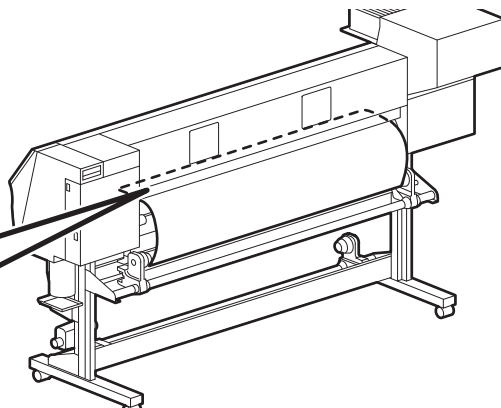
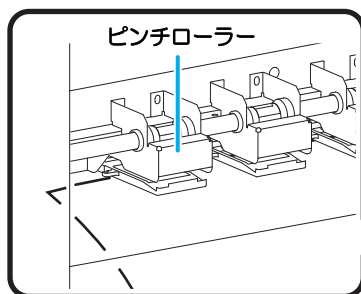
ロールホルダー
基準
3inch 管使用時セット位置
2inch 管使用時セット位置
ロールホルダー側（本体背面）

- ロールストッパーアームと本体の間に、ロールストッパーが入り込んでいないことを確認してください。

4 ロールホルダー固定ネジを締める

- 手順 2 ～ 3 を、再度確認してください。

5 左側のホルダーにロールメディアの紙管を差し込む

- 紙管が動かなくなるまで、奥に差し込んでください。

6 右側のロールホルダーのネジを緩め、ホルダーに紙管を差し込む

7 装置背面のクランプレバーを上げる

クランプレバー

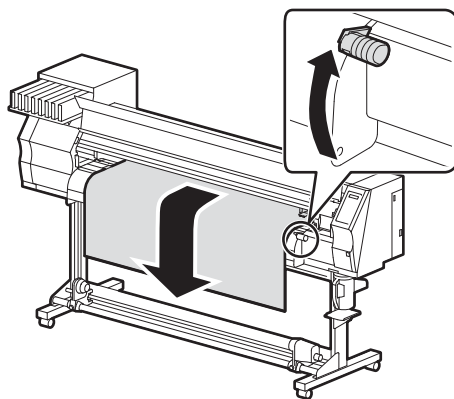
8 本装置にロールメディアを差し込む

ピンチローラー

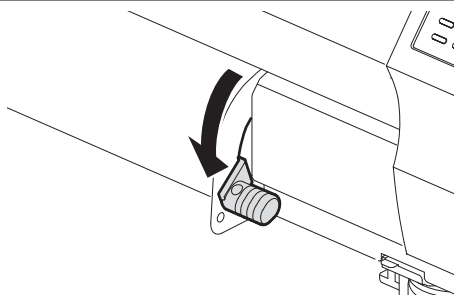
- メディアを斜めにすると、引っ掛かりが少なくスムーズに差し込めます。

(1) プラテンの先端まで届くくらい、メディアを引き出す
(2) プラテンとピンチローラーの間にメディアを差し込む
- 装置前面からメディアをつかめるくらい、メディアを送り出してください。

(3) 装置背面からクランプレバーを下げる
- メディアが保持されます。

9 ロールメディアを引き出す

(1) フロントカバーを開ける
(2) 装置前面からクランプレバーを上げる
(3) ロールメディアを静かに引き出し、軽くロックのかかる位置で止める

10 ロールメディアを均等にし、クランプレバーを下げる

- メディアの数カ所を軽く引っ張り、ロールメディアの引き出し量がほぼ均等になっているのを確認してから、クランプレバーを下げてください。

11 メディア押えでメディアを軽くはさむ

- 右端のピンチローラーより右側にメディアがはみ出さないようにセットしてください。
- 厚みのあるメディアを使用する場合は、メディア押えをメディアから外して作図してください。

メディア押さえ

注意

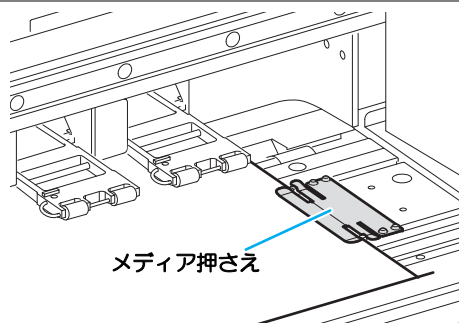
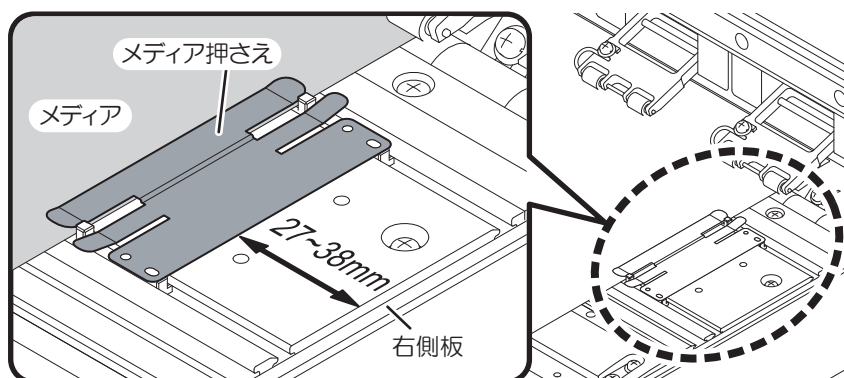
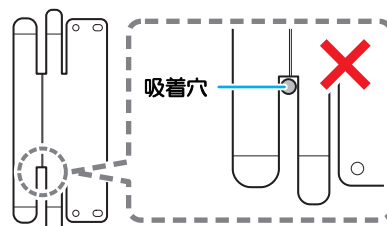
- メディア押さえが右側板に接する位置でメディアをセットしないでください。メディアが斜行した場合、メディアが浮き上がりヘッドを破損する原因になります。
- メディアが規定位置より右に寄っていると、メディア検出後、次の警告を表示してお知らせします。メディアをセットし直してください。

```
***** ERROR 50 *****
メテ゛ィア イチ ミキ゛ スキ゛ マス
```

メディア押さえ
メディア
27~38mm
右側板

メディア押さえの位置：右側版から 27 ～ 38mm
（メディア紙管の内径ばらつきにより、上記の範囲で変動します。）

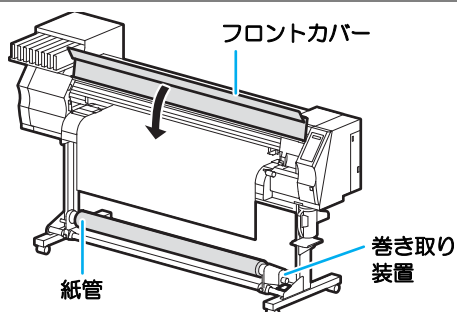
- メディアとメディア押さえの間にプラテン上の吸着穴がこないようにお気をつけください。（メディア汚れの原因になります。）

吸着穴

12 巻き取り装置を準備する

- タイプ B の場合、巻き取り装置は装着されていません。そのまま手順 13 へ進んでください。

(1) 巻き取り装置に空の紙管をセットする
(2) フロントカバーを閉じる

フロントカバー
巻き取り装置
紙管

基本的な使い方

13 (◀)を押して、“ロール”を選択する

メテ゛ィア　センタク	
ロール<	> リーフ

- メディア幅を検出します。
- メンテナンス機能の「メディア残量表示」の設定が “ON” の場合 (P.4-37)、メディア幅の検出後メディア残量入力画面を表示します。(P.2-12)

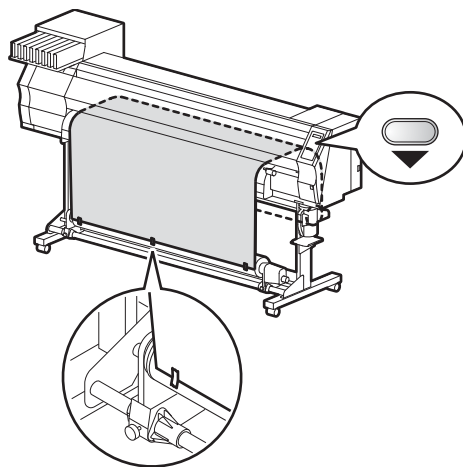
14 巻き取り装置にメディアを固定する (P.2-13)

- タイプ B をお使いの場合、この操作は不要です。

(1) (▼)を押して、巻き取り装置の紙管に届くまでメディアをフィードする

(2) 粘着テープでメディアの中央を固定する

(3) 同様にしてメディアの左右を固定する

- ロールメディアを左右均等に引っ張り、メディアにタルミ、シワが無いことを確認し、テープを貼ってください。

メディア残量入力について

メンテナンス機能の「メディア残量表示」の設定を “ON” にしている場合 (P.4-37)、メディア幅の検出が終了すると、メディア残量の入力画面が表示されます。

1 メディア残量入力画面を表示する

メテ゛ィア　ナカ゛サ　ニュウリョク
メテ゛ィア　ナカ゛サ　　=xxx.xm

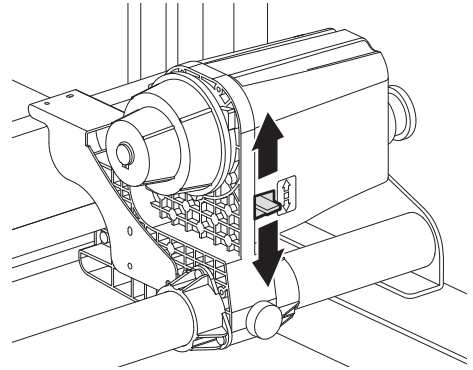
2 (▲)(▼)を押して、メディア残量を入力する

メテ゛ィア　ナカ゛サ　ニュウリョク
メテ゛ィア　ナカ゛サ　　=　50.0m

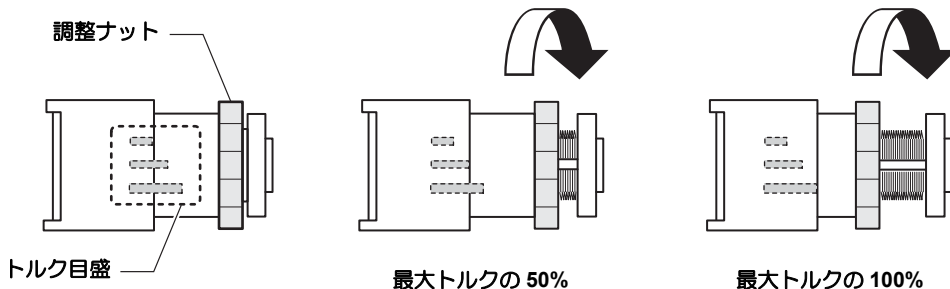
3 (ENTER)キーを押す

巻き取り装置について (タイプ B は除く)

巻き取り装置のスイッチを使って、メディアの巻き取り方向の選択などができます。

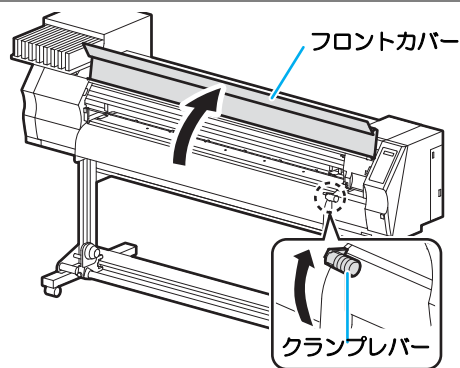
レバー上（REVERSE）：作図面を内側にして巻き取る
レバー中（OFF）　　：巻き取り動作をしない
レバー下（FORWARD）：作図面を外側にして巻き取る

トルクリミッタを調節する

巻き取り装置には、トルクリミッタが付いています。トルクリミッタを調整して、巻き取りの強さを変更できます。（工場出荷時は、トルクリミッタを最も強く設定してあります。）
薄いメディアを使用してテンションが強すぎる時は、調節を弱めてください。

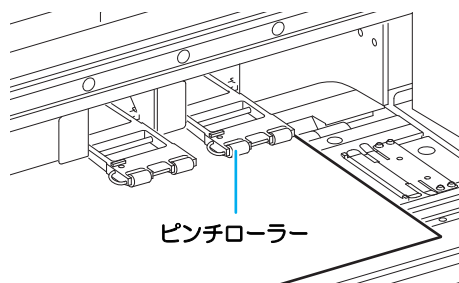
- 時計回り　：テンションが強くなる（ターポリン等の重量のある厚いメディア）
- 反時計回り：テンションが弱くなる（軽いメディア）

重 要！
- トルクリミッタの調節が弱すぎると
  メディアを確実に巻き取ることができません。
- トルクリミッタの調節が強すぎると
  メディアによってはたるんでしまい、画質に影響する場合があります。

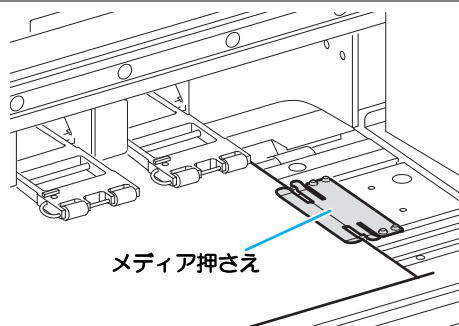
リーフメディアをセットする

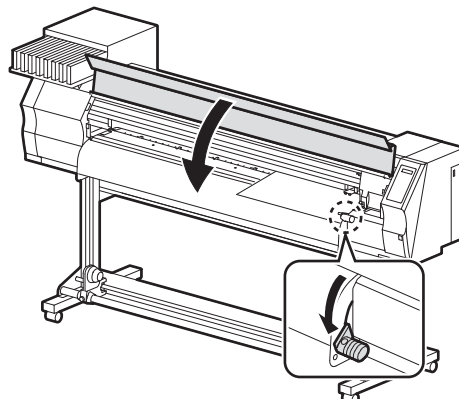
リーフメディアは、メディアをロールホルダーに固定する必要はありません。

1 フロントカバーを開ける

2 クランプレバーを上げる

3 リーフメディアをピンチローラーとプラテンの間に差し込む

- メディアが右端のピンチローラーより右側にはみ出さないようにセットしてください。

4 メディア押えでメディアを軽くはさむ

- 右端のピンチローラーより右側にメディアがはみ出さないようにセットしてください。
- 厚みのあるメディアを使用する場合は、メディア押えをメディアから外して作図してください。

5 クランプレバーを下げる

- メディアはまっすぐにセットしてください。

6 フロントカバーを閉じる

7 ENTER キーを押す

ENTER

8 ▶ を押して、“リーフ”を選択する

▶

メテ゛ィア　センタク
ロール<　　　　　　> リーフ

9 メディアの検出を始める

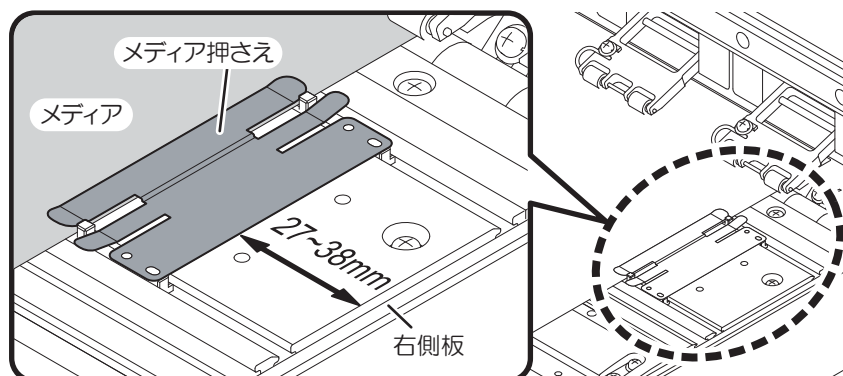
メテ゛ィア　ケンシュツ　チュウ
シハ゛ラク　オマチクタ゛サイ

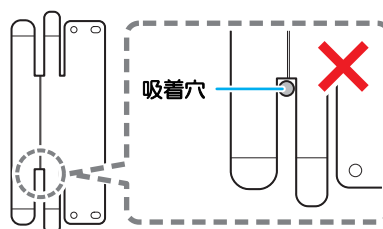
(1) メディア幅を検出する
(2) メディアがフィードし、メディア後端の検出をする
(3) 検出が終わると、ローカルモードに戻る

メディア押さえをお使いになるときの注意事項

注意

- メディア押さえが右側板に接する位置でメディアをセットしないでください。メディアが斜行した場合、メディアが浮き上がりヘッドを破損する原因になります。
- メディアが規定位置より右に寄っていると、メディア検出後、次の警告を表示してお知らせします。メディアをセットし直してください。

***** ERROR 50 *****
メテ゛ィア　イチ　ミキ゛　スキ゛　マス

メディア押さえの位置：右側版から 27 ～ 38mm
（メディア紙管の内径ばらつきにより、上記の範囲で変動します。）

- メディアとメディア押さえの間にプラテン上の吸着穴がこないようにお気をつけください。（メディア汚れの原因になります。）

2 基本的な使い方

原点を変更する場合は

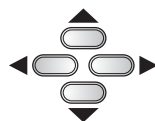
作図原点の位置を変更することができます。
変更したい位置へ LED ポインタを移動させて決定します。

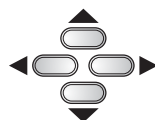
1

ローカルモードで、
[▲][▼][◀][▶]を押す

ケ゛ンテン　セッテイ
０．０　　　———

- 原点設定モードになります。

2

[▲][▼][◀][▶]を押して、LED ポインタの光点を変更したい位置へ合わせる

- [▲][▼][◀][▶]でキャリッジとメディアを移動させて選びます。

ケ゛ンテン　セッテイ
０．０　　０．０

原点位置（長さ）
原点位置（幅）

3

作図原点を決定したら、
[ENTER]キーを押す

ENTER

ケ゛ンテン　セッテイ
＊＊　ケ゛ンテン　＊＊

- 原点が変更されます。

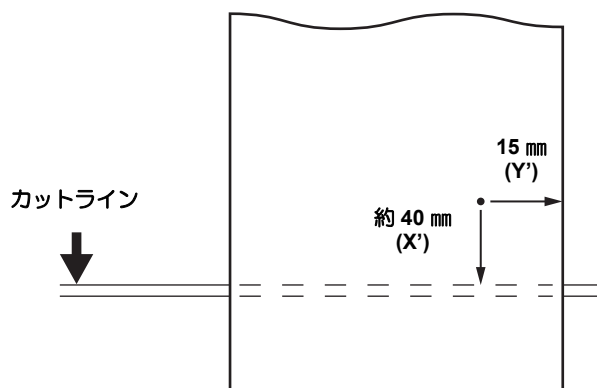
- ここで設定した原点位置は、メディアの送り方向に対して数センチずれています。セッテイモードの「オクリゲンテン」を “ON” にすれば、原点を LED ポインタの光点位置に正確に合わせることができます。(☞ P.3-4)

原点設定位置の目安

作図原点は、奥行方向 (X') はカットラインから奥側約 40 mm の位置になります。
横方向 (Y') の値は、メディア右端より 15 mm です。セッテイモードの「マージン」(☞ P.3-3) により変更できます。また、ジョグキーを使って変更することもできます。

カットライン

15 ㎜
(Y')

約 40 ㎜
(X')

ヒーターの準備をする

ヒーターの温度設定を変更する

ヒーターの温度設定は、セッテイモードの「ヒーター」で変更・保存できます。（☞ P.3-8）
ここでは、セッテイモードで設定した温度の変更方法について説明します。
お使いになるメディアに合わせて、ヒーター温度を設定してください。

- お買い上げ時、ヒータの温度設定は "OFF" になっています。
- 作図中にも温度の調整ができるため、適切な温度調整ができます。
- 周囲の温度により、設定した温度に到達するまでに数分から数十分かかることがあります。

1 HEATER キーを押す

- ディスプレイの "AFT" は操作パネル上では "POST" を示します。

HEATER

```
PRE    PRT    AFT
35°C   40°C   50°C
```

ヒーター温度確認画面

2 HEATER キーを押す

HEATER

```
 40°C   40°C   50°C
( OFF    OFF    OFF )
```

タイプ登録の [ヒーター] で設定されている温度

3 ▲ ▼ ◀ ▶ を押して、各ヒーターの温度を設定する

ヒーターの選択: ◀ ▶ で選ぶ
温度の設定: ▲ ▼ で設定

設定温度：20 〜 50 ℃

```
 40°C   40°C   50°C
( OFF    OFF    OFF )
```

- ヒーターの加熱が始まります。（[HEAT] ランプがオレンジ点灯）

4 ヒーターの加熱が終了する

- ヒーターの温度が設定温度に達すると、[HEAT] ランプが消灯し、[CONSTANT] ランプが緑色に点灯します。

5 終了するとき、ENTER キーを押す

- ローカルモードに戻ります。

- あらかじめ、お使いになるメディアに合わせてヒーターの温度を登録しておくことができます。☞ P.3-2「作図条件をまとめて登録する (タイプ登録)」
- 上の操作で設定した温度は、タイプ登録のヒーターの設定値には反映されません。電源をオフにするか、次の条件で新しく温度を変更するまで継続します。
  (1) セッテイモードのタイプを変更する
  (2) セッテイモードのヒーター温度を変更する
  (3) コンピューターからヒーターの温度を指定する
- お使いの RIP が、ヒーターの温度をコントロールできる機能を搭載している場合は、RIP 側でコントロールすることができます。（設定方法は、お使いの RIP の取扱説明書をご覧ください。）

重要！

- 本装置は、20 ～ 35 ℃の環境で使用してください。周囲の温度条件により、設定値まで温度が上昇しない場合があります。

温度設定の目安（ソルベントインクをご使用の場合）

インクの種類	ES3 インク			SS21 インク
メディアの種類	光沢塩	ターポリン	FF	全メディア
Pre ヒーターの設定	40 ℃	40 ℃	40 ℃	35 ℃
Print ヒーターの設定	40 ℃	40 ℃	40 ℃	35 ℃
After ヒーターの設定	50 ℃	50 ℃	50 ℃	50 ℃

重要！

- メディアの状態により、適温に調整してください。
- 水性インクをご使用の場合、温度設定の目安は必要ありません。

ヒーターの温度を確認する

1 操作パネルの HEATER を押す

- 現在のヒーター温度が表示されます。

HEATER

```
PRE     PRT     AFT
40°C    50°C    35°C
```

2 確認を終わるとき、END を押す

- ローカルモードに戻ります。

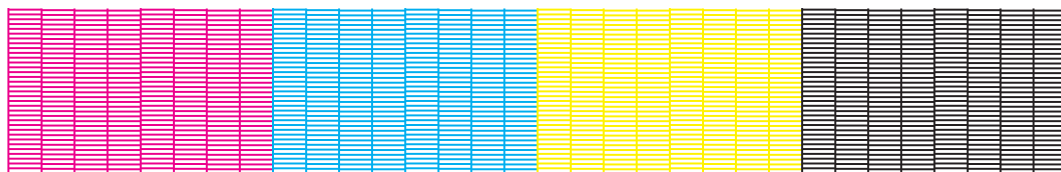
テスト作図をする

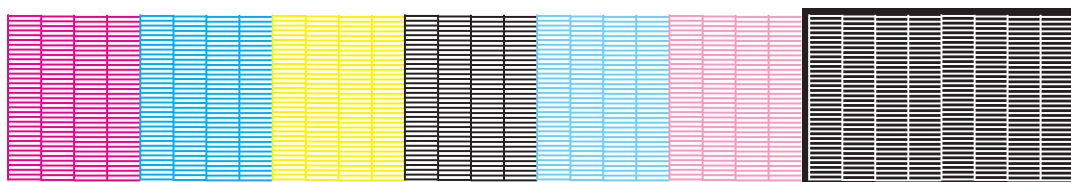
テストパターンを作図して、ノズル詰まりなどの吐出不良（カスレや抜け）がないか確認します。

テストパターンについて

本機では、2 種類のテストパターンを用意しています。

● 通常のテストパターン (ホワイトインク以外のインクをご使用の場合)

白いメディアにテストパターンを作図して確認できるインクをお使いの場合は、こちらのテストパターンを作図してください。

● ホワイト確認用のテストパターン

白いメディアをお使いでホワイトインクの吐出状態を確認したい場合は、こちらのテストパターンを作図してください。

テスト作図に関する注意事項

重 要！

- リーフメディアを使用する場合、A4 サイズ縦置き以上のサイズのメディアをセットしてください。
- ロールメディアを使用する場合、作図を開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たわみのない状態にしてください。画質不良の原因になります。

通常のテストパターンでテスト作図を行う

テスト作図の前に確認してください	• メディアをセットしているか P.2-6	• 原点位置をセットしているか
	• ヘッドギャップを調整しているか P.2-6	

1 ローカルモードで、TEST DRAW キーを押す

TEST DRAW

```
テスト  サクス゛
(FEED  ホウコウ)        <ENT>
```

- ▲▼を押して、テストパターンの配置方向を変更できます。ここで変更した配置方向は、テスト作図が終わると P.3-36 で設定した配置方向に戻ります。
- 配置方向を "SCAN ホウコウ" から "FEED ホウコウ" に変更してテスト作図を実行すると、1 つめのテスト作図の位置に改行されます。
- テスト作図の配置方向について、詳しくは P.3-36 を参照してください。

2 ENTER キーを押す

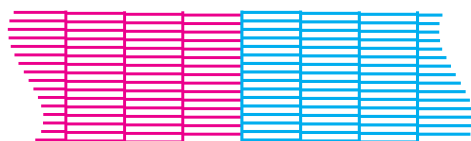
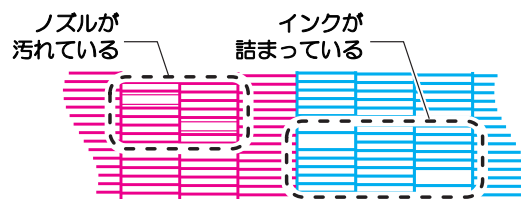
ENTER

```
** テスト  サクス゛ **
```

- テスト作図を開始します。
- 作図が終わると、ローカルモードに戻ります。

```
<ローカル.1>            [#01]
                ハハ゛:****mm
```

3 作図結果を確認する

- 正常な場合は、操作を終了します。
- 異常があった場合は、ヘッドクリーニングを実行してください。（ P.2-24）

ノズルが汚れている

インクが詰まっている

正常なパターン

異常なパターン

ホワイト確認用のテストパターンでテスト作図を行う

テスト作図の前に確認してください	• メディアをセットしているか P.2-6	• 原点位置をセットしているか
	• ヘッドギャップを調整しているか P.2-6	

1 ローカルモードで、TEST DRAW キーを押す

TEST DRAW

```
テスト　サクス゛
（FEED　ホウコウ）　　　<ENT>
```

2 ▲▼を押して、“（ホワイトカクニン）”を選ぶ

```
テスト　フ゜リント
（ホワイト　カクニン）　　<ENT>
```

3 ENTER キーを押す

ENTER

```
＊＊　テスト　サクス゛　＊＊
```

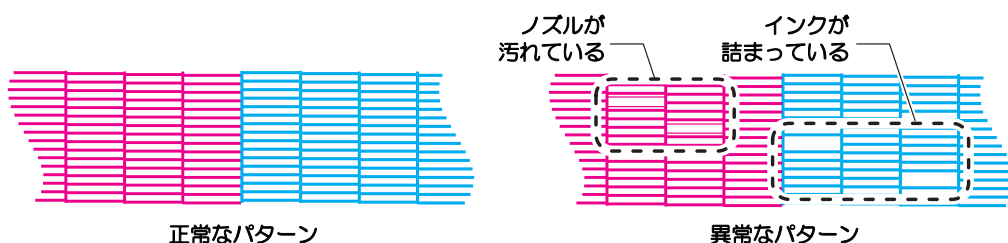
- 次の順番で、テストパターンを作図します。
- ディスプレイ 2 行目には、作図開始よりの残り時間を表示します。

(1)黒塗りつぶしパターンを作図する
(2)パターンを 30 秒間乾燥
(3)メディアを自動的に戻し、テストパターンを作図

4 テスト作図の結果を確認する

- 正常な場合は、操作を終了します。
- 異常があった場合は、ヘッドクリーニングを実行してください。（P.2-24）

ノズルが汚れている
インクが詰まっている

正常なパターン　　異常なパターン

ホワイトノズル状態確認警告 (SS21 ホワイトインク使用時のみ)

SS21 ホワイトインクは他のインクと比べノズル詰まりを起こしやすいため、吐出させない状態でもノズル状態を正常に保っておく必要があります。
ノズルの状態を正常に保つため、本機はおよそ 2 週間*1 に 1 度右の警告を表示します。

```
ホワイト　ノズ゛ル　シ゛ョウタイ　ヲ
カクニン　シテクダ゛サイ　　　<ENT>
```

- 警告表示は、メディア検出を実施した後に表示されます。
- 警告表示が出たら、次のようにしてください。

1 警告表示が出たら、ENTER キーを押す

```
テスト　フ゜リント
(ホワイト　カクニン)　　　　<ENT>
```

- テスト作図実行待ち状態になります。

2 ▲▼を押してテスト作図の種類を選ぶ

3 ENTER キーを押す

- テストパターンを作図します。

重 要 !

- 警告表示後、「ホワイト確認用のテストパターンでテスト作図を行う」(☞ 前ページ) または「ホワイトインクメンテナンス機能」(☞ P.4-39) を実行すると警告は解除されます。
- 警告が表示されたとき、END キーを押してキャンセルすることもできます。 ただし、 次にメディア検出をした後に再度、 警告表示されます。

*1. 警告表示を解除してから 2 週間または、ホワイトインクメンテナンスを実行してから 2 週間。

ヘッドクリーニングについて

ヘッドクリーニングには、 大きく分けて次の 2 種類があります。

● テスト作図の結果に合わせて、ノズル詰まりの解消のために行う

作図したテストパターンの結果を確認して、 症状に合わせたクリーニングを行います。
次の 3 種類から選んでください。

ノーマル ：線の抜けがある時
ソフト ：ヘッドワイプのみ実行したい時 （線の曲がりがある場合）
ハード ：ノーマル、 ソフトでクリーニングを実行しても画質不良が改善しない時

● ES3 インクのシルバーインクやホワイトインクを使用しているときに行う (ファームウェアバージョン Ver.4.60 以降対応)

ES3 インクのシルバーインクやホワイトインクは、 インクの性質上、 しばらく未使用のまま放置していると、 顔料が沈降しやすくなり、 色ムラが発生します。
ヘッドクリーニングの “ トクショク ” を行うと、 沈降したインクを排出することにより、 色ムラを改善することができます。 (特色メンテナンス機能)

トクショク ：本機のヘッドやダンパー、 チューブに残っている顔料が沈降した特色インクを排出して、 色ムラを改善します。

重 要！

- 特色メンテナンスは、ファームウェア Ver.4.60 以降で、ES3 インクのシルバーインクまたはホワイトインクが充填されている場合のみ選択できます。

テスト作図の結果に合わせてヘッドクリーニングを行う

ヘッドクリーニングには、 3 種類あります。 パターン作図の結果によって使い分けてください。

1 ローカルモードで、CLEANING キーを押す

CLEANING

クリーニング゛
タイプ゜　：ノーマル

2 ▲▼を押して、 クリーニングタイプを選択する

クリーニング゛
タイプ゜　：ハート゛

ノーマル　：線の抜けがある時
ソフト　：ヘッドワイプのみ実行したい時 （線の曲がりがある場合）
ハード　：ノーマル、 ソフトでクリーニングを実行しても作図不良が改善しない時

3 ENTER キーを押す

ENTER

クリーニング゛　チュウ
00：00

- クリーニングの残り時間をディスプレイの下段に表示します。
- クリーニングが終わると、ローカルモードに戻ります。

4 再度テスト作図を実行し、 作図結果を確認する

- 作図結果が正常になるまで、 クリーニングとテスト作図を繰り返してください。

ヘッドクリーニングを実行しても画質品質が改良されない場合
- ワイパーとインクキャップのクリーニングをする (☞ P.4-6)
- ヘッドノズルの洗浄をする (☞ P.4-12)
- 「ノズル詰まりが復旧しない場合」を参照して画質不良を解消する (☞ P.4-20)

特色メンテナンスを行う

ES3 インクのシルバーインクやホワイトインクをお使いのとき、 顔料の沈降による色ムラを解消するために行います。
特色メンテナンスは、 ファームウェア Ver.4.60 以降で、 ES3 インクのシルバーインクまたはホワイトインクが充填されている場合のみ選択できます。

1 ローカルモードで、CLEANING キーを押す

CLEANING

クリーニング゛
タイプ゜ : ノーマル

2 ▲▼を押して、 [トクショク] を選択する

クリーニング゛
タイプ゜ : トクショク

3 ENTER キーを押す

ENTER

トクショク センタク
カラー : シルバ゛ー

4 ▲▼を押して、 メンテナンスを行う色を選択する

トクショク センタク
カラー : ホワイト

シルバー : シルバーインクのみメンテナンスを行う
ホワイト : ホワイトインクのみメンテナンスを行う
シルバー & ホワイト : シルバーインクとホワイトインクを同時にメンテナンスする

5 ENTER キーを押す

ENTER

インクカートリッシ゛ ヲ ハス゛ス
___W____

6 選択した色のインクカートリッジを取り外す

- 取り外すインクカートリッジを、 カートリッジの上にあるランプが点灯してお知らせします。
- インクカートリッジを取り外すと、 インクの排出を始めます。

＊ ハイシュツ チュウ ＊
03：00

↓

- 排出が終わると、 右の画面を表示します。

カートリッシ゛ ヲ フッテクタ゛サイ
:ent

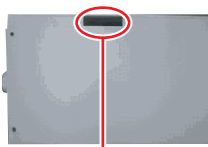
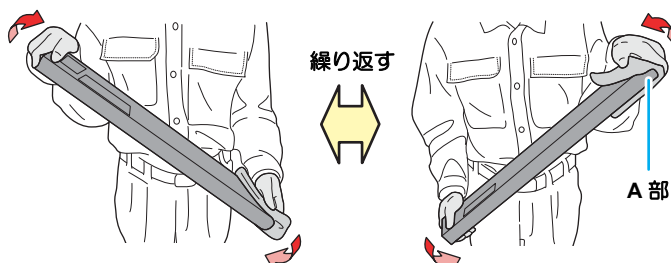
7 取り外したカートリッジを 20 回程度ゆっくりと左右に振る

- 振ったときにインクが漏れ出すのを防ぐため、 手袋を着用して紙タオルなどでカートリッジ上面の A 部とカートリッジ底面の B 部をしっかりと塞ぎ、 ゆっくりとインクを流すように左右に 20 回以上振ります。

- 強く振りすぎると内部のパックを傷つけ、インク漏れの原因となることがあるため、慎重に行ってください。
- インク残量が少ないと十分にかくはんできない場合があるので、カートリッジが縦になるまで傾けてください。

A 部（針の差し口）　B 部（底面の隙間）

繰り返す

A 部

紙タオルでしっかりと押さえてゆっくり振る

8 ENTER キーを押す

ENTER

インクカートリッジ゛ ヲ セットスル _ _ _ W _ _ _ _

9 カートリッジをセットする

- カートリッジをセットすると、充填を開始します。
- 充填が終わると、ローカルに戻ります。

ジ゛ュウテン チュウ 03：00

↓

＜ローカル．1＞ ［＃01］

特色メンテナンスの実行警告表示について

ES3 インクのシルバーインク使用時の顔料の沈降による色ムラを回避するため、インクが未使用のまま放置されている状態が 2 日以上続くと、電源投入時にディスプレイに右のメッセージを表示します。

トクショクメンテナンス ヲ
シ゛ッコウシマスカ? <ENT>

カラー : シルハ゛ー

- ■ シルバーインクは約 **2** 日間放置すると、 色味が変化してきます。
- ■ 警告表示が出たら、 次のようにして特色メンテナンスを行ってください。

1 警告表示が出たら、ENTER キーを押す

- 特色メンテナンスを行わない場合は、 END キーを押してキャンセルしてください。

2 ENTER キーを押す

ENTER

インクカートリッシ゛ ヲ ハス゛ス
_S_W_ _ _ _

3 画面に表示した色のインクカートリッジを取り外す

- 取り外すインクカートリッジを、 カートリッジの上にあるランプが点灯してお知らせします。
- インクカートリッジを取り外すと、 インクの排出を始めます。

* ハイシュツ チュウ *
03:00

- 排出が終わると、 右の画面を表示します。

カートリッシ゛ ヲ フッテクタ゛サイ
:ent

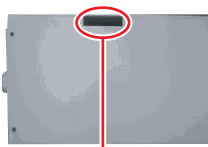
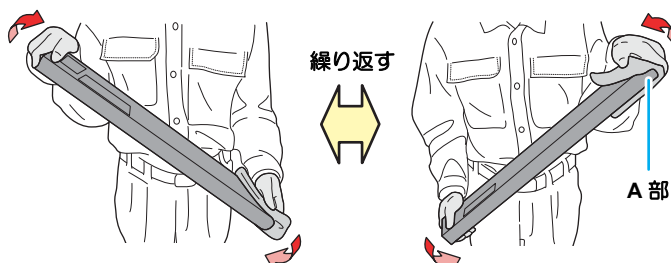
4 取り外したカートリッジを 20 回程度ゆっくりと左右に振る

- 振ったときにインクが漏れ出すのを防ぐため、 手袋を着用して紙タオルなどでカートリッジ上面の A 部とカートリッジ底面の B 部をしっかりと塞ぎ、 ゆっくりとインクを流すように左右に 20 回以上振ります。

- 強く振りすぎると内部のパックを傷つけ、インク漏れの原因となることがあるため、慎重に行ってください。
- インク残量が少ないと十分にかくはんできない場合があるので、カートリッジが縦になるまで傾けてください。

A 部（針の差し口）　B 部（底面の隙間）

繰り返す

A 部

紙タオルでしっかりと押さえてゆっくり振る

5 ENTER キーを押す

6 カートリッジをセットする

- カートリッジをセットすると、充填を開始します。
- 充填が終わると、ローカルに戻ります。

シ゛ユウテン　チユウ
03：00

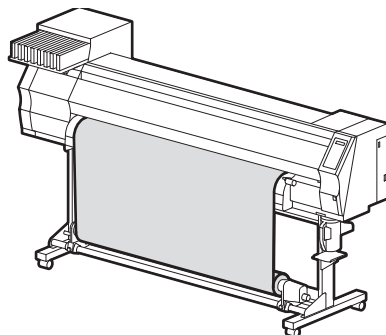
↓

<ローカル. 1>　[#01]

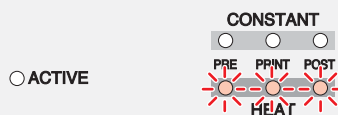
データを作図する

作図を開始する

重要！ • ロールメディアを使用する場合、作図を開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たわみのない状態にしてください。画質不良の原因になります。

1 メディアをセットする
（☞ P.2-6）

2 ヒーターの温度を確認する

- ディスプレイ下の [PRE]、[PRINT]、[POST] で CONSTANT ランプが点灯していることを確認してください。
- [POST] はディスプレイ上の"AFT"を示します。

CONSTANT
ACTIVE
PRE PRINT POST
HEAT

3 ローカルモードで、REMOTE キーを押す

REMOTE

オントﾞ セイキﾞョ チュウ
シハﾞラク オマチクタﾞサイ

- リモートモードになり、コンピュータからのデータを受信できるようになります。

4 コンピュータから作図するデータを送信する

- ACTIVE ランプが点滅し、作図条件を表示します。
- データの送信方法については、出力ソフトウェアの取扱説明書をお読みください。

＊リモート．１＊ ７２０x７２０
１６．Ｂｄ．Ｖｄ．ｘ２ ｘｘ．ｘｘｍ

解像度 **360 /540 /720 /1440 DPI**
作図終了したメディアの長さ
スキャン速度 **x1 :** 標準速 **x2 :** 倍速
データタイプ **Vd :** バリアブルデータ **Nd :** ノーマルデータ
スキャン方向 **Ud :** 単方向 **Bd :** 双方向
パス数

5 作図開始

- 解像度によっては同じデータを作図しても、セットしたメディアの幅や作図原点の位置によって作図速度が変化する場合があります。

作図を中止する

作図を途中で中止する場合、次の操作をしてください。

1 作図中に、REMOTE キーを押す

REMOTE

```
< ローカル. 1 >        [ # 0 1 ]
            ハバ゛: 1 2 7 2 mm
```

- 作図動作を中止します。
- コンピュータからデータを送信している場合は、コンピュータ側でデータ送信を止めます。
- 再度 REMOTE キーを押すと、中断したデータから作図を再開します。

受信したデータを消去する (データクリア)

作図を中止したいときは、受信済みのデータを消去してください。

1 ローカルモードで、DATA CLEAR キーを押す

DATA CLEAR

```
デ゛ータ― クリア
                    < E N T >
```

2 ENTER キーを押します。

ENTER

```
** デ゛ータ― クリア **
```

- ACTIVE ランプが消灯します。
- 受信データを消去し、ローカルモードに戻ります。

メディアをカットする

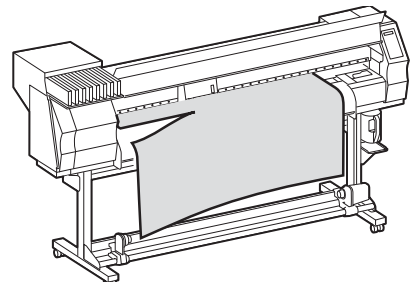
ロールメディアで作図終了後にメディアをカットするには、次の 2 つの方法があります。

重 要！
- メディアをカットしたとき、印刷面が床や他の印刷面に触れないようにお気をつけください。
- 巻き取り装置をお使いの場合、カットしたメディアは巻き取り装置のスイッチを使って巻き取ってください。(タイプ B は除く)

オートカット

作図終了後、自動的にメディアをカットします。

- オートカットには設定が必要です。(お買い上げ時は、オートカット機能が “OFF” になっています。)
- オートカット機能を “ オフ ” にしているときは、「マニュアルカット」の操作をして、メディアをカットしてください。

1 作図が終了したら、自動的にメディアをカットする

マニュアルカット

操作パネル上のキーを使い、任意の位置でメディアをカットします。

1 ローカルモードで、▲▼◀▶を押す

ケ゛ンテン　セッテイ
0．0　　　―――

- 原点設定モードになります。
- ▼を押して、カットする位置までメディアをフィードします。

2 FUNCTION キーを押す

FUNCTION

メテ゛ィア　カット
<ENT>

3 ENTER キーを押す

ENTER

メテ゛ィア　カット　チュウ
シハ゛ラク　オマチクタ゛サイ

- メディアをカットします。
- カットが終了すると、ローカルモードに戻ります。

第３章
便利な使い方

この章では ...

本装置をより便利に使うための操作方法や、各種設定方法について説明しています。

ユーザータイプについて

作図条件をまとめて登録する (タイプ登録)

本装置では、タイプ（1~4）ごとに作図条件を登録できます。
お使いになるメディアに合わせた作図条件をタイプに登録しておけば、違う種類のメディアに交換したとき、タイプを変更するだけで最適の作図条件を設定できます。

タイプ登録の例

	ソルベントインクをご使用の場合	水性インクをご使用の場合
タイプ 1	ターポリン 1 用	フォトペーパー
タイプ 2	ターポリン 2 用	PET 用 1
タイプ 3	FF(Flexible Face) 用	PET 用 2
タイプ 4	塩ビマット	合成紙

タイプ登録のしかた

1 ローカルモードで、
FUNCTION キーを押す

FUNCTION

```
FUNCTION
セッテイ                <ENT>
```

2 ENTER キーを押す

ENTER

```
セッテイ
センタク            : タイプ° 1
```

3 ▲ ▼ を押してタイプ（1 ～ 4）を選び、
ENTER キーを押す

4 設定機能一覧表の各項目を選び、設定する

- 詳細な設定方法は「設定機能一覧表」に記載した参照ページをご覧ください。

設定機能一覧表

ユーザータイプに登録できる各設定機能の概要と設定値について説明します。
お買い上げ時は、下線の設定になっています。

機能名称			設定値	概　要
メディアホセイ (☞ P.3-5)			-255 ～ 0 ～ 255	メディアの送り量を補正するためのパターンを作図し、補正します。
ヒーター (☞ P.3-8)	オンド セッテイ	プリ ヒート	OFF/ 20 ～ 50 ℃ (OFF/ 68 ～ 122 ゜F)	ヒーターの状態を設定します。
		プリント ヒート	OFF/ 20 ～ 50 ℃ (OFF/ 68 ～ 122 ゜F)	
		アフター ヒート	OFF/ 20 ～ 50 ℃ (OFF/ 68 ～ 122 ゜F)	
	ジカン セッテイ	スタン バイ	(ナシ / 0 ～ 90 min 10min 単位)	
		OFF 時間	(ナシ / 0 ～ 90 min 10min 単位)	
サクズ ホウシキ (☞ P.3-12)	DRAFT ヒンシツ		ヒョウジュン / ハヤイ / キレイ	作図品質、作図方向を設定します。
	FINE ヒンシツ		ヒョウジュン / ハヤイ / キレイ	
	スキャンホウコウ		ソウホウコウ / タンホウコウ	
	ロジカルシーク		ON / OFF	
	シロ カサネサクズ		OFF / ON(LEVEL1~3)	
カサネヌリ (☞ P.3-28)			1 ～ 9	インクの重ね塗りを行います。
カンソウ ジカン (☞ P.3-18)	スキャン		0.0 ～ 19.9 sec	インクの乾燥時間を設定します。
	サクズエンド		0 ～ 999 sec	
オートカット (☞ P.3-28)			ON / OFF	作図後、自動でメディアをカットします。
プリフィード (☞ P.3-28)			ON / OFF	作図前にメディアを前後搬送させます。 貼り付きやすいメディアを使用する場合、ON にしてください。
マージン (☞ P.3-19)	ヒダリ		-10 ～ 0 ～ 85mm (1mm 単位)	メディア左右の余白を設定します。
	ミギ		-10 ～ 0 ～ 85mm (1mm 単位)	
カラーパターン (☞ P.3-28)			ON / OFF	メディア右端にカラーパターンを作図します。
リフレッシュ (☞ P.3-28)			レベル 0 (リフレッシュ間隔長い) ～ 3 (間隔短い)	作図中に、インクヘッドのリフレッシュを行います。
キュウチャク (☞ P.3-28)			OFF/ ヒョウジュン / ヨワイ / ヤヤヨワイ / ツヨイ	メディアの吸着する力を設定します。

3

便利な使い方

<table>
<tr><th colspan="3">機能名称</th><th>設定値</th><th>概　要</th></tr>
<tr><td colspan="3">フィードソクドレベル (☞ P.3-28)</td><td>10 ～ 100 ～ 200%
10% 6mm/sec
100% 60mm/sec
200% .... 120mm/sec</td><td>作図中などにメディア送りをする速度を変更します。</td></tr>
<tr><td colspan="3">ユウセンジュンイ (☞ P.3-20)</td><td>コベツセッテイ / スベテホスト / スベテパネル</td><td>優先する設定 (パネル / ホスト) を決定します。
コベツセッテイ選択時は、以下の各項目について個別に設定
• メディアホセイ
• ヒーター
• サクズホウシキ
• カサネヌリ
• カンソウジカン
• オートカット
• プリフィード
• マージン
• カラーパターン
• リフレッシュ
• キュウチャク
• フィードソクドレベル</td></tr>
<tr><td rowspan="3">オートクリーニング
(☞ P.3-22)</td><td rowspan="2">ON</td><td>カンカク</td><td>10 ～ 1000 ～ 10000 mm</td><td rowspan="3">作図ごとに行う、ヘッドの自動クリーニング動作を設定します。</td></tr>
<tr><td>タイプ</td><td>ノーマル / ソフト / ハード</td></tr>
<tr><td colspan="2">OFF</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">サクズチュウクリーニング
(☞ P.3-24)</td><td rowspan="2">ON</td><td>カンカク</td><td>10 ～ 1000 ～ 10000 mm</td><td rowspan="3">作図中に行う、ヘッドの自動クリーニング動作を設定します。</td></tr>
<tr><td>タイプ</td><td>ノーマル / ソフト / ハード</td></tr>
<tr><td colspan="2">OFF</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">メディアケンシュツ
(☞ P.3-26)</td><td colspan="2">ケンシュツホウホウ</td><td>セレクト / ハバ</td><td rowspan="2">メディアの検出方法を設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">カットジケンシュツ</td><td>ナシ / リョウエッジ / ヒダリエッジ / ミギエッジ</td></tr>
<tr><td colspan="3">オクリ　ゲンテン (☞ P.3-28)</td><td>ON / OFF</td><td>作図原点の位置変更時、メディア送り方向をLEDポインタに合わせたいときに設定する。</td></tr>
</table>

メディア補正の設定をする

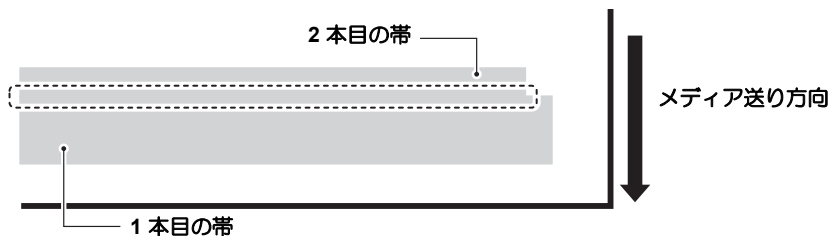
メディアの種類を交換したり、ヒーターの温度を変更したあと、メディアの送り量を補正してください。
補正値が適切でないと、作図した画像に縞が入るなど、きれいに作図できない場合があります。

重 要!

- ヒーターの温度を変更した場合は、[CONSTANT] ランプが点灯し、設定した温度に達していることを確認してから補正してください。
- ロールメディアをご使用の場合、メディア補正を終了すると、作図原点位置までメディアが戻り、本装置背面のロールメディアにたわみが生じます。
  作図を開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たわみのない状態にセットしてください。画質不良の原因になります。
- 巻き取り装置を使用しての作図の場合、あらかじめメディアをセットした状態でメディア補正を行ってください。(タイプ B は除く)

メディア補正の設定

補正パターンを作図して、メディア送り量の補正を行います。

- 補正パターンでは 2 本の帯を作図します。
- 2 本の帯の境が均等の濃さになるように調整してください。

1 メディアをセットする (P.2-6)

2 ローカルモードで、FUNCTION キーを押す

3 ENTER キーを押す

4

（▲）（▼）を押して、タイプ（**1** ～ **4**）を選ぶ

5

（ENTER）キーを **2** 回押す

ENTER

[1] メテ゛ィア　ホセイ
サクス゛　カイシ　　　　　: e n t

6

（ENTER）キーを押して、補正パターンを作図する

ENTER

シハ゛ラク　オマチクタ゛サイ
サクス゛　チュウ

7

補正パターンを確認し、補正値を入力する

[1] メテ゛ィア　ホセイ
ホセイチ　　　　　　= 0

" ＋ " に入力すると : 2 本の帯の間隔が広がる方向に移動します。
" － " に入力すると : 2 本の帯の間隔が近づく方向に移動します。

- 補正値を "20" 変更するごとに、約 0.1mm 帯が移動します。

8

（ENTER）キーを押す

- 再度、補正パターンを作図して確認します。
- 補正の必要がある場合は、手順 7 の操作をして補正してください。

ENTER

[1] メテ゛ィア　ホセイ
サクス゛　カイシ　　　　　: e n t

9

終了するとき、（END）キーを数回押す

作図中にメディア送りを補正したいときは

リモートモードや画像データの作図中でもメディア送り量の補正ができます。

1 リモートモードで、FUNCTION キーを押す

＊リモート．1＊　[#01]
＊＊．＊＊mm

FUNCTION

メデ゛ィアオクリ　ホセイ
0

2 ENTER キーを押す

ENTER

メデ゛ィアオクリ　ホセイ
0　▶　1

3 ▲ ▼ を押して、補正量を入力する

- 補正量：-500 ～ 500
- ここで入力した値は、すぐに補正量に反映されます。

4 ENTER キーを押す

ENTER

メデ゛ィアオクリ　ホセイ
ホゾ゛ン　:ent

- ENTER キーのか代わりに END キーを押すと、ここで補正した内容は無効となります。

5 ENTER キーを押す

リモートモード中にメディア補正が行われたことを表します

＊リモート．1＋＊　[#01]
＊＊．＊＊mm

- 変更した値が登録されます。
- ENTER キーの代わりに END キーを押すと、ここで補正した内容は一時、有効となります。（再度メディア検出を行うか電源を OFF すると、補正値はクリアされます）

ヒーターの設定値を変更する

温度設定の目安（ソルベントインクをご使用の場合）

インクの種類	ES3 インク			SS21 インク
メディアの種類	光沢塩	ターポリン	FF	全メディア
Pre ヒーターの設定	40 ℃	40 ℃	40 ℃	35 ℃
Print ヒーターの設定	40 ℃	40 ℃	40 ℃	35 ℃
After ヒーターの設定	50 ℃	50 ℃	50 ℃	50 ℃

重 要！
- メディアの状態により、適温に調整してください。
- 水性インクをご使用の場合、温度設定の目安は必要ありません。

ヒーターの温度設定を変更する

ここでは、「オンドセッテイ」と「ジカンセッテイ」の各項目の設定をします。

オンドセッテイ		プラテン内に内蔵されているプリヒーター ・ プリントヒーター ・ アフターヒーターの設定温度を変更します。
ジカンセッテイ	スタンバイ	作図終了後から、 ヒーターが予熱温度に下がり始めるまでの時間を設定します。 **設定値**：ナシ、 0 ～ 90min （10min 単位) • 予熱温度はあらかじめ設定されています。変更はできません。 • 温度が下がった状態でデータを受信すると、自動的に設定温度まで上がってから作図を開始します。 • 設定値を「ナシ」にしていると、ヒーターは予熱温度にはなりません。
	OFF ジカン	以下の場合にヒーターをオフにします。 • スタンバイ時に設定時間以上作図しない場合 • スタンバイの設定を「ナシ」にしているとき、作図終了後に設定時間以上作図しない場合 **設定値**：ナシ、 0 ～ 90min （10min 単位) ヒーターがオフの状態でデータを受信すると、 自動的に設定温度まで上げてから作図します。 •「ナシ」に設定すると、ヒーターはオフになりません。 •「0min」に設定すると、作図終了でオフとなります。

1 ローカルモードで、 FUNCTION キーを押す

FUNCTION

FUNCTION
セッテイ <ENT>

2 ENTER キーを押す

ENTER

セッテイ
センタク : タイプ°1

3 ▲▼を押して、タイプ（1～4）を選択する

4 ENTERキーを押す

[1]
メテ゛ィア ホセイ <ent>

5 ▲▼を押して、[ヒーター]を選択する

[1]
ヒーター <ent>

6 ENTERキーを2回押す

- ヒーターの温度設定画面が表示されます。

PRE PRT AFT
25°C 25°C 35°C

7 ▲▼◀▶を押して、各ヒーター温度を設定する

ヒーターの選択：◀▶で選ぶ
温度の設定　　：▲▼で設定

PRE PRT AFT
35°C 40°C 50°C

設定温度：20～50℃

8 ENTERキーを押す

[1]ヒーター
オント゛ セッテイ <ent>

9 ▼を押して、[ジカンセッテイ]を選択する

[1]ヒーター
シ゛カン セッテイ <ent>

10 ENTERキーを押す

スタンハ゛イ ：OFF シ゛カン
10min ： ナシ

11 ▲▼◀▶を押して設定する

項目の選択：◀▶で選ぶ
時間の設定：▲▼で設定

スタンバイ　：OFF　ジカン
10min　：　ナシ

設定値：ナシ、0 ～ 90 分
(10 分単位)

12 ENTER キーを押す

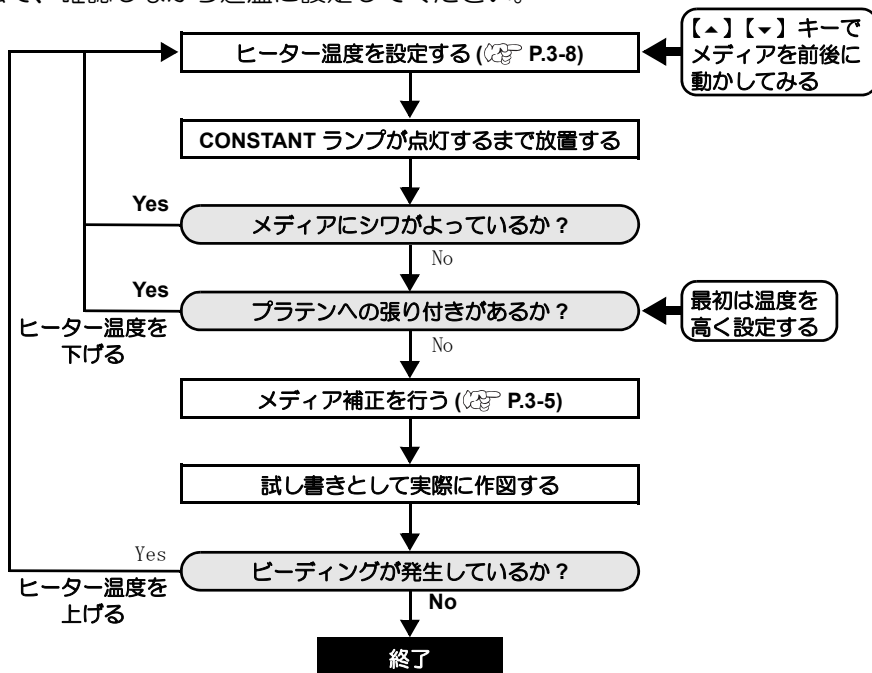
13 終了するとき、END キーを数回押す

- ローカルモードに戻ります。

重要！
- 本装置は、20 ～ 35 ℃の環境で使用してください。周囲の温度条件により、設定値まで温度が上昇しない場合があります。

適温調整（ソルベントインクをご使用の場合）

ヒーター温度を調整する際の適温設定について説明します。
ヒーターの温度はメディアの種類、環境温度などにより異なります。各メディアに適した温度に設定します。非コートメディアやインク乾燥の遅いメディアは、インクの定着性、乾燥性をアップさせます。
以下の方法で、確認しながら適温に設定してください。

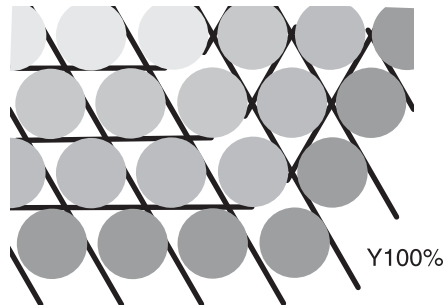
ヒーター温度を設定する (☞ P.3-8)
【▲】【▼】キーでメディアを前後に動かしてみる
CONSTANT ランプが点灯するまで放置する
メディアにシワがよっているか ?
Yes
No
プラテンへの張り付きがあるか ?
Yes
ヒーター温度を下げる
No
最初は温度を高く設定する
メディア補正を行う (☞ P.3-5)
試し書きとして実際に作図する
ビーディングが発生しているか ?
Yes
ヒーター温度を上げる
No
終了

ヒーター温度が設定温度に達していないと

ソルベントインクをご使用の場合、ヒーター温度やインクの受容量 (インクリミット）が低すぎると、ビーディングやバンディングなど作図不良になります。

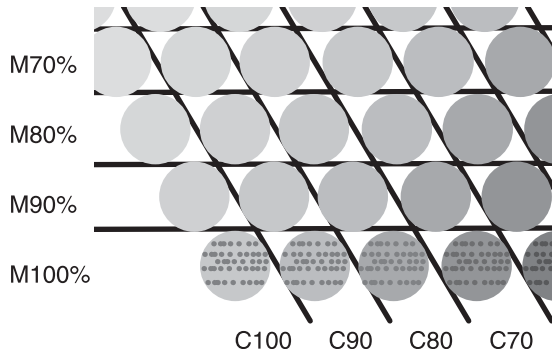
ビーディングとは、隣り合ったドットが引き合ってくっつくことです。ビーディングが発生するとブツブツ状のムラになったり、パスの間隔で帯状の横ムラ (バンディング) になったりします。

ビーディングの例

単色のマゼンタ 100 パーセント付近は、綺麗にプリントされています。単色の 70 ～ 100 パーセント付近はメディア送りムラの影響を非常に受けやすい部分です。この部分にムラが無いことから、メディアの送り補正は適正に調整されていることがわかります。

Y100%

綺麗にプリントされた状態

ところが、M100% ＋ C100% のブルー部分にはブツブツのムラと、バンディングが発生しています。これがビーディングによるバンディングです。ヒーターの温度が低かったり、メディアのインク受容量 (インクリミット) が低いと、先に着弾したインク粒が定着する前に、次のインク粒が着弾し、ドットがくっついたり分布が均一でなくなり、ムラやバンディングが発生します。
ビーディングを防ぐには、ヒーターの温度を上げてメディアのインク受容量 (インクリミット) を上げたり、インク量をメディアに合わせて調整したり、パス数を増やして少しずつインクを打ち込む、スキャンウェイトで時間をかせぐなどの対策をとる必要があります。
上記対策を行ってもビーディングが解消されない場合はメディアを変更してください。

M70%
M80%
M90%
M100%
C100　C90　C80　C70

バンディングが発生した状態

作図方式の設定をする

作図方式の設定では、作図に関する次の各項目の設定をします。

- **作図品質 (DRAFT)** : DRAFT モード (スキャン方向の解像度が 540dpi) の作図品質を設定
- **作図品質 (FINE)** : FINE モード (スキャン方向の解像度が 720dpi) の作図品質を設定
- **スキャン方向** : 作図方向を設定
- **ロジカルシーク** : ロジカルシークの ON/OFF を設定
- **白重ね作図** : SS21 白インク使用時、白インク印字後の他カラーの印字方法を設定

作図品質の設定

1 ローカルモードで、FUNCTION キーを押す

FUNCTION

FUNCTION
セッテイ　　　　　　　<ENT>

2 ENTER キーを押す

ENTER

セッテイ
センタク　　　　　　　：タイプ°1

3 ▲▼を押して、タイプ（1 ～ 4）を選び、ENTER キーを押す

4 ▲▼を押して、[サクズホウシキ] を選ぶ

[1]
サクス゛　ホウシキ　　　<ent>

5 ENTER キーを押す

ENTER

[1] サクス゛　ホウシキ
DRAFT　ヒンシツ　　　<ent>

6 設定する項目を選ぶ

(1) ▲▼を押して [DRAFT ヒンシツ] または [FINE ヒンシツ] を選ぶ（ここでは、[DRAFT ヒンシツ] を選択）
(2) ENTER を押す

7 ▲▼を押して、作図品質を選ぶ

[1] サクス゛　ホウシキ
DRAFT　ヒンシツ　：ヒョウシ゛ュン

- 設定値 : ヒョウジュン / ハヤイ / キレイ
- ここで設定を終了する場合は、ENTER キーを押して、手順 10 へ進みます。

8

各解像度での作図品質の詳細を変更したい場合

(FUNCTION) キーを押して、解像度を選ぶ

```
[1]DRAFT ヒンシツ
540x720        <ent>
```

- 設定値：540x720,540x900,540x1080 dpi (DRAFT 選択時)
  720x540,720x720,720x1080,720x1440 dpi (FINE 選択時)

(1) (▲)(▼)を押して解像度を選ぶ
(2) (ENTER) を押す

9

パス数と作図速度を選ぶ

```
[1]DRAFT ヒンシツ
PASS=8 :スキャン=ヒョウシ゛ュン
```

(1) (▲)(▼)でパス数を選び、(▶)を押す
(2) (▲)(▼)で作図速度 (コウソクまたはヒョウジュン） を選ぶ
(3) (ENTER) を押す

- パス数は、インクセットの内容や手順 8 で選んだ解像度により設定値が異なります。「設定可能な要素の組み合わせ」を参照して、パス数を選んでください。

10

終了するとき、(END) キーを数回押す

設定可能な要素の組み合わせ

DRAFT 品質

解像度 (dpi)	4 色		6 色	
	Pass	速度	Pass	速度
540x720 dpi	4	高速 / 標準	8	高速 / 標準
	8		16	
	16		32	
540x900 dpi	10	高速 / 標準	10	高速 / 標準
	20		20	
	40		40	
540x1080 dpi	6	高速 / 標準	12	高速 / 標準
	12		24	
	24		48	

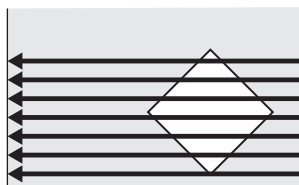
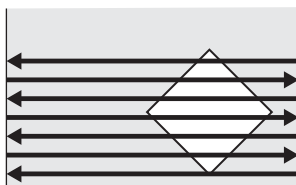
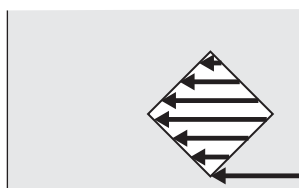
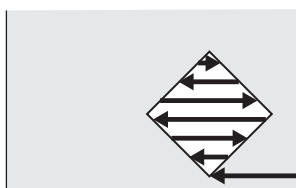
FINE 品質

解像度 (dpi)	4 色		6 色	
	Pass	速度	Pass	速度
720x540	6	高速 / 標準	6	高速 / 標準
	12		12	
	24		24	
720x720	4	高速 / 標準	8	高速 / 標準
	8		16	
	16		32	
720x1080	6	高速 / 標準	12	高速 / 標準
	12		24	
	24		48	
720x1440	8	高速 / 標準	16	高速 / 標準
	16		32	
	32		64	

スキャン方向の設定

1	P.3-12 手順 5 までの操作をする	[1] サクス゛ ホウシキ DRAFT ヒンシツ <ent>
2	[▲][▼]を押して、 [スキャンホウコウ] を選ぶ	[1] サクス゛ ホウシキ スキャン ホウコウ <ent>
3	[ENTER]キーを押す	[1] サクス゛ ホウシキ スキャン ホウコウ : ソウホウコウ
4	[▲][▼]を押して、 スキャン方向を選ぶ • 設定値：ソウホウコウ、タンホウコウ	[1] サクス゛ ホウシキ スキャン ホウコウ : タンホウコウ
5	[ENTER]キーを押す	[1] サクス゛ ホウシキ スキャン ホウコウ <ent>
6	終了するとき、[END]キーを数回押す	

ロジカルシークの設定

ロジカルシークの設定により、ヘッドの動作が変わります。

単方向作図　双方向作図

ロジカルシーク **OFF** 時のヘッドの動き

単方向作図　双方向作図

ロジカルシーク **ON** 時のヘッドの動き

1 P.3-12 手順 5 までの操作をする

```
[1]サクス゛ ホウシキ
DRAFT ヒンシツ  <ent>
```

2 ▲▼を押して、[ロジカルシーク] を選ぶ

```
[1]サクス゛ ホウシキ
ロシ゛カルシーク  <ent>
```

3 ENTER キーを押す

```
[1]サクス゛ ホウシキ
ロシ゛カルシーク  :ON
```

4 ▲▼を押して、ON/OFF を選ぶ

```
[1]サクス゛ ホウシキ
ロシ゛カルシーク  :OFF
```

5 ENTER キーを押す

```
[1]サクス゛ ホウシキ
ロシ゛カルシーク  <ent>
```

6 終了するとき、END キーを数回押す

白重ね作図の設定

SS21 インクで白インクを使用している場合、白インクを印字後のカラーインクの印字方法を設定します。

設定値	説　明
OFF	白インクとカラーインクを同時に作図します。
ON(LEVEL1~3 [*1])	白インクを印字してしばらくしてから、カラーインクを印字します。 • LEVEL1~3 について、数字が大きくなるほど白インクを印字してからカラーインクを印字するまでの時間が長くなります。 • LEVEL の数字を大きい値に設定すると、白インクの乾燥性は上がりますが、印字時間は長くなります。

*1. 本装置で、合成順の設定は行えません。

重 要！

- 本機能は、SS21 インク（6 色 + 白）充填時のみ設定できます。
- 作図時間は通常の印字より 2 倍以上長くなります。
- 次のような条件で作図をする場合、使用するノズル数が制限されるため、作図速度が低下します。

作図品質の設定	解像度	作図幅
DRAFT	540 x 1080 dpi	1541 mm 以上
FINE	720 x 1080 dpi	1155 mm 以上
	720 x 1440 dpi	
	1440 x 1440 dpi	1155 mm 以上 (Vd データの場合は 577 mm)

1 **P.3-12 手順 5 までの操作をする**

```
[1]サクス゛ ホウシキ
DRAFT ヒンシツ        <ent>
```

2 ▲▼を押して、[シロ カサネサクズ] を選ぶ

```
[1]サクス゛ ホウシキ
シロ カサネサクス゛      <ent>
```

3 ENTER キーを押す

```
[1]シロ カサネサクス゛
セッテイ       :OFF
```

4 ▲▼を押して、作図方式を選ぶ

- 設定値：OFF、ON(LEVEL 1 ～ 3)

```
[1]シロ カサネサクス゛
セッテイ       :ON(LEVEL1)
```

5 ENTERキーを押す

ENTER

[1]サクス゛　ホウシキ
シロ　カサネサクス゛　<ent>

6 終了するとき、ENDキーを数回押す

乾燥時間の設定をする

乾燥時間の設定では、インクの乾燥時間に関する次の各項目の設定をします。

- スキャン　：スキャン毎のインク乾燥時間を設定 (双方向作図の場合は、往路 / 復路のスキャン毎に設定した時間だけ一時停止する)
- 作図エンド：作図終了後のインク乾燥時間を設定

1 ローカルモードで、FUNCTION キーを押す

FUNCTION

FUNCTION
セッテイ　<ENT>

2 ENTER キーを押す

ENTER

セッテイ
センタク　：タイプ゜1

3 ▲▼を押して、タイプ（**1** ～ **4**）を選び、ENTER キーを押す

4 ▲▼を押して、[カンソウジカン] を選ぶ

[1]
カンソウ　ジ゛カン　<ent>

5 ENTER キーを押す

ENTER

スキャン　：サクス゛エント゛
0.0s　：　0s

6 ▲▼◀▶を押して、乾燥時間を設定する

項目の選択：◀▶で選ぶ
時間の設定：▲▼で設定

作図後：**0** ～ **999** 秒
スキャン：**0.0** ～ **19.9** 秒

スキャン　：サクス゛エント゛
0.0s　：　0s

7 ENTER キーを押す

ENTER

[1]
カンソウ　ジ゛カン　<ent>

8 終了するとき、END キーを数回押す

マージンの設定をする

メディアの左右の余白を設定します。
ここでは、標準マージン 15mm に対するオフセット値を設定します。

1 ローカルモードで、(FUNCTION) キーを押す

FUNCTION

FUNCTION
セッテイ　　　　<ENT>

2 (ENTER) キーを押す

ENTER

セッテイ
センタク　　　　：タイプ゜1

3 (▲)(▼) を押して、タイプ（1 ～ 4）を選び、(ENTER) キーを押す

4 (▲)(▼) を押して、[マージン] を選ぶ

[1]
マーシ゛ン　　　　<ent>

5 (ENTER) キーを押す

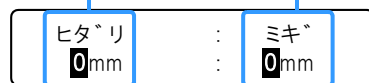
ENTER

ヒタ゛リ　：　ミキ゛
0mm　：　0mm

6 (▲)(▼)(◀)(▶) を押して、左右マージンを設定する

項目の選択：(◀)(▶) で選ぶ
余白の設定：(▲)(▼) で設定

左余白：-10 ～ 85mm（1mm 単位）　右余白：-10 ～ 85mm（1mm 単位）

ヒタ゛リ　：　ミキ゛
0mm　：　0mm

7 (ENTER) キーを押す

ENTER

[1]
マーシ゛ン　　　　<ent>

8 終了するとき、(END) キーを数回押す

注意

- メディア押さえを使って作図する場合、左右のマージンを -5mm 以下に設定すると、メディア押さえの上から作図を開始することがあるのでお気をつけください。

優先順位の設定をする

次の各項目について、本装置での設定 (パネル) を優先するか、コンピュータでの設定 (ホスト) を優先するかを選択します。

選択する項目 : メディア補正 / ヒーター / 作図方式 / 重ね塗り / 乾燥時間 / オートカット / プリフィード / マージン / カラーパターン / リフレッシュ / 吸着 / フィード速度レベル

1 ローカルモードで、FUNCTION キーを押す

FUNCTION

```
FUNCTION
セッテイ                <ENT>
```

2 ENTER キーを押す

ENTER

```
セッテイ
センタク            : タイプ゜1
```

3 ▲▼を押して、タイプ（1 ～ 4）を選び、ENTER キーを押す

4 ▲▼を押して、[ユウセンジュンイ] を選ぶ

```
[ 1 ]
ユウセンシ゛ュンイ          <ent>
```

5 ENTER キーを押す

ENTER

```
[ 1 ] ユウセンシ゛ュンイ
セッテイ        : スヘ゛テ  ハ゜ネル
```

6 ▲▼を押して、設定値を選ぶ

```
[ 1 ] ユウセンシ゛ュンイ
セッテイ        : コヘ゛ツ  セッテイ
```

- 設定値 : コベツセッテイ / スベテホスト / スベテパネル
- [コベツセッテイ] を選んだ場合は手順 7 へ、[スベテホスト] または [スベテパネル] を選んだ場合は、ENTER キーを押してから手順 11 へ進んでください。

7 FUNCTION キーを押す

ENTER

```
[ 1 ] ユウセンシ゛ュンイ
メテ゛ィア  ホセイ          : ホスト
```

- メディア補正の設定画面が表示されます。

8 ▲▼を押して、" ホスト "
または " パネル " を選ぶ

[1] ユウセンシ゛ュンイ
メテ゛ィア　ホセイ　　　　　:ハ゜ネル

9 ENTER キーを押す

ENTER

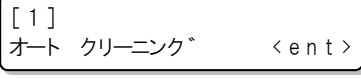
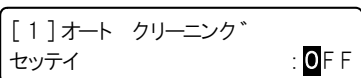
- ◀▶を押しても項目の移動ができます。ただし、ENTER キーを押さないと設定値は確定されません。

10 手順 **8**、**9** と同様の操作をして、他の項目も設定する

11 終了するとき、END キーを数回押す

- ホスト優先の設定で、ホストからの指定がない項目については、パネルの設定内容が有効となります。

オートクリーニングの設定をする

設定した分の長さだけ作図が終わると自動的にヘッドのクリーニングを実行するように設定できます。
作図が終了すると、本装置が前回ヘッドをクリーニングしてから行った作図長をカウントし、クリーニングが必要な場合は、自動的にクリーニングを行います。
ヘッドを常に清潔に保つことで、安定した出力結果が持続します。
クリーニングは、装置起動後の最初の作図前に行い、以降は、作図メートル単位で行います。

動作間隔が 1000 ㎜ の場合の例

1 ローカルモードで、(FUNCTION) キーを押す

FUNCTION
FUNCTION
セッテイ　　　　　　　＜ENT＞

2 (ENTER) キーを押す

ENTER
セッテイ
センタク　　　　　　　：タイプ°1

3 (▲)(▼) を押して、タイプ（1 ～ 4）を選び、(ENTER) キーを押す

4 (▲)(▼) を押して、[オートクリーニング] を選ぶ

[1]
オート　クリーニング゛　　＜ent＞

5 (ENTER) キーを押す

ENTER
[1] オート　クリーニング゛
セッテイ　　　　　　　：OFF

6

(▲)(▼)を押して、ON を選ぶ

- OFF を選んだ場合は、手順 9 へ進んでください。

[1] オート　クリーニング゛
セッテイ　　　　　　　　: ON

7

(FUNCTION) キーを押す

ENTER

カンカク　　　　　　: タイプ゜
1000mm　　　　　: ノーマル

8

(▲)(▼)(◀)(▶)を押して、クリーニング間隔とクリーニングタイプを設定する

項目の選択: (◀)(▶)で選ぶ
間隔とタイプの設定: (▲)(▼)で設定

間隔：
10 ～ 10000mm

タイプ：ノーマル
ソフト
ハード

カンカク　　　　　　: タイプ゜
1000mm　　　　　: ノーマル

9

(ENTER) キーを押す

ENTER

10

終了するとき、(END) キーを数回押す

重 要 !

- インクニアエンドが発生している場合、本機能は動作しません。12 ページの「インクカートリッジを交換する」を参照して、インクニアエンドを解消してください。
- ヘッド等の状態によっては、本機能を実行しても作図不良が復旧しない場合があります。この場合は、弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。

作図中クリーニングの設定をする

作図中、自動的にヘッドのクリーニングを行うか設定します。
作図中クリーニングでは、クリーニング間隔を作図した長さで設定します。
設定した長さを作図するごとに作図を中断し、自動的にヘッドのクリーニングを行います。

1 ローカルモードで、FUNCTION キーを押す

FUNCTION
セッテイ　　　　　　　<ENT>

2 ENTER キーを押す

セッテイ
センタク　　　　　　　: タイフ゜1

3 ▲▼を押して、タイプ（1 ～ 4）を選び、ENTER キーを押す

4 ▲▼を押して、[サクズチュウクリーニング] を選ぶ

[1]
サクス゛チュウ　クリーニンク゛<ent>

5 ENTER キーを押す

[1] サクス゛チュウ　クリーニンク゛
セッテイ　　　　　　　: OFF

6 ▲▼を押して、ON を選ぶ

- OFF を選んだ場合は、手順 9 へ進んでください。

[1] サクス゛チュウ　クリーニンク゛
セッテイ　　　　　　　: ON

7 FUNCTION キーを押す

カンカク　　　　: タイフ゜
1000mm　　　　: ノーマル

8 ▲▼◀▶を押して、クリーニング間隔とクリーニングタイプを設定する

項目の選択　　　　　: ◀▶で選ぶ
間隔とタイプの設定 : ▲▼で設定

間隔 :
10 ～ 10000mm

タイプ : ノーマル
ソフト
ハード

カンカク　　　　: タイフ゜
1000mm　　　　: ノーマル

9 ENTER キーを押す

ENTER

10 終了するとき、END キーを数回押す

重 要！

- インクニアエンドが発生している場合、本機能は動作しません。P.1-12 「インクカートリッジを交換する」を参照して、インクニアエンドを解消してください。
- ヘッド等の状態によっては、本機能を実行しても作図不良が復旧しない場合があります。この場合は、弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。

メディア検出の設定をする

メディアをセットしたときの検出方法とメディアをカットするときの検出タイプを設定します。

1 ローカルモードで、(FUNCTION)キーを押す

FUNCTION

FUNCTION
セッテイ <ENT>

2 (ENTER)キーを押す

ENTER

セッテイ
センタク :タイプ゜1

3 (▲)(▼)を押して、タイプ（1～4）を選び、(ENTER)キーを押す

4 (▲)(▼)を押して、[メディアケンシュツ]を選ぶ

[1]
メデ゛ィア ケンシュツ <ent>

5 (ENTER)キーを押す

ENTER

[1]メデ゛ィア ケンシュツ
ケンシュツ ホウホウ <ent>

6 (ENTER)キーを押す

- メディア検出の設定画面が表示されます。

ENTER

[1]メデ゛ィア ケンシュツ
ケンシュツ ホウホウ :セレクト

7 (▲)(▼)を押して、設定値を選ぶ

セレクト：メディア検出時に(◀)(▶)を押してロールメディアかリーフメディアかを選ぶ
ハバ　　：メディア検出時、キー入力はしないでメディアの幅のみ検出する
(クランプレバーを下げると、自動的に検出を開始します。)

8 (ENTER)キーを押す

ENTER

[1]メデ゛ィア ケンシュツ
ケンシュツ ホウホウ <ent>

9 (▼)を押して、[カットジケンシュツ]を選ぶ

[1]メデ゛ィア ケンシュツ
カット シ゛ ケンシュツ <ent>

10 ENTER キーを押す

11 ▲ ▼ を押して、設定値を選ぶ

- 設定値：リョウエッジ / ヒダリエッジ / ミギエッジ / ナシ

12 ENTER キーを押す

13 終了するとき、END キーを数回押す

重要！

- [カットジケンシュツ] で設定値を " リョウエッジ " 以外に設定すると、カット時間は短縮されますが、メディアスキューがあった場合に切り残しが発生する場合があります。

その他の設定

使い方に合わせて設定を変えてください。

1 ローカルモードで、FUNCTION キーを押す

FUNCTION

```
FUNCTION
セッテイ                <ENT>
```

2 ENTER キーを押す

ENTER

```
セッテイ
センタク          ：タイプ゚1
```

3 ▲▼を押してタイプ（**1** ～ **4**）を選び、ENTER キーを押す

4 ▲▼を押して設定する項目を選ぶ

- 設定一覧表を参照して選んでください。

5 ENTER キーを押す

6 ▲▼を押して設定値を選ぶ

- 設定一覧表を参照して選んでください。

7 ENTER キーを押す

8 終了するとき、END キーを数回押す

重要！

- 設定した値は、電源を “OFF” にしても保持しています。

設定一覧表

お買い上げ時は、下線の設定になっています。

機能名	概　要	設定値
メディア補正の設定	メディアの送り量を補正。	P.3-5 を参照してください
ヒーターの設定	ヒーターの温度を設定。	P.3-8 を参照してください
	ヒーターのスタンバイ時間と OFF 時間を設定。	
作図方式の設定	作図品質を設定。	P.3-12 を参照してください
	スキャン方向を設定。	
	ロジカルシークを設定。	
	白重ね作図を設定。	
重ね塗りの設定	インクの重ね塗り回数を設定。	1 ～ 9 回
乾燥時間の設定	スキャンごとのインクの乾燥時間を設定。	P.3-18 を参照してください
	作図終了後のインクの乾燥時間を設定。	
オートカットの設定	作図後、自動でメディアをカットするか設定。	ON / OFF
プリフィードの設定	作図前にメディアを前後搬送させるか設定。	ON / OFF
マージンの設定	メディア左余白を設定。	P.3-19 を参照してください
	メディア右余白を設定。	
カラーパターンの設定	メディア右端にカラーパターンを作図するか設定。	ON / OFF
リフレッシュの設定	ヘッドのリフレッシュレベルを設定。	0 ～ 3
吸着の設定	メディアを吸着する力を設定。	ツヨイ / ヒョウジュン / ヤヤヨワイ / ヨワイ /OFF
フィード速度レベルの設定	作図中などにメディア送りをする速度を変更する。	10 ～ 100 ～ 200%
優先順位の設定	優先する設定 (パネル / ホスト) を決定する。	コベツセッテイ / スベテホスト / スベテパネル
オートクリーニングの設定	作図ごとに行う、ヘッドの自動クリーニング動作を設定。	P.3-22 を参照してください
作図中クリーニングの設定	作図中に行う、ヘッドの自動クリーニング動作を設定。	P.3-24 を参照してください
メディア検出の設定	メディア検出動作を設定。	P.3-26 を参照してください
	カット動作時の検出条件を設定。	
送り原点の設定	作図原点の位置変更時、メディア送り方向をLEDポインタに合わせたいときに設定する。	ON / OFF

設定した内容を初期状態に戻す

設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。（設定リセット）
設定リセットはタイプ別に実行できます。

1 ローカルモードで、
FUNCTION キーを押す

FUNCTION

```
FUNCTION
セッテイ                  <ENT>
```

2 ENTER キーを押す

ENTER

```
セッテイ
センタク              : タイフ゜1
```

3 ▲ ▼ を押して、タイプ（**1** ～ **4**）を選び、
ENTER キーを押す

4 ▲ ▼ を押して、
[セッテイリセット **]** を選ぶ

```
[1]
セッテイ　リセット          <ent>
```

5 ENTER キーを押す

ENTER

```
[1]セッテイ　リセット
リセット                    : ent
```

6 ENTER キーを押す

ENTER

- 設定を初期化します。

7 終了するとき、END キーを数回押す

マシン設定

本装置を快適に使用するための各種設定です。マシン設定には「マシン設定」と「マシン設定2」があります。
マシン設定 1・2 で設定できる内容は、次の項目です。

	項　目		設定値*1	内　容
マシン設定	ハイキファン*2	テイシタイマー	0～120～240min/レンゾク	作図終了後、排気ファンの回転を停止するまでの時間を設定します。
		キリカエ	ON / OFF	現在の排気ファンの動作状態を切り替えます。
	カンソウフィード		ON / OFF	作図終了後、メディアを乾燥させるためのフィードを行うか設定します。
	スタンプセッテイ		ON / OFF	作図終了後に、出力日時・作図条件を出力する設定を行います。
	ハイインクタンクワーニング		ON / OFF	廃インクタンクの確認メッセージを表示させるか設定します。
	テストサクズハイチ		FEED ホウコウ / SCAN ホウコウ	テスト作図を繰り返し実行したときの、テストパターンの配置方向を設定します。
	インク　キョウキュウ *3 ユウセン		ザンリョウ ユウコウキゲン	ダブルカートリッジ自動切替機能で、優先して使用するカートリッジを設定します。
	シツオン *4		トウタツヲマタナイ トウタツヲマツ	室温が使用可能範囲外になっているためにエラーが発生した時の動作を設定します。(☞ P.3-38)
マシン設定2	カクニンフィード		ON / OFF	テスト作図後、結果を確認するためのフィード設定ができます。 ON に設定すると、FUNCTION を押してメディアを元の位置に戻すための「メディアモドシフィード」の設定に移ります。
	ジコクセッテイ			現在の日付と時刻を設定します。
	タンイセッテイ	温度	℃（摂氏）/ ゜F（華氏）	温度の表示単位を設定します。
		長さ	mm / inch	長さ、面積の表示単位を設定します。
	マシンメイショウ		01 ～ 99	USB2.0 インターフェイスを使用した複数台接続時の装置認識のためのマシン名称 (マシン№.) を設定します。
	キーブザー		ON / OFF	キーを押したときのブザー音を設定します。

*1. お買い上げ時は、下線の設定になっています。
*2. ハイキファンはオプションです。
*3. 4 色インクセットの場合のみ有効となります。
*4. ファームウェアバージョン V4.60 以降対応。

3
便利な使い方

ハイキファンの設定をする

ファンは作図中は動作し、作図終了後からは " テイシタイマー " の設定に従って動作します。

ハイキファンの設定では、次の 2 項目の設定ができます。

- テイシタイマー : 作図終了からファン動作を停止するまでの時間を設定します。
- キリカエ : "ON" にすれば、作図中でなくてもファン動作を実行できます。

重要！
- 排気ファンは乾燥排気ユニットに含まれるオプション品となります。
- 乾燥ファンを装着している場合、乾燥ファンの設定はここで設定した内容に連動して動作します。

1 ローカルモードで、(FUNCTION) キーを押す

FUNCTION
セッテイ <ENT>

2 (▲)(▼)を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ

FUNCTION
マシン セッテイ <ENT>

3 (ENTER) キーを 2 回押す

ハイキ ファン
テイシ タイマー <ent>

4 (▲)(▼)を押して、設定する項目を選ぶ

テイシタイマー : 作図終了から排気ファンが停止するまでの時間を設定
キリカエ : ファンを動作させたいときに選ぶ

5 (ENTER) キーを押す

6 (▲)(▼)を押して、設定値を選ぶ

テイシタイマー : 0 ～ 240 秒または連続運転
キリカエ : 動作させるときに "ON" を選び、動作を停止させるとき "OFF" を選ぶ

7 (ENTER) キーを押す

- 終了するとき、(END) キーを数回押します。

カンソウフィードの設定をする

作図完了後、メディアを乾燥させるためのフィードを行うか設定します。

1 ローカルモードで、FUNCTION キーを押す

FUNCTION

FUNCTION
セッテイ <ENT>

2 ▲▼を押して、[マシンセッテイ]を選ぶ

FUNCTION
マシン セッテイ <ENT>

3 ENTER キーを押す

ENTER

マシン セッテイ
ハイキ ファン <ent>

4 ▲▼を押して、[カンソウフィード]を選ぶ

マシン セッテイ
カンソウ フィード <ent>

5 ENTER キーを押す

ENTER

カンソウ フィード
セッテイ :ON

6 ▲▼を押して、**ON/OFF** を選ぶ

7 ENTER キーを押す

8 終了するとき、END キーを数回押す

スタンプの設定をする

作図完了後に、作図条件や作図日時などの情報を出力するか設定します。

1 ローカルモードで、[FUNCTION] キーを押す

FUNCTION

```
FUNCTION
セッテイ                 <ENT>
```

2 [▲][▼]を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ

```
FUNCTION
マシン　セッテイ         <ENT>
```

3 [ENTER]キーを押す

ENTER

```
マシン　セッテイ
ハイキ　ファン           <ent>
```

4 [▲][▼]を押して、[スタンプセッテイ] を選ぶ

```
マシン　セッテイ
スタンプ゜　セッテイ     <ent>
```

5 [ENTER]キーを押す

ENTER

```
スタンプ゜　セッテイ
スタンプ゜              :OFF
```

6 [▲][▼]を押して、**ON/OFF** を選ぶ

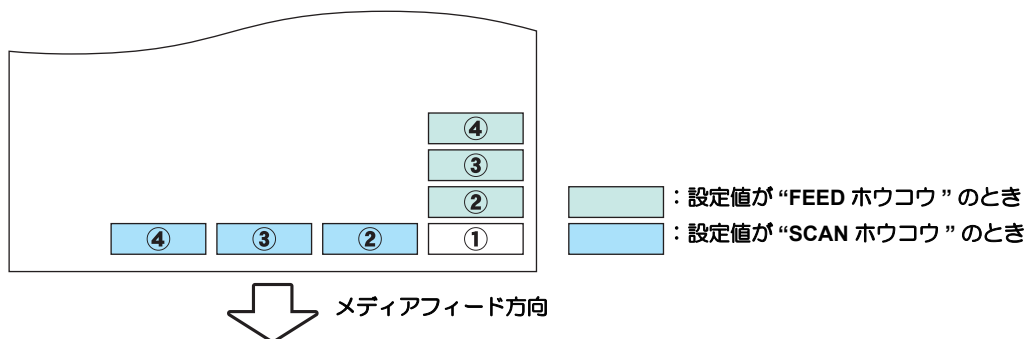
7 [ENTER]キーを押す

8 終了するとき、[END]キーを数回押す

出力の例

```
             JV33-130  Ver1.00
PRINT MODE   : 540x1080 12PASS Uni-D Hi      1LAYER
MEDIA COMP.  : -10(20,-50)
HEAD GAP     : ウスイ
INK          :  ES3インク  4color
HEATER TEMP.: プリ  :40°C プリント:40°C アフター :50°C
DATE         : 12.05.05 17:24:28
```

テストサクズハイチの設定をする

テスト作図を繰り返し実行するときの、作図されるテストパターンの配置方向を設定できます。

④ ③ ② ①

：設定値が "FEED ホウコウ" のとき

：設定値が "SCAN ホウコウ" のとき

メディアフィード方向

1 ローカルモードで、FUNCTION キーを押す

FUNCTION

FUNCTION
セッテイ <ENT>

2 ▲▼を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ

FUNCTION
マシン　セッテイ <ENT>

3 ENTER キーを押す

ENTER

マシン　セッテイ
ハイキ　ファン <ent>

4 ▲▼を押して、[テストサクズハイチ] を選ぶ

マシン　セッテイ
テスト　サクス゛　ハイチ <ent>

5 ENTER キーを押す

ENTER

テスト　サクス゛　ハイチ
セッテイ :FEED　ホウコウ

6 ▲▼を押して、設定値を選ぶ

FEED ホウコウ：メディアのフィード (奥行き) 方向に配置（お買い上げ時の設定）
SCAN ホウコウ：メディアのスキャン (横) 方向に配置

7 ENTER キーを押す

8 終了するとき、END キーを数回押す

シツオンの動作条件を変更する

本機を設置している場所の温度（室温）が使用可能範囲から外れている状態で作図をすると、インクの吐出不良や色味が変わるなど、作図品質に悪影響を及ぼします。
ここでは、作図時に室温が使用可能範囲から外れていた場合の動作を選択します。

- 使用可能範囲について、詳しくは P.6-3「使用可能温度」を参照してください。
- 作図開始時に室温が適正範囲外になっていると、以下のエラーメッセージを表示してお知らせします。

```
**** ERROR 120 ****
 シツオン ヒクイ (XX° C)
```

```
**** ERROR 121 ****
 シツオン タカイ (XX° C)
```

＊メッセージ内に表示される温度は、装置内部の温度です。実際の室温とは異なりますので、ご注意ください。

1 ローカルモードで、FUNCTION キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ            <ENT>
```

2 ▲▼を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ

```
FUNCTION
マシン セッテイ      <ENT>
```

3 ENTER キーを押す

```
マシン セッテイ
ハイキ ファン        <ent>
```

4 ▲▼を押して、[シツオン] を選ぶ

```
マシン セッテイ
シツオン            <ent>
```

5 ENTER キーを押す

```
シツオン
センタク    :トウタツ ヲ マタナイ
```

6 ▲▼を押して、設定値を選ぶ

トウタツ ヲ マタナイ：エラーメッセージを一瞬表示した後、作図を開始する。
トウタツ ヲ マツ　　：エラーメッセージを表示した後、室温が適正値になるまで待ってから作図を行う。

7 ENTER キーを押す

8 終了するとき、END キーを数回押す

カクニンフィードの設定をする

テスト作図後に、作図結果を確認するためにメディアのフィードを行うか設定します。

1 ローカルモードで、FUNCTION キーを押す

FUNCTION

FUNCTION
セッテイ <ENT>

2 ▲▼を押して、[マシンセッテイ 2] を選ぶ

FUNCTION
マシン セッテイ2 <ENT>

3 ENTER キーを 2 回押す

ENTER

カクニン フィード
セッテイ : ON

4 ▲▼を押して、ON を選ぶ

- [OFF] を選んだ場合は、手順 7 へ進んでください。

5 [メディアモドシフィード] の設定をするとき、FUNCTION キーを押す

FUNCTION

カクニン フィード
メディア モドシ フィード : ON

6 ▲▼を押して、ON/OFF を選ぶ

カクニン フィード
メディア モドシ フィード : OFF

- メディア戻しフィードをONにすると、確認フィードでフィードしたメディアを少し戻します。
- メディアを戻したくないときは、OFF に設定してください。

7 ENTER キーを押す

ENTER

マシン セッテイ2
カクニン フィード <ent>

8 終了するとき、END キーを数回押す

ジコクの設定をする

1 ローカルモードで、
FUNCTION キーを押す

FUNCTION

```
FUNCTION
セッテイ                <ENT>
```

2 ▲ ▼ を押して、
[マシンセッテイ 2] を選ぶ

```
FUNCTION
マシン セッテイ2         <ENT>
```

3 ENTER キーを押す

ENTER

```
マシン セッテイ2
カクニン フィード        <ent>
```

4 ▲ ▼ を押して、
[ジコクセッテイ] を選ぶ

```
マシン セッテイ2
ジ゛コク セッテイ        <ent>
```

5 ENTER キーを 2 回押す

ENTER

```
ジ゛コク セッテイ
2012.10.05   15:30:00
```

6 ▲ ▼ ◀ ▶ を押して、時刻を入力する

年月日 / 時分の選択 ： ◀ ▶ で選ぶ
年月日 / 時分の入力 ： ▲ ▼ で入力

7 ENTER キーを押す

- 入力した時刻が表示されます。

ENTER

```
ジ゛コク セッテイ
2012.10.05   15:30:00
```

8 終了するとき、END キーを数回押す

3
便利な使い方

重要！

- 過去の時刻設定は、現在の表示時刻より 8 時間前の時刻までしか設定できません。
- 誤って、現在の時刻より未来の時刻を設定した場合、手順 7 で次の操作をすると、前回設定した時刻に戻すことができます。

(1) 手順 7 で FUNCTION キーを押す （入力した時刻と前回設定した時刻が表示される）

(2) ENTER キーを押す

変更内容を戻せるのは、一つ前の変更までです。また、変更前の時刻は、経過した時間分進んでいます。

タンイの設定をする

本装置で使用する単位を設定します。

1 ローカルモードで、(FUNCTION)キーを押す

FUNCTION

FUNCTION	
セッテイ	<ENT>

2 (▲)(▼)を押して、[マシンセッテイ 2] を選ぶ

FUNCTION	
マシン　セッテイ2	<ENT>

3 (ENTER)キーを押す

ENTER

マシン　セッテイ2	
カクニン　フィート゛	<ent>

4 (▲)(▼)を押して、[タンイセッテイ] を選ぶ

マシン　セッテイ2	
タンイ　セッテイ	<ent>

5 (ENTER)キーを押す

ENTER

オント゛	:	ナカ゛サ
°C	:	mm

6 (▲)(▼)(◀)(▶)を押して、単位を選ぶ

項目の選択：(◀)(▶)で選ぶ
単位の設定：(▲)(▼)で入力

7 (ENTER)キーを押す

ENTER

マシン　セッテイ2	
タンイ　セッテイ	<ent>

8 終了するとき、(END)キーを数回押す

マシンメイショウの設定をする

USB2.0 インターフェイスを使用した複数台接続時の装置認識のためのマシン名称 (マシン№.) を設定します。

1 ローカルモードで、(FUNCTION) キーを押す

FUNCTION
```
FUNCTION
セッテイ                <ENT>
```

2 (▲)(▼)を押して、[マシンセッテイ 2] を選ぶ

```
FUNCTION
マシン  セッテイ2        <ENT>
```

3 (ENTER) キーを押す

ENTER
```
マシン  セッテイ2
カクニン  フィード゛      <ent>
```

4 (▲)(▼)を押して、[マシンメイショウ] を選ぶ

```
マシン  セッテイ2
マシン  メイショウ        <ent>
```

5 (ENTER) キーを押す

ENTER
```
マシン  メイショウ
         JV33-01     <ent>
```

6 (▲)(▼)を押して、マシン名称 (01~99) を選ぶ

```
マシン  メイショウ
         JV33-10     <ent>
```

7 (ENTER) キーを押す

ENTER
```
マシン  セッテイ2
マシン  メイショウ        <ent>
```

8 終了するとき、(END) キーを数回押す

キーブザーの設定をする

キーを押したときのブザー音を設定します。

1 ローカルモードで、FUNCTION キーを押す

FUNCTION
FUNCTION
セッテイ <ENT>

2 ▲▼を押して、[マシンセッテイ 2] を選ぶ

FUNCTION
マシン セッテイ2 <ENT>

3 ENTER キーを押す

ENTER
マシン セッテイ2
カクニン フィード <ent>

4 ▲▼を押して、[キーブザー] を選ぶ

マシン セッテイ2
キー ブザー <ent>

5 ENTER キーを押す

ENTER
キー ブザー
セッテイ :ON

6 ▲▼を押して、ON/OFF を選ぶ

キー ブザー
セッテイ :OFF

7 ENTER キーを押す

ENTER
マシン セッテイ2
キー ブザー <ent>

8 終了するとき、END キーを数回押す

- 設定を "OFF" にしても、エラー / 警告 / 動作完了等のブザー音を消すことはできません。

3
便利な使い方

インクの有効期限を延長する

通常は期限切れ後 2ヶ月で使用不可となるインクの有効期限を、期限切れの月から 6ヶ月延長できます。

インクの有効期限を延長する

以下の設定・確認画面は、本機の電源を ON にしたときや、期限切れのインクカートリッジをセットしたときに表示されます。

重 要！
- 一度延長 [YES] を設定したカートリッジは、設定の変更ができません。
- 複数の期限切れインクをセットしてから、期限延長を設定すると、複数のインクの有効期限をまとめて延長できます。
- インクの有効期限を延長して使用すると、印刷画質が低下したり、色味の変化やバンディングなど印字品質が低下する可能性があります。このことをご了解の上、インクの有効期限を延長してください。
- 初期充填では、期限切れ後 2ヶ月以上が過ぎたインクを使用することはできません。

1 右の画面を表示したら

```
ユウコウキケ゛ン エンチョウ ？
YES<                 >NO
```

交互に表示

```
スイショウ シナイカ゛ ヨイカ?
YES<                 >NO
```

2 ◀▶を押して、**[YES]** を選ぶ

- インク期限の延長をしないときは、[NO] を選んでください。この場合、インク期限が切れてから 2ヶ月すると、インクが使用できなくなります。

```
ユウコウキケ゛ン ヲ エンチョウシタ
    [ENT] ヲ オス
```

3 ENTER キーを押す

- インク期限が延長されます。

- インクの有効期限を延長した場合、インク期限切れから 6ヶ月が経過するとディスプレイに [カンゼン キゲンギレ] が表示され、セットしているインクカートリッジは使用できなくなります。速やかに新しいインクカートリッジと交換してください。
- 有効期限を延長したインクカートリッジからインクを供給しているときは、インクカートリッジの上にあるカートリッジランプが緑色に点滅してお知らせします。

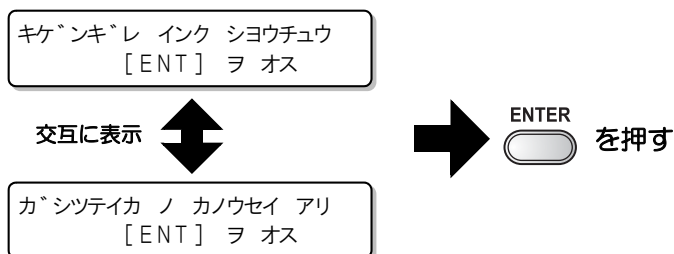
インクの有効期限を延長したカートリッジをセットすると

本機にインクの有効期限を延長したカートリッジをセットしている状態で電源をオンにしたときや、有効期限の延長を設定したカートリッジを本機にセットすると、次の画面を表示します。

```
キケ゛ンキ゛レ  インク  シヨウチユウ
           [ENT]  ヲ  オス
```

交互に表示

```
カ゛シツテイカ  ノ  カノウセイ  アリ
           [ENT]  ヲ  オス
```

→ ENTER を押す

- 上の画面を交互表示しているときに（FUNCTION）キーを押すと、期限切れになっているインクの確認ができます。

インクの有効期限を延長したときは

(例) 2014 年 2 月が有効期限のインクカートリッジをお使いの場合

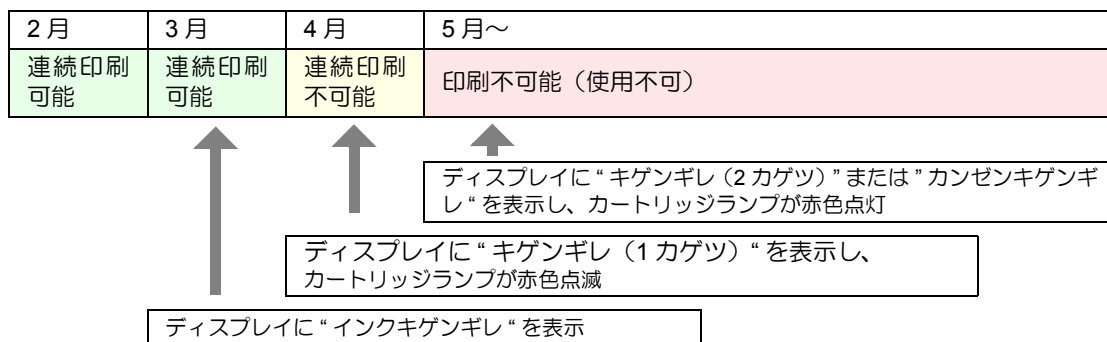
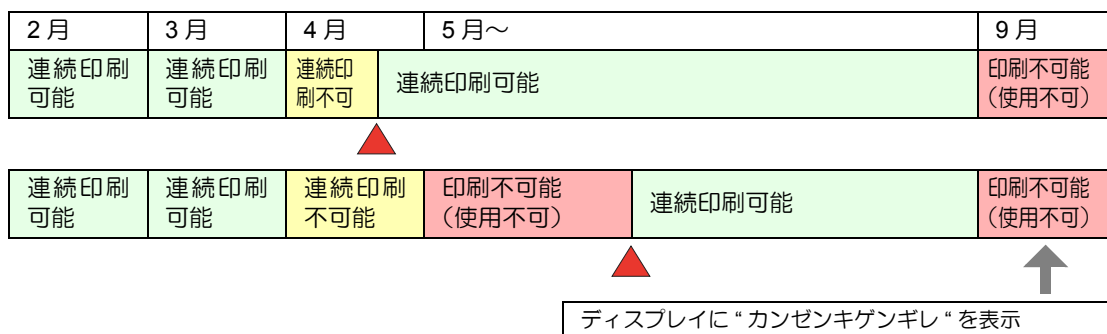
- 期限延長をしなかった場合

2 月	3 月	4 月	5 月～
連続印刷可能	連続印刷可能	連続印刷不可能	印刷不可能（使用不可）

- 3 月: ディスプレイに " インクキゲンギレ " を表示
- 4 月: ディスプレイに " キゲンギレ（1 カゲツ）" を表示し、カートリッジランプが赤色点滅
- 5 月～: ディスプレイに " キゲンギレ（2 カゲツ）" または " カンゼンキゲンギレ " を表示し、カートリッジランプが赤色点灯

- 期限延長を実行した場合（▲ で期限延長実行）

2 月	3 月	4 月	5 月～	9 月
連続印刷可能	連続印刷可能	連続印刷不可（▲ 期限延長実行）	連続印刷可能	印刷不可能（使用不可）
連続印刷可能	連続印刷可能	連続印刷不可能	印刷不可能（使用不可）▲ 連続印刷可能	印刷不可能（使用不可）

ディスプレイに " カンゼンキゲンギレ " を表示

4 月～ 8 月のいずれのタイミングで期限延長しても、延長される期間は有効期限から 6 か月です。

インク供給経路の切替設定

インク供給について、ダブルカートリッジ自動切替機能で優先して使用するカートリッジの状態を選択できます。
本設定は、4 色インクセットをお使いの場合のみ有効です。

重 要!

- ここでの設定に関わらず、有効期限が切れたインクカートリッジがセットされている場合は、期限切れのカートリッジを優先して使用します。
- オプションのバルクインクシステム (MBIS) をお使いの場合、両方のスロットでバルクインクシステム（MBIS）をセットしていれば、ここで行う設定が有効になります。
- 同色の供給経路にインクカートリッジとバルクインクシステム (MBIS) が混在している場合は、次ページの設定をご参照ください。

1 ローカルモードで、FUNCTION キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                <ENT>
```

2 ▲ ▼ を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ

```
FUNCTION
マシン セッテイ         <ENT>
```

3 ENTER キーを押す

```
マシン セッテイ
ハイキ ファン           <ent>
```

4 ▲ ▼ を押して、[インク キョウキュウ ユウセン] を選ぶ

```
マシン セッテイ
インク キョウキュウ ユウセン<ent>
```

5 ENTER キーを押す

6 ▲ ▼ を押して、優先するカートリッジの状態を選ぶ

```
インク キョウキュウ ユウセン
センタク          :ザ゛ンリョウ
```

ザンリョウ　　：残量が少ないインクカートリッジから供給する
ユウコウキゲン：有効期限が短いインクカートリッジから供給する

7 ENTER キーを押す

8 終了するとき、END キーを数回押す

インクカートリッジと MBIS を混在している場合

4 色インクセットで、同色の供給経路にインクカートリッジとオプションのバルクインクシステム (MBIS) を混在して使用している場合、優先して使用するインクを選択できます。

- 通常、同色のインク供給経路にインクカートリッジとバルクインクシステム (MBIS) を混在して使用する場合、バルクインクシステム (MBIS) 側のインクを優先して使用します。

重要!

- 本機能は 4 色インクセットをお使いの場合のみ有効です。
- インクカートリッジとバルクインクシステム (MBIS) が混在している供給経路がない場合は、本機能は設定できません。
- 本機能で選択しているカートリッジを引き抜くか電源を入れ直すと設定は無効となります。

1 ローカルまたはリモートモードで、ENTER キーを押す

```
ES3         MMCCYYKK
ザ゛ンリョウ    34567899
```

2 REMOTE キーを押す

```
BULK/CART センタク
     - B B B
```

現在、供給している側を表示
B : バルクインクシステム (MBIS)
C : インクカートリッジ
ー : 混在していない

3 ▲▼◀▶を押して、供給経路と、どちらを優先するか設定する

経路の選択 : ◀▶で選ぶ
優先する側を設定 : ▲▼で入力

```
BULK/CART センタク
     - C B B
```

4 ENTER キーを押す

- ローカルまたはリモートモードに戻ります。

装置情報を確認する

本装置の装置情報を確認できます。
確認できる装置情報は、次の項目です。

項　目	内　容
エラー履歴	現在までに発生したエラー、ワーニング履歴を表示します。 [▲][▼]を押して、発生順に発生日時 (年月日時分) とエラー、ワーニング情報を切り替えて表示します。
メンテナンス履歴	メンテナンス機能を、いつ使ったかの履歴を表示します。 主に、マニュアルによる洗浄機能や、自動 (定期、スリープ) での洗浄機能について表示します。
作図モード履歴	電源 ON から現在までに行ったオンライン作図情報 (作図条件) を表示します。（最大 50 件） [▲][▼]を押して作図した順番に切り替えて表示します。
リスト	装置の設定内容を作図します。
インクコウカンレポート [*1]	装置で使用したインクの履歴を作図します。
バージョン	装置のバージョン情報を表示します。
シリアル&ディーラーNo.	シリアル No.、ディーラー No. を表示します。

*1. ファームウェアバージョン V4.60 以降対応。

情報を表示させる

1 ローカルモードで、(FUNCTION) キーを押す

FUNCTION

```
FUNCTION
セッテイ                <ENT>
```

- 本装置の設定リストを作図したい場合は、メディアをセットしてください。（☞ P.2-6）

2 [▲][▼]を押して、[ジョウホウ] を選ぶ

```
FUNCTION
ジ゛ョウホウ              <ENT>
```

3 (ENTER) キーを押す

ENTER

```
ジ゛ョウホウ
エラー　リレキ            <ent>
```

4 [▲][▼]を押して、情報の種類を選ぶ

5 ENTER キーを押す

ENTER

- 情報を表示します。
- [リスト] を選んだ場合、装置の設定内容が作図されます。

表示される情報について

表示させた情報の見方を説明します。

エラー履歴		メンテナンス履歴	
発生年月日を表示	エラー　リレキ [01]　12.10.10　12:15	メンテナンス内容を表示	[01]　12.10.10　12:15 キャリッシ゛　アウト
	◀ ▶	バージョン	
エラー内容を表示	***** ERROR 09 ***** HDC　エラー	F/W などのバージョン情報を表示	JV33-160　V5.00 MRL-III　V1.20
作図モード履歴		シリアル&ディーラーNo.	
解像度や作図長などを表示	[01]　720x1080　.12 Bd.Vd.x1.1L:　12.34m	シリアルNo. ディーラーNo. を表示	S/N = ******** D/N = ********
	◀ ▶		
作図年月日を表示	サクス゛　モート゛　リレキ [01]　12.10.10　12:15		

第４章
日常のお手入れ

この章では ...

インクの交換方法やクリーニングなど、本装置を快適にお使いいただくために必要な項目を説明します。

日常のお手入れ

本装置の精度を保ちながら末永くお使いいただけるよう、使用頻度に応じて、または定期的にお手入れをしてください。

お手入れ上のご注意

本装置のお手入れをするとき、次の各事項にご注意ください。

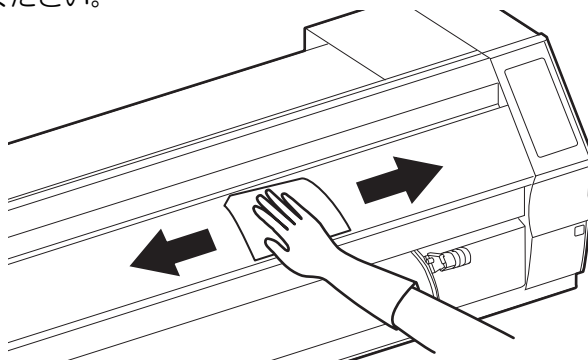
- メンテナンス用洗浄液を使用する場合は、必ず付属の保護メガネを使用してください。
- インクは有機溶剤を使用しています。皮膚に直接付かないように、清掃の際は手袋を着用してください。
- 本装置を、絶対に分解しないでください。感電および破損する原因になります。また、お手入れは電源スイッチをオフにし、電源ケーブルを抜いてから行ってください。思わぬ事故が発生する原因となります。
- 本装置の内部に水気が入らないようにしてください。内部が濡れると、感電および破損する原因になります。
- 本装置はインクの吐出安定性を確保するために、長時間ご使用 (出力) されないときには、定期的に微量のインクを吐出 (フラッシング) させる必要があります。
- 長時間使用されないときには、前面の電源スイッチのみを OFF とし、背面の主電源スイッチは ON(｜の状態) およびコンセントは挿入した状態にしておいてください。
- 有機溶剤インクは、水やアルコールと混ざると凝集物が発生いたします。ヘッドのノズル面やワイパー、キャップ等を水、アルコールなどで拭かないでください。ノズル詰まりや故障の原因になります。
- ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。カバーの表面が変質・変形する恐れがあります。
- 本装置の内部に潤滑油などを注油しないでください。プロッタ機構が故障する恐れがあります。
- メンテナンス用洗浄液やインクが、カバーに付着しないように注意してください。カバーの表面が変質、変形します。

メンテナンス洗浄液について

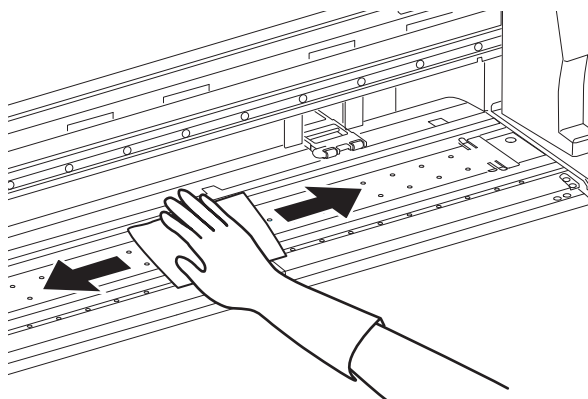
メンテナンス洗浄液は、お使いになるインクに対応したものをお使いください。

インクの種類	対応するメンテナンス洗浄液
SS21 ソルベントインク	メンテナンス洗浄液 MS2/ES3/HS キット (SPC-0369) MILD SOLVENT 洗浄液カートリッジ（SPC-0294）[別売]
ES3 ソルベントインク	
水性顔料インク	洗浄液ボトルキット A29（SPC-0137）[別売] 水性洗浄液カートリッジ（SPC-0259）[別売]
昇華転写インク	
Eco-PA1 インク	

外装のお手入れ

本体の外装が汚れた場合は、柔らかい布に水、または水で薄めた中性洗剤を含ませ、堅くしぼってから拭き取ってください。

プラテンの清掃

プラテン上は、メディアをカットしたときの糸や紙粉等で汚れやすくなります。
汚れが目立つときは、やわらかい毛のハケや乾いた布、ペーパータオルなどで汚れを拭き取ります。

- インクが付着している場合は、メンテナンス用洗浄液をペーパータオルに含ませ、拭き取ります。

重要！

- プラテンの清掃は、プラテンの温度が十分下がった状態で行ってください。
- メディア押さえ用の溝や、用紙カット用の溝 (カッターライン) などは特に汚れがたまりやすい場所です。入念な清掃をお願いします。

メディアセンサーの清掃

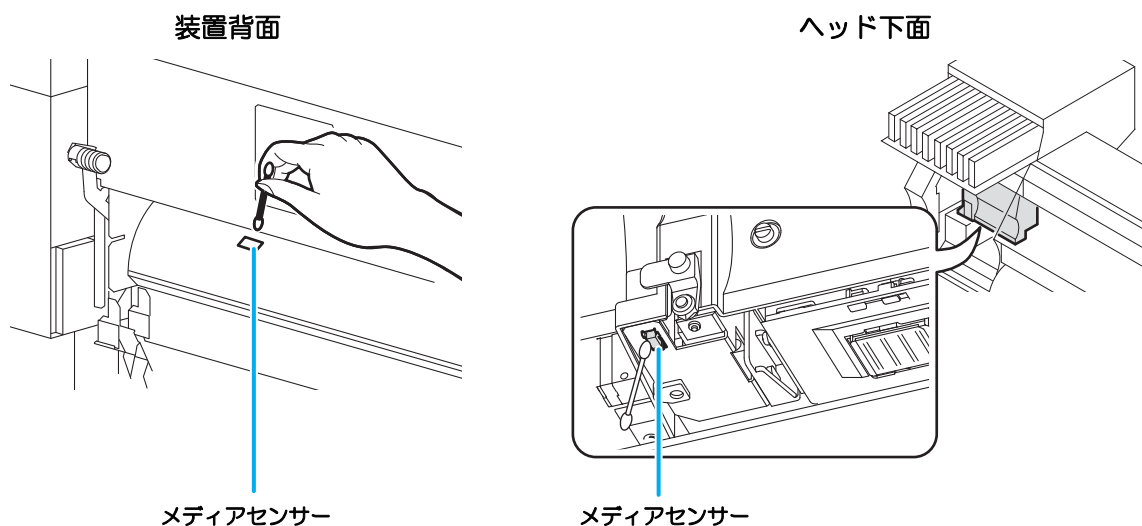
メディアセンサーは、背面側のプラテン上と、ヘッドの下面にあります。センサーにホコリ等がたまると、メディアの誤検出の原因となります。
綿棒でセンサーの表面にたまったホコリ等を取り除いてください。

ヘッド下面のセンサーを清掃するときは、P.4-18「ヘッド周辺の清掃」手順 1 の操作をして、キャリッジを左端に移動させてから清掃してください。

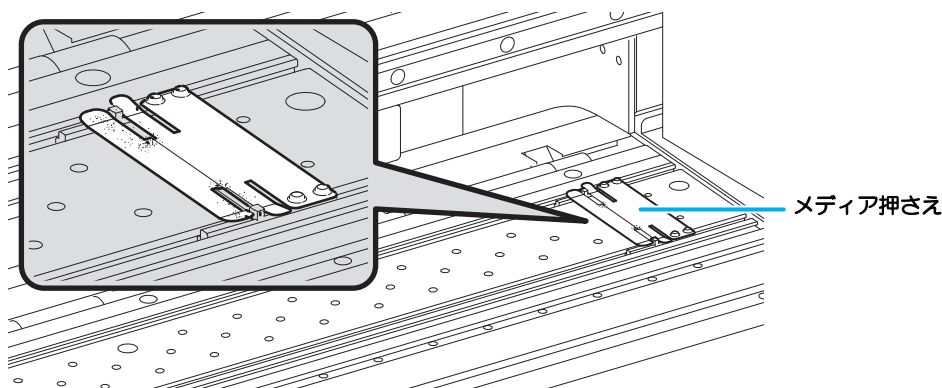
装置背面

メディアセンサー

ヘッド下面

メディアセンサー

メディア押えの清掃

メディア押さえにカットくずやホコリ等がたまると、作図時のメディアの搬送が正常に行えなくなったり、ホコリ等がノズルに付着して正常な作図ができなくなることがあります。
メディア押さえは、定期的に清掃してください。

メディア押さえ

キャッピングステーションのメンテナンス

キャッピングステーションにあるインクキャップやワイパー等のメンテナンスをします。
(ステーションメンテナンス)

インクキャップやワイパーは、それぞれ次のような働きをしています。
- **ワイパー** ：ヘッドのノズルに付着したインクを拭き取る
- **インクキャップ**：ヘッドのノズルが乾燥により、目詰まりするのを防止する

本装置を使用していると、インクやホコリ等でワイパーやキャップが汚れてきます。
ヘッドクリーニングを実行 (☞ P.2-24) しても、ノズル抜けが解消されない場合は、洗浄キットとクリーンスティックを使用して清掃を行います。

<table>
<tr><td rowspan="2">メンテナンスに
必要な道具</td><td colspan="3">• メンテナンス洗浄液キット
ソルベントインクをお使いの場合：
メンテナンス洗浄液 MS2/ES3/HS キット (品番 : SPC-0369)
水性インクをお使いの場合：
洗浄液ボトルキット A29(品番 : SPC-0137)</td></tr>
<tr><td>• クリーンスティック</td><td>• 手袋</td><td>• ゴーグル</td></tr>
</table>

注意

- キャッピングステーションのメンテナンスを行うときは、必ず付属のゴーグルと手袋を着用して作業を行ってください。インクが目に入る場合があります。
- キャリッジを手でキャッピングステーションから出さないでください。キャリッジを移動させたいときは、(ST.MAINTE)キーを押し、キャリッジアウトを実行してください。(☞ P.4-6 手順 1 ～ 2)

4

日常のお手入れ

ワイパーとキャップの清掃

画質や本装置の状態を良好に保つため、こまめに清掃されることをお勧めします。

重 要！

- SS21 インクをご使用の場合、ワイパー周辺にインクが付着しやすくなります。週に 2 回程度 (プリンタの使用頻度により異なります)、ワイパーと周辺の清掃をしてください。
- ワイパーの汚れ、曲がりがひどい場合は、新しいワイパーと交換してください。(☞ P.4-8)
- 清掃の際は、クリーンスティックの繊維が残らないように注意してください。繊維が残っていると、作図不良の原因になります。

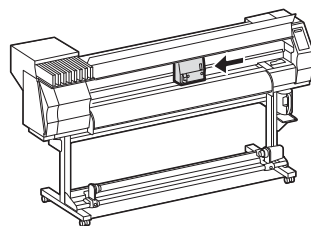
1 ローカルモードで、ST.MAINTE キーを押す

ST.MAINTE

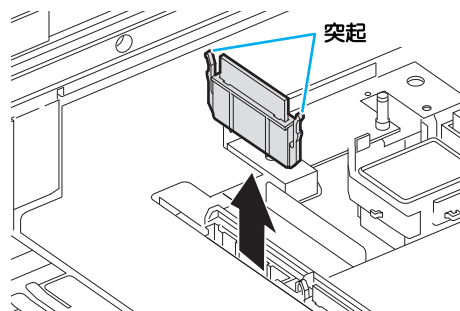
ステーション　メンテナンス
キャリッジ　アウト　<ent>

2 ENTER キーを押す

- キャリッジがプラテン上に移動します。

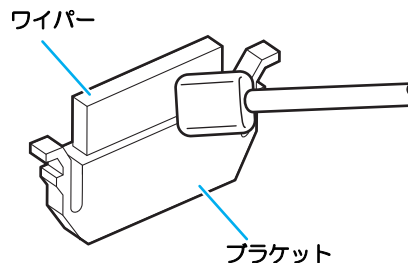
ENTER

3 フロントカバーを開けて、ワイパーを取り出す

- ワイパー両端の突起を持ち、引き抜きます。

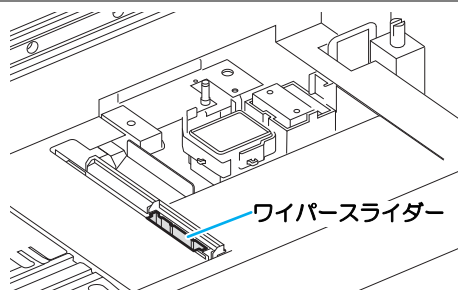
突起

4 ワイパーとブラケットを清掃する

- ワイパーとブラケットに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。

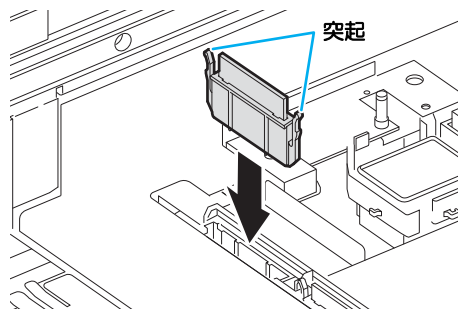
ワイパー

ブラケット

5 ワイパースライダーを清掃する

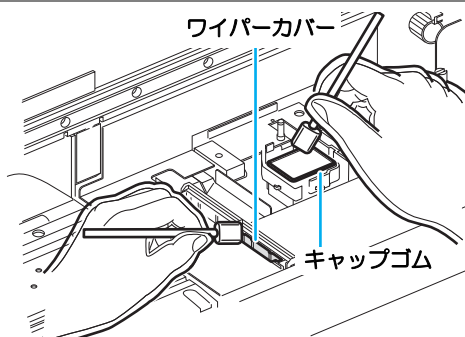
- ワイパースライダーに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。

ワイパースライダー

6 ワイパーを元の位置に戻す

- ワイパーの両端を持って差し込みます。

突起

7 キャップゴムやワイパーカバーを清掃する

- キャップゴムやワイパーカバーに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。

ワイパーカバー
キャップゴム

8 フロントカバーを閉じ、ENTER キーを押す

- 初期動作後、ローカルモードに戻ります。

ENTER

```
(  カバ゛ー  オープ゜ン  )
<ENT>ヲ  オシテクダ゛サイ
```

```
＊  ショキカ  チュウ  ＊
シバ゛ラク  オマチクダ゛サイ
```

ST.MAINTE を使わないでステーションメンテナンスをするには

ST.MAINTE キーを押さなくても、ローカルモードから FUNCTION キーを使ってステーションメンテを選ぶことができます。

ローカルモードで FUNCTION を押す	▲ ▼ を押して [メンテナンス] を選ぶ	ENTER を **2** 回押す •ローカルモードから ST.MAINTE を押したときと同じ状態になります。

4

日常のお手入れ

ワイパーを交換する

ワイパーは消耗品です。右のメッセージが表示されたら、速やかにワイパーを交換してください。
また、スライダー下面に付着したインクの清掃をしてください。

```
<ローカル.1>        [#01]
ワイパ゜ー コウカン      <MNT>
```

重要！

- クリーニングワイパーは別売品です。お近くの販売店、または弊社営業所でお求めください。
- ワイパー交換時以外は、[ワイパーコウカン] を選択しないでください。本装置内部で管理しているワイパー使用回数がリセットしてしまいます。

1 ローカルモードで、ST.MAINTE キーを押す

ST.MAINTE

```
ステーション メンテナンス
キャリッジ゛ アウト       <ent>
```

2 ▲▼を押して、[ワイパーコウカン] を選ぶ

```
ステーション メンテナンス
ワイパ゜ー コウカン       <ent>
```

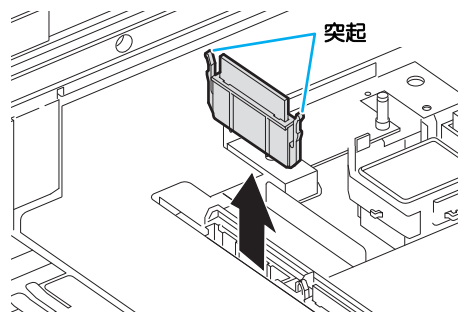
3 ENTER キーを押す

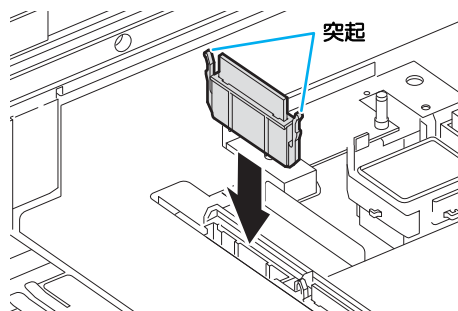
- キャリッジがプラテン上に移動します。

ENTER

```
ステーション メンテナンス
シュウリョウ            :ent
```

4 フロントカバーを開けて、ワイパーを取り出す

- ワイパー両端の突起を持ち、引き抜きます。

5 新しいワイパーを差し込む

- ワイパー両端の突起を持ち、差し込みます。

突起

6 フロントカバーを閉じ、ENTERキーを押す

- 初期動作後、ローカルモードに戻ります。

ENTER

（　カバ゛ー　オ－フ゜ン　）
<ENT>ヲ　オシテクタ゛サイ

＊　シヨキカ　チユウ　＊
シハ゛ラク　オマチクタ゛サイ

インク排出路の洗浄をする前に

インク排出路の洗浄 (PUMP チューブセンジョウ) をするには、メンテナンス洗浄液がチューブ内に充填されている必要があります。

- 次のメッセージが表示された場合、廃インクタンクを確認し、状況に応じて P.4-46「廃インクタンク確認メッセージが表示されたら」を参照して操作をしてください。

＊ハイインクタンク　ヲ　カクニン＊
ケイゾ゛ク<　　　　　　> コウカン

＊ハイインクタンク　ヲ　カクニン＊
コウカン　　　　　　　　:ent

メンテナンス洗浄液を充填する

1 メンテナンスメニューの [ヘッドメンテナンス] を選ぶ

(1) ローカルモードで、FUNCTION キーを押す
(2) ▲▼を押して [メンテナンス] を選び、ENTER キーを押す
(3) ▲▼を押して [ヘッドメンテナンス] を選ぶ
(4) ENTER キーを押す

2 ▲▼を押して [メンテナンスセンジョウエキ] を選ぶ

メンテナンス
メンテナンス　センシ゛ョウエキ<ent>

3 ENTER キーを押す

ENTER

メンテナンス　センシ゛ョウエキ
シ゛ュウテン　　　　　<ent>

4 ENTER キーを押す

- 正常なカートリッジをセットしている場合は、手順 6 へ進んでください。

ENTER

メンテナンス　センシ゛ョウエキ
カートリッシ゛　:　ナシ

END を表示した場合
洗浄液の残量がありません。新しい洗浄液カートリッジをセットしてください。
イジョウを表示した場合
セットしているカートリッジは洗浄液ではありません。

5 カートリッジをセットする

メンテナンス　センシ゛ョウエキ
シ゛ュウテン　カイシ　　　:ent

6 ENTER キーを押す

- 洗浄液の充填を始めます。

メンテナンス洗浄液を排出する

チューブ内の洗浄液を排出したいときは、下の操作をしてください。

1 メンテナンスメニューの [ヘッドメンテナンス] を選ぶ

(1) ローカルモードで、FUNCTION キーを押す
(2) ▲ ▼ を押して [メンテナンス] を選び、ENTER キーを押す
(3) ▲ ▼ を押して [ヘッドメンテナンス] を選ぶ
(4) ENTER キーを押す

2 ▲ ▼ を押して [メンテナンスセンジョウエキ] を選ぶ

メンテナンス
メンテナンス　センジ゛ョウエキ<ent>

3 ENTER キーを押す

メンテナンス　センジ゛ョウエキ
シ゛ュウテン　<ent>

4 ▲ ▼ を押して [ハイシュツ] を選ぶ

メンテナンス　センジ゛ョウエキ
ハイシュツ　<ent>

5 ENTER キーを押す

- カートリッジが外れている場合は、手順 7 へ進んでください。

メンテナンス　センジ゛ョウエキ
カートリッジ゛　:　アリ

6 カートリッジを外す

メンテナンス　センジ゛ョウエキ
ハイシュツ　カイシ　:ent

7 ENTER キーを押す

- 洗浄液のハイシュツを始めます。

ヘッドノズルの洗浄

インクの凝固によるインク詰まりのを防止するため、ヘッドノズルの洗浄を行います。

事前に確認してください	[ニアエンド]、[インクエンド] は表示していませんか？ • 洗浄動作の際に、洗浄液やインクの吸引を行います。このとき、インクエンドまたはニアエンドを検出していると、洗浄動作が行えなくなります。 • インクエンド等、未検出のカートリッジに交換してください。

1 ローカルモードで、ST.MAINTE キーを押す

ST.MAINTE

ステーション　メンテナンス
キャリッジ　アウト　　　<ent>

2 ▲▼を押して、[ノズルセンジョウ] を選ぶ

ステーション　メンテナンス
ノズル　センジョウ　　　<ent>

3 ENTER キーを押す

• キャリッジがプラテン上に移動します。

ENTER

ワイパー　クリーニング
シュウリョウ（ツギヘ）　　:ent

4 ワイパーとブラケットを清掃する

(1) フロントカバーを開け、ワイパー両端の突起を持って引き抜く
(2) クリーンスティックにメンテナンス洗浄液を含ませて清掃する
(水性インク : SPC-0137、ソルベントインク : SPC-0369)
(3) ワイパー両端の突起を持ち、元の位置に差し込む

突起

5 ENTER キーを押す

ENTER

センジョウエキ　ヲ　ミタス
シュウリョウ（ツギヘ）　　:ent

6 FUNCTIONキーを押し、メンテナンス洗浄液をキャップ一杯になるまで満たす

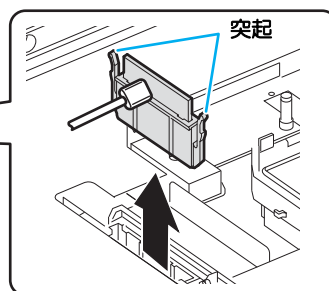
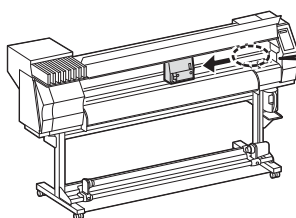
- FUNCTIONキーを押すと、キャップに洗浄液が点滴されます。
- 再度、FUNCTIONキーを押すと、点滴は止まります。
- 点滴を数回繰り返し、キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。

7 フロントカバーを閉め、ENTERキーを押す

ENTER

ステーション　メンテナンス
ホウチ　シ゛カン　　　　：　1min

8 ▲▼を押して、洗浄液の放置時間を設定する

- 設定値 : 1 ～ 99 分（1 分単位）

ステーション　メンテナンス
ホウチ　シ゛カン　　　　：　2min

9 ENTERキーを押す

- キャップに満たした洗浄液を吸引します。
- 手順 8 で設定した時間だけ、右の画面を表示します。
- 放置時間が過ぎると、ローカルモードに戻ります。

ENTER

＊　ショキカ　チュウ　＊
シハ゛ラク　オマチクタ゛サイ

↓

<ローカル : 1>

重 要！

- この洗浄を何回か実行してもノズル抜けが解消されない場合は、「ノズル詰まりが復旧しない場合」(☞ P.4-20) と [ハイシュツ & センジョウ] (☞ P.4-21) を実行してください。それでも解消されない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡 (サービスコール) ください。
- 本装置にメンテナンス洗浄液が充填されていない場合は次のようにしてください。
  (1) 手順 5 までの操作をする
  (2) スポイトでメンテナンス洗浄液をとり、キャップ一杯になるまで満たす
  (3) 手順 7 からの操作をする

インク排出路の洗浄 (PUMP チューブ洗浄)

インク排出路内でのインクの凝固によるインク詰まりを防止するため、定期的にインク排出路の洗浄をしてください。

- 次のメッセージが表示された場合、廃インクタンクを確認し、状況に応じて P.4-46「廃インクタンク確認メッセージが表示されたら」を参照して操作をしてください。

```
＊ハイインクタンク ヲ カクニン＊
ケイゾ゛ク<          >コウカン
```

```
＊ハイインクタンク ヲ カクニン＊
コウカン              :ent
```

1 ローカルモードで、ST.MAINTE キーを押す

ST.MAINTE

```
ステーション メンテナンス
キャリッシ゛ アウト        <ent>
```

2 ▲▼を押して、[PUMP チューブセンジョウ] を選ぶ

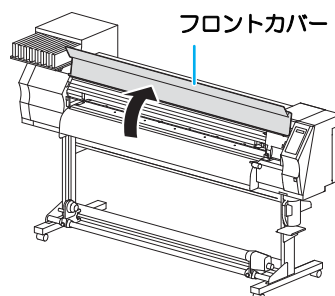
```
ステーション メンテナンス
PUMPチューフ゛センシ゛ョウ<ent>
```

3 ENTER キーを押す

ENTER

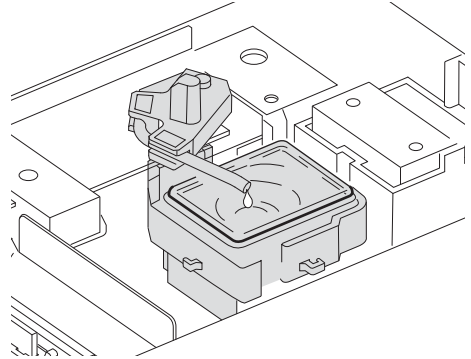
```
ステーション メンテナンス
シュウリョウ             :ent
```

- キャリッジがプラテン上に移動します。
- 空吸引動作（吸引を５秒、停止を１０秒）を洗浄の作業が終わるまで繰り返し行います。

4 フロントカバーを開ける

フロントカバー

5 FUNCTION キーを押し、メンテナンス洗浄液をキャップ一杯になるまで満たす

- FUNCTION キーを押すと、キャップに洗浄液が点滴されます。
- 再度、FUNCTION キーを押すと、点滴は止まります。
- 空吸引が停止している間に点滴を数回繰り返し、キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。

6 フロントカバーを閉じ、ENTER キーを押す

ENTER

＊ ショキカ チュウ ＊
シハ゛ラク オマチクタ゛サイ

< ローカル：1 >

- 30 秒間空吸引を実行した後、ローカルモードに戻ります。

重 要！

- 本装置にメンテナンス洗浄液が充填されていない場合は次のようにしてください。
  (1) 手順 4 までの操作をする
  (2) スポイトでメンテナンス洗浄液をとり、キャップ一杯になるまで満たす
  (3) 手順 6 の操作をする

長期間使用しない場合 (ホカンセンジョウ)

1 週間以上使用しない場合は、保管洗浄機能を使用し、ヘッドのノズルとインクの排路をクリーニングしてください。その後、本装置を保管してください。

事前に確認してください	[ニアエンド]、[インクエンド] は表示していませんか？ ・ 洗浄動作の際に、洗浄液やインクの吸引を行います。このとき、インクエンドまたはニアエンドを検出していると、洗浄動作が行えなくなります。 ・ インクエンド等、未検出のカートリッジに交換してください。

・ 次のメッセージが表示された場合、廃インクタンクを確認し、状況に応じて P.4-46「廃インクタンク確認メッセージが表示されたら」を参照して操作をしてください。

```
＊ハイインクタンク　ヲ　カクニン＊
ケイゾ゛ク<　　　　　　　　> コウカン
```

```
＊ハイインクタンク　ヲ　カクニン＊
コウカン　　　　　　　　　　:ent
```

1 ローカルモードで、ST.MAINTE キーを押す

ST.MAINTE

```
ステーション　メンテナンス
キャリッシ゛　アウト　　　　<ent>
```

2 ▲▼を押して、[ホカンセンジョウ] を選ぶ

```
ステーション　メンテナンス
ホカン　センシ゛ョウ　　　　<ent>
```

3 ENTER キーを押す

・ キャリッジがプラテン上に移動します。

ENTER

```
ワイハ゜ー　クリーニンク゛
シュウリョウ( ツキ゛ヘ)　　　:ent
```

4 ワイパーとブラケットを清掃する

(1) フロントカバーを開け、ワイパー両端の突起を持って引き抜く
(2) クリーンスティックにメンテナンス洗浄液を含ませて清掃する
(水性インク : SPC-0137、ソルベントインク : SPC-0369)
(3) ワイパー両端の突起を持ち、元の位置に差し込む

突起

5 ENTER キーを押す

ENTER

センシ゛ョウエキ　ヲ　ミタス
シュウリョウ(ツキ゛ヘ)　　　:ent

6 FUNCTION キーを押し、メンテナンス洗浄液をキャップ一杯になるまで満たす

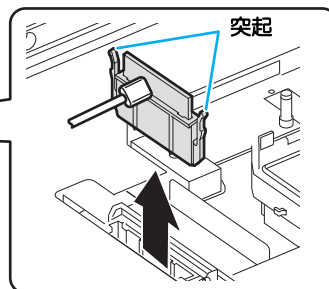
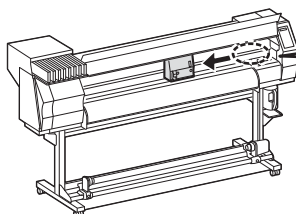
- FUNCTION キーを押すと、キャップに洗浄液が点滴されます。
- 再度、FUNCTION キーを押すと、点滴は止まります。
- 点滴を数回繰り返し、キャップから溢れる寸前まで洗浄液を満たしてください。

7 フロントカバーを閉め、ENTER キーを押す

ENTER

ステーション　メンテナンス
ホウチ　シ゛カン　　　:1min

8 ▲▼を押して、洗浄液の放置時間を設定する

- 設定値：1 〜 99 分（1 分単位）

ステーション　メンテナンス
ホウチ　シ゛カン　　　:2min

9 ENTER キーを押す

- ノズルの洗浄を実行します。
- ノズルの洗浄が終了すると、ヘッドがプラテン上に移動します。

ENTER

＊　ショキカ　チュウ　＊
シハ゛ラク　オマチクタ゛サイ

10 フロントカバーを開ける

11 FUNCTION キーを押し、メンテナンス洗浄液をキャップ一杯になるまで満たす

- FUNCTION キーを押すと、キャップに洗浄液が点滴されます。
- 再度、FUNCTION キーを押すと、点滴は止まります。
- 空吸引が停止している間に点滴を数回繰り返し、キャップから溢れる寸前まで洗浄液を満たしてください。

12 フロントカバーを閉じ、ENTER キーを押す

- 初期動作後、ローカルモードに戻ります。

ENTER

＊　ショキカ　チュウ　＊
シハ゛ラク　オマチクタ゛サイ

ヘッド周辺の清掃

ヘッドそのものは非常に微細なメカニズムを採用しておりますので、お手入れの際には十分な注意が必要です。
スライダ下部、ヘッド周辺にゲル状になったインクや、ホコリが付着することがありますので、クリーンスティックなどでこすり落としてください。その際、ヘッドのノズル部分は絶対にこすらないようにしてください。

清掃に必要な道具	• クリーンスティック	• 手袋	• ゴーグル

注意

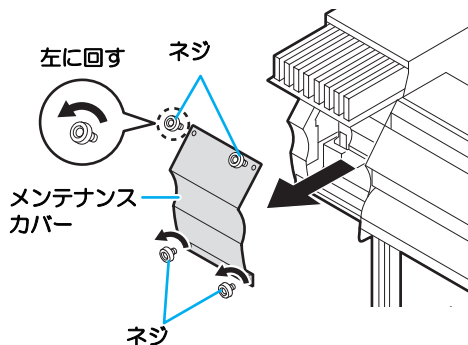
- 清掃を行うときは、必ず付属のゴーグルと手袋を着用して作業を行ってください。インクが目に入る場合があります。
- インクは有機溶剤を使用しています。皮膚や目に入った場合は、直ちに水で十分に洗い流してください。

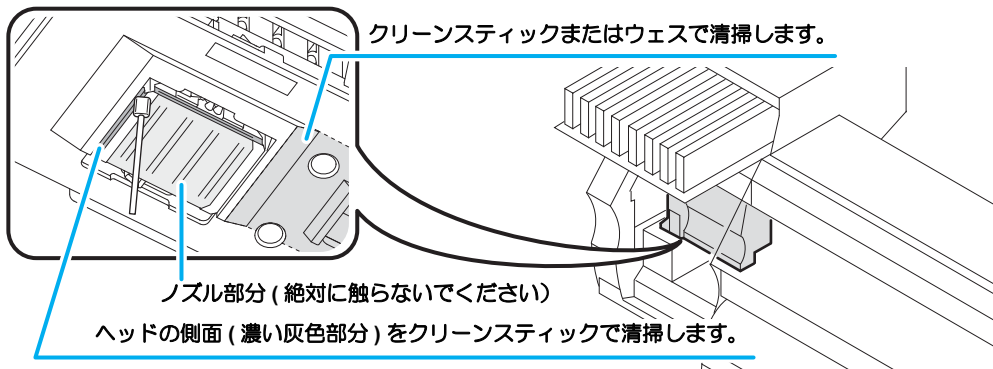
1 メンテナンスメニューの [キャリッジメンテナンス] を選ぶ

(1) ローカルモードで、FUNCTION キーを押す
(2) ▲ ▼ を押して [メンテナンス] を選び、ENTER キーを押す
(3) ▲ ▼ を押して [キャリッジメンテナンス] を選び、ENTER キーを押す
(4) ENTER キーを押す
- キャリッジが、本装置の左端まで移動します。

2 メンテナンスカバーを外す

(1) メンテナンスカバーを止めている 4 つのネジを左に回して取り除く
(2) メンテナンスカバーを外す

- メンテナンスカバーが開けづらい場合は、付属のドライバーを使って開けてください。

3 ヘッドの側面などに付着したインクをクリーンスティックで拭き取る

- ノズル部分は、絶対にこすらないでください。

4 清掃が終了したら、
ENTER キーを押す

ENTER

```
カバ゛ーヲ　シメテクダ゛サイ
```

5 メンテナンスカバーを閉じ、
ENTER キーを押す

- 初期動作後、ローカルモードに戻ります。

ENTER

```
(　カバ゛ー　オーフ゜ン　)
<ENT>ヲ　オシテクダ゛サイ
```

↓

```
＊　ショキカ　チュウ　＊
シバ゛ラク　オマチクダ゛サイ
```

重要！

- SS21 インクをご使用の場合、ヘッド周辺にインクが付着しやすくなります。週に2 回程度 (プリンタの使用頻度により異なります)、ヘッド周辺の清掃をしてください。

ノズル詰まりが復旧しない場合

ヘッドクリーニング (☞ P.2-24) やヘッドノズルの洗浄 (☞ P.4-12) をしても、ノズル詰まりが改善しない場合、次の 2 機能を実行してください。

インクジュウテン	• インクの充填動作を行い、ノズル詰まりを解消します。
ハイシュツ＆センジョウ	• 専用の洗浄液 (別売) でヘッド、チューブ、ダンパーを洗浄します。(☞ P.4-21)

インクを充填する

1 メンテナンスメニューの [ヘッドメンテナンス] を選ぶ

(1) ローカルモードで、FUNCTION キーを押す
(2) ▲ ▼ を押して [メンテナンス] を選び、ENTER キーを押す
(3) ▲ ▼ を押して [ヘッドメンテナンス] を選ぶ
(4) ENTER キーを押す

2 ENTER キーを押す

- 自動的にインク充填を開始します。
- インク充填が終わると、右の表示に戻ります。

ENTER

インク　シ゛ュウテン　チュウ
00：00

ヘット゛　メンテナンス
インク　シ゛ュウテン　　　<ent>

3 終了するとき、END キーを数回押す

ハイシュツ&センジョウ

ヘッド、ダンパー、チューブのインクを排出して、洗浄を実行します。

重要!
- この機能をお使いになるには、専用の洗浄液 (P.4-2「メンテナンス洗浄液について」) が必要です。また、再充填するためのインクが残っているか確認してから作業を行ってください。
- 次のメッセージが表示された場合、廃インクタンクを確認し、状況に応じて P.4-46「廃インクタンク確認メッセージが表示されたら」を参照して操作をしてください。

```
＊ハイインクタンク　ヲ　カクニン＊
ケイゾ゛ク<                > コウカン
```

```
＊ハイインクタンク　ヲ　カクニン＊
コウカン                     : ent
```

1 メンテナンスメニューの [ヘッドメンテナンス] を選ぶ

(1) ローカルモードで、FUNCTION キーを押す
(2) ▲ ▼ を押して [メンテナンス] を選び、ENTER キーを押す
(3) ▲ ▼ を押して [ヘッドメンテナンス] を選ぶ
(4) ENTER キーを押す

2 ▲ ▼ を押して、[ハイシュツ&センジョウ] を選ぶ

```
メンテナンス
ハイシュツ&センシ゛ョウ        <ent>
```

3 ENTER キーを押す

ENTER

```
インク　カートリッシ゛　ヲ　ハス゛ス
     MMCC　YYKK
```

4 インクカートリッジを外す

- ヘッドやチューブに残ったインクが廃インクタンクに排出されます。
- 排出が終わると、右の画面を表示します。

```
＊　ハイシュツ　チュウ　＊
        00:00
```

↓

```
センシ゛ョウ　エキ　ヲ　セット　スル
     1234　5678
```

5 インクステーションに洗浄液カートリッジをセットする

- 洗浄液の吸引を始めます。
- 吸引が終わると、右の画面を表示します。

```
＊　キュウイン　チュウ　＊
        00:00
```

↓

```
センシ゛ョウ　エキ　ヲ　ハス゛ス
     1234　5678
```

6 洗浄液カートリッジを外す

- ヘッドやチューブに残った洗浄液が廃インクタンクに排出されます。
- 排出が終わると、右の画面を表示します。

7 インクステーションに洗浄液カートリッジをセットする

- 洗浄液の吸引を始めます。
- 吸引が終わると、右の画面を表示します。

8 洗浄液カートリッジを外す

- ヘッドやチューブに残った洗浄液が廃インクタンクに排出されます。
- 排出が終わると、右の画面を表示します。

- 廃インクタンクの状態を確認して、洗浄を終了するか、再洗浄するかを選んでください。
- 再洗浄する場合は（▶）を押して、手順 5 に戻ります。

9 （◀）を押す

10 終了するとき、（END）キーを数回押す

インクの初期充填を行う

[ハイシュツ＆センジョウ] のあと、次の操作をしてインクの初期充填を行ってください。

1 本装置の電源をオンにする

- 電源をオンにすると [BOOT] を表示し、続けてファームウェアのバージョンを表示します。

```
BOOT
```

```
JV33-160          V*.**
```

```
シバ゛ラク オマチクダ゛サイ
```

2 ▲▼を押して、充填するインクタイプを選択する

- REMOTE キーを押すと、カートリッジの状態が確認できます。
(☞ P.5-5)

```
インクタイプ゜
     ES3 Sol
```

3 ▲▼を押して、充填するインクセット（充填色）を選択する

- お客様の操作で、現在お使いのインクセットから他のインクセットへ変更することはできません。
- インクセットの変更は、弊社営業所へお申し付けください。

```
ES3 インクセット
 4-Color(MMCCYYKK)
```

4 ENTER キーを押す

```
ES3-4Color インク ヲ セット
    ----  ----
```

5 インクステーションにインクカートリッジセットする

ES3-4Color インク ヲ セット
--C- Y-KK

- インクカートリッジをセットすると、自動的に充填が始まる。

ジ゛ュウテン チュウ
00:00

- インクステーションには、それぞれ差し込むインク色が決まっています。インクステーション下にあるカートリッジのラベルに合わせ、インクカートリッジをセットしてください。

正面側

4 色モデル：	M	M	C または Bl	C または Bl	Y	Y	K	K
6 色モデル：	M	Lm	C または Bl	M	Lc	C または Bl	K	Y
6 色 + 白モデル (SS21)：	M	W	C	W	Y	Lm	K	Lc
7 色モデル (Eco-PA1)：	M	Lk	C	Lk	Y	Lm	K	Lc
8 色モデル (ES3)：ファームウェアバージョン V4.60 より	M	S	C	W	Y	Lm	K	Lc

6 インク充填が終了すると、ローカルモードに戻る

<ローカル.1> [#01]
ハハ゛：****mm

- 初期充填後に作図したとき、カスレやヌケがある場合は、ヘッドクリーニング (☞ P.2-24) またはインク充填 (☞ P.4-20) をしてください。

手順 5 でインクの充填ができないとき

インクニアエンドやインクエンド、その他各種インクエラーが発生している場合は、インクの充填を開始しなくなります。

手順 5 でインクの充填が始まらない場合

(1) END キーを押すと、手順 2 の画面に戻る
(2) REMOTE キーを押して、インクカートリッジの状況を確認する
(3) インクエラーなどを解消し（☞ P.5-5)、手順 2 から操作し直す

ドットの位置がずれたら

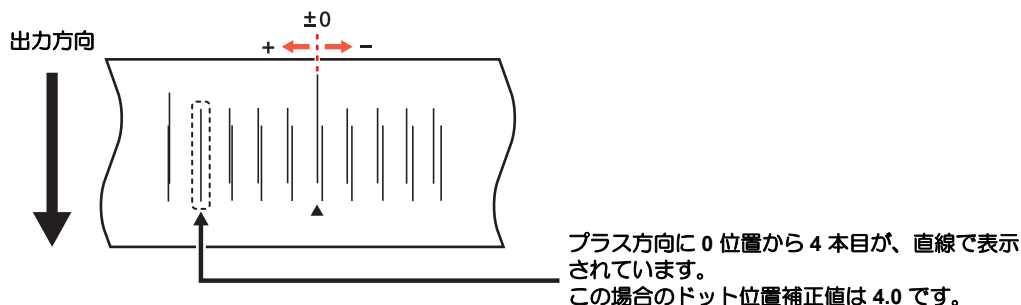
ご使用になるメディアの厚みやヘッドの高さ、インクの種類が変わったときは、次の操作をして双方向（Bi）作図時のインクの落下位置を補正し、適正な作図結果を得られるようにしてください。

パターン作図例

出力方向

±0

+ −

プラス方向に 0 位置から 4 本目が、直線で表示されています。
この場合のドット位置補正値は 4.0 です。

1 メディアをセットし、作図原点を設定する (P.2-6)

- パターン作図をするには、幅 500mm× 送り 400mm 以上の大きさのメディアが必要です。

2 メンテナンスメニューの [ドットイチホセイ] を選ぶ

(1) ローカルモードで、FUNCTION キーを押す
(2) ▲ ▼ を押して [メンテナンス] を選び、ENTER キーを押す
(3) ▲ ▼ を押して [ドットイチホセイ] を選ぶ
(4) ENTER キーを押す

3 ENTER キーを押して、パターン作図を開始する

ENTER

サクス゛　チュウ
シハ゛ラク　オマチクタ゛サイ

- 複数のテストパターンを作図します。（作図順にパターン 1,2,3... と呼ぶ）

4 ▲ ▼ を押して、パターン 1 のドット位置を補正する

ト゛ット　イチ　ホセイ
ハ゜ターン1　　=　0 . 0

- 補正値：-40 ～ 40
- テストパターンを確認し、往路と復路が 1 本の直線になっている位置が補正値となります。
- 補正値が -40 ～ 40 の間にない場合は、ヘッドの高さを調整後、手順 2 から操作をし直してください。

5 ENTER キーを押す

ENTER

6 手順 **4** と同様にして、パターン **2~** のドット位置を補正し、ENTER キーを押す

7 終了するとき、END キーを数回押す

電源オフ時のインク詰まりを防止する

電源スイッチをオフにしても、定期的に装置が起動して、インク詰まりを防止するための各種動作を行います (スリープ設定)。スリープ設定には、以下の項目があります。

機能名	説　明
リフレッシュ	リフレッシュを実行するまでの間隔を設定します。
チューブセンジョウ	ポンプチューブ洗浄を実行するまでの間隔を設定します。
クリーニング	クリーニングタイプと、実行するまでの間隔を設定します。

重要!

- 右のメッセージが表示されている場合、スリープ設定で設定した動作は実行されません。必要に応じて P.4-47 の操作をしてください。
- 装置前面の電源スイッチをオフにする場合は、廃インクタンクの確認をしてください。

```
<ローカル.1>          [#01]
ハイインク タンク カクニン <MNT>
```

スリープ中のリフレッシュ間隔を設定する

ノズル詰まり防止のため、ノズルから若干のインクを吐出する間隔を設定します。

1 メンテナンスメニューの [スリープセッテイ] を選ぶ

(1) ローカルモードで、FUNCTION キーを押す
(2) ▲▼を押して [メンテナンス] を選び、ENTER キーを押す
(3) ▲▼を押して [スリープセッテイ] を選ぶ

2 ENTER キーを押す

```
スリーフ゜ セッテイ
リフレッシュ          <ent>
```

3 ENTER キーを押す

```
スリーフ゜ セッテイ
リフレッシュ カンカク    = 1h
```

4 ▲▼を押して、リフレッシュ間隔を設定する

- 設定値：OFF,1 ～ 168 時間

```
スリーフ゜ セッテイ
リフレッシュ カンカク    = 10h
```

5 ENTER キーを押す

```
スリーフ゜ セッテイ
リフレッシュ          <ent>
```

6 終了するとき、END キーを数回押す

スリープ中のチューブ洗浄間隔を設定する

スリープ中に、メンテナンス洗浄液を使用してキャップとポンプチューブ洗浄を実行するまでの間隔を設定します。

1 メンテナンスメニューの [スリープセッテイ] を選ぶ

(1) ローカルモードで、FUNCTIONキーを押す
(2) ▲▼を押して [メンテナンス] を選び、ENTERキーを押す
(3) ▲▼を押して [スリープセッテイ] を選ぶ
(4) ENTERキーを押す

2 ▲▼を押して、[PUMP チューブセンジョウ] を選ぶ

```
スリーフ゜ セッテイ
PUMPチューフ゛センシ゛ョウ<ent>
```

3 ENTERキーを押す

```
スリーフ゜ セッテイ
センシ゛ョウ カンカク     = 1h
```

4 ▲▼を押して、チューブ洗浄を行う間隔を設定する

- 設定値：OFF,1 ～ 168 時間

```
スリーフ゜ セッテイ
センシ゛ョウ カンカク     = 4h
```

5 ENTERキーを押す

```
スリーフ゜ セッテイ
チューフ゛ センシ゛ョウ   <ent>
```

6 終了するとき、ENDキーを数回押す

- 本装置に洗浄液が充填されていない場合、手順 5 で右の画面が表示されます。洗浄液を充填 (☞ P.4-10) し、手順 1 から操作し直してください。

```
**センシ゛ョウエキ ミシ゛ュウテン**
```

スリープ中のクリーニング間隔を設定する

メンテナンス洗浄液が終わってしまった時に、ポンプチューブ洗浄の代わりに使う機能です。
スリープ中のクリーニングタイプと、クリーニングを実行するまでの間隔を設定します。

1 メンテナンスメニューの [スリープセッテイ] を選ぶ

(1) ローカルモードで、FUNCTION キーを押す
(2) ▲ ▼ を押して [メンテナンス] を選び、ENTER キーを押す
(3) ▲ ▼ を押して [スリープセッテイ] を選ぶ
(4) ENTER キーを押す

2 ▲ ▼ を押して、[クリーニング] を選ぶ

```
スリーフ゜ セッテイ
クリーニンク゛              <ent>
```

3 ENTER キーを押す

```
スリーフ゜ セッテイ
クリーニンク゛ カンカク    =  1h
```

4 ▲ ▼ を押して、クリーニングを行う間隔を設定する

- 設定値：OFF,1 ～ 168 時間

```
スリーフ゜ セッテイ
クリーニンク゛ カンカク    =  4h
```

5 FUNCTION キーを押す

- クリーニングタイプの選択画面が表示されます。

```
スリーフ゜ セッテイ
クリーニンク゛ タイフ゜    : ノーマル
```

6 ▲ ▼ を押して、クリーニングタイプを選ぶ

- 設定値：ノーマル、ソフト、ハード

```
スリーフ゜ セッテイ
クリーニンク゛ タイフ゜    : ソフト
```

7 ENTER キーを押す

```
スリーフ゜ セッテイ
クリーニンク゛ カンカク    =  4h
```

8 終了するとき、END キーを数回押す

定期動作を設定する

電源がオンの状態で定期的な各種動作を実施することで、インク詰まりなどのトラブルを防止します (定期設定)。定期設定には、以下の項目があります。

機能名	説　　明
テイキワイピング	作図中、一定間隔でノズル面をワイピングし結露を取り除きます。[スキャンカイスウ] と [オンドサ] の設定ができます。
リフレッシュ	待機中のリフレッシュ動作を実行するまでの間隔を設定します。
チューブセンジョウ	待機中のポンプチューブ洗浄を実行するまでの間隔を設定します。
クリーニング	待機中のクリーニングタイプと、実行するまでの間隔を設定します。

重 要 !

- 右のメッセージが表示されている場合、[テイキワイピング] を除き、定期設定で設定した動作は実行されません。必要に応じて P.4-47 の操作をしてください。

<ローカル．1>　　　　　　[#01]
ハイインク　タンク　カクニン　<MNT>

- 装置前面の電源スイッチをオフにする場合は、廃インクタンクの確認をしてください。

作図中の定期ワイピングの動作を設定する

作図中に設定したスキャン回数になったら、自動的にワイピング動作を行うことにより、ノズル面でインクが結露するのを防止できます。

次のような場合は、作図途中でしぶき・ボタ落ち・ノズル抜けが発生する場合があります。
定期ワイピングの設定をして、常に快適な作図状態を維持することをお勧めします。
- プリントヒーターを高温に設定している
- 打ち込みインク量を多め (高濃度、2 度塗り等) に設定している

これは、作図直後のインクがプリントヒーターで加熱され、揮発した溶剤成分がノズル面に結露してしまうことが原因です。
また、プリントヒーターの設定温度と外気温度との差が大きいほど結露しやすくなります。

1 メンテナンスメニューの [テイキセッテイ] を選ぶ

(1) ローカルモードで、FUNCTION キーを押す
(2) ▲▼を押して [メンテナンス] を選び、ENTER キーを押す
(3) ▲▼を押して [テイキセッテイ] を選ぶ

2 ENTER キーを押す

ENTER

テイキ　セッテイ
テイキ　ワイピング　　　<ent>

3 ENTER キーを押す

ENTER

テイキ　ワイピング
スキャン　カイスウ　　　<ent>

4 ENTER キーを押す

ENTER

テイキ　ワイヒ゜ング゛
スキャン　カイスウ　　　　=　50

5 ▲ ▼ を押して、
スキャン回数を設定する

テイキ　ワイヒ゜ング゛
スキャン　カイスウ　　　　=　40

- 設定値：0 ～ 9990 回
- ヒーターを高温 (50 ℃近辺) に設定した場合や、2 度塗り等打ち込みインク量が多い場合は、30 ～ 50 回が目安です。

6 ENTER キーを押す

ENTER

テイキ　ワイヒ゜ング゛
スキャン　カイスウ　　　　<ent>

7 ▲ ▼ を押す

ENTER

テイキ　ワイヒ゜ング゛
オント゛サ　　　　　　　　<ent>

- オンドサの設定画面が表示されます。

8 ENTER キーを押す

ENTER

テイキ　ワイヒ゜ング゛
オント゛サ　　　　　=　20°C

9 ▲ ▼ を押して、
温度差を設定する

テイキ　ワイヒ゜ング゛
オント゛サ　　　　　=　20°C

- プリントヒーターの温度設定が外気温度よりも高く、その差が設定した温度差以上になった場合に、定期ワイピング機能が有効になります。

10 ENTER キーを押す

ENTER

テイキ　ワイヒ゜ング゛
オント゛サ　　　　　　　　<ent>

11 終了するとき、END キーを数回押す

待機中のリフレッシュ間隔を設定する

リフレッシュ動作を実行するまでの間隔を設定します。

1 メンテナンスメニューの [テイキセッテイ] を選ぶ

(1) ローカルモードで、FUNCTIONキーを押す
(2) ▲▼を押して [メンテナンス] を選び、ENTERキーを押す
(3) ▲▼を押して [テイキセッテイ] を選ぶ
(4) ENTERキーを押す

2 ▲▼を押して、[リフレッシュ] を選ぶ

テイキ　セッテイ
リフレッシュ　<ent>

3 ENTERキーを押す

ENTER

テイキ　セッテイ
リフレッシュ　カンカク　=　1h

4 ▲▼を押して、リフレッシュ動作を行う間隔を設定する

テイキ　セッテイ
リフレッシュ　カンカク　=　10h

- 設定値：OFF,1 ～ 168 時間

5 ENTERキーを押す

ENTER

スリープ　セッテイ
リフレッシュ　<ent>

6 終了するとき、ENDキーを数回押す

待機中のポンプチューブ洗浄間隔を設定する

チューブ内において発生するインクの凝固によるインク詰まりを防止するため、定期的にポンプチューブ洗浄を行います。

重 要!

- 本機能は、以下の表示のまま放置されているときのみ動作します。

ローカルモード	リモートモード
<ローカル．1> [#01]	＊リモート．1＊ [#01] 0．00m

1 メンテナンスメニューの [テイキセッテイ] を選ぶ

(1) ローカルモードで、FUNCTIONキーを押す
(2) ▲▼を押して [メンテナンス] を選び、ENTERキーを押す
(3) ▲▼を押して [テイキセッテイ] を選ぶ
(4) ENTERキーを押す

2 ▲▼を押して、[PUMP チューブセンジョウ] を選ぶ

テイキ　セッテイ
PUMP チューフ゛センシ゛ョウ<ent>

3 ENTERキーを押す

テイキ　セッテイ
センシ゛ョウ　カンカク　=　1h

4 ▲▼を押して、チューブ洗浄を行う間隔を設定する

- 設定値：OFF,1 〜 168 時間

テイキ　セッテイ
センシ゛ョウ　カンカク　=　4h

5 ENTERキーを押す

テイキ　セッテイ
PUMP チューフ゛センシ゛ョウ<ent>

6 終了するとき、ENDキーを数回押す

- 本装置に洗浄液が充填されていない場合、手順 5 で右の画面が表示されます。洗浄液を充填 (☞ P.4-10) し、手順 1 から操作し直してください。

＊＊センシ゛ョウエキ　ミシ゛ュウテン＊＊

待機中のクリーニング間隔を設定する

メンテナンス洗浄液が終わってしまった時に、ポンプチューブ洗浄の代わりに使う機能です。
待機中のクリーニングタイプと、クリーニングを実行するまでの間隔を設定します。

重 要！

- 「ニアエンド」「インクエンド」等、インクに関係するエラーが発生している場合は、動作しません。
- 動作中は「ヘッドクリーニング」動作と同じ進行状況を示す表示となり、キー操作はできません。(☞ P.2-24 「ヘッドクリーニング」)
- 本機能は、以下の表示のまま放置されているときのみ動作します。

```
＜ローカル．１＞              ［＃０１］
```
ローカルモード

```
＊リモート．１＊              ［＃０１］
                              ０．００m
```
リモートモード

1 メンテナンスメニューの [テイキセッテイ] を選ぶ

(1) ローカルモードで、FUNCTION キーを押す
(2) ▲ ▼ を押して [メンテナンス] を選び、ENTER キーを押す
(3) ▲ ▼ を押して [テイキセッテイ] を選ぶ
(4) ENTER キーを押す

2 ▲ ▼ を押して、[クリーニング] を選ぶ

```
テイキ　セッテイ
クリーニング              ＜ｅｎｔ＞
```

3 ENTER キーを押す

ENTER

```
テイキ　セッテイ
クリーニング　カンカク　　＝　　１h
```

4 ▲ ▼ を押して、クリーニングを行う間隔を設定する

- 設定値：OFF,1 ～ 168 時間

```
テイキ　セッテイ
クリーニング　カンカク　　＝　　４h
```

5 FUNCTION キーを押す

- クリーニングタイプの選択画面が表示されます。

FUNCTION

```
テイキ　セッテイ
クリーニング　タイプ　　　：ノーマル
```

6 ▲▼を押して、クリーニングタイプを選ぶ

- 設定値：ノーマル、ソフト、ハード

テイキ　セッテイ
クリーニング゛　タイプ゜　：ソフト

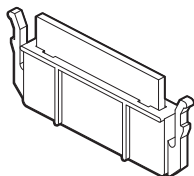
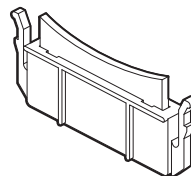
7 ENTERキーを押す

ENTER

テイキ　セッテイ
クリーニング゛　カンカク　＝　4h

8 終了するとき、ENDキーを数回押す

ワイパー交換の警告時期を変更する

ワイパーは消耗品です。ホコリの多い環境などでは、ヘッドが汚れやすくなります。
また、曲がったり摩耗したワイパーではクリーニング効果が得られません。ワイパーレベルを設定して、環境によってワイパー交換時期の警告を標準より早期に促します。

正常なワイパー　　変形したワイパー

10/10	標準のワイピング回数でワイパー交換の警告を表示します。(初期値)
9/10	標準の 9/10 回のワイピング回数でワイパー交換の警告を表示します。
8/10	標準の 8/10 回のワイピング回数でワイパー交換の警告を表示します。
⋮	
1/10	標準の 1/10 回のワイピング回数でワイパー交換の警告を表示します。

1 メンテナンスメニューの [ワイパーレベル] を選ぶ

(1) ローカルモードで、FUNCTION キーを押す
(2) ▲ ▼ を押して [メンテナンス] を選び、ENTER キーを押す
(3) ▲ ▼ を押して [ワイパーレベル] を選ぶ

2 ENTER キーを押す

ENTER

```
ワイハ゜ー レヘ゛ル
レヘ゛ル              : 10/10
```

3 ▲ ▼ を押して、ワイパーレベルを設定する

- 設定値 :1/10 ～ 10/10

```
ワイハ゜ー レヘ゛ル
レヘ゛ル              :  9/10
```

4 ENTER キーを押す

ENTER

```
メンテナンス
ワイハ゜ー レヘ゛ル        <ent>
```

5 終了するとき、END キーを数回押す

メディア残量表示の設定をする

メディア残量表示の設定をします。

メディア残量表示を **ON** にすると	リモートモードでメディア残量が表示されます。 （ただし、リーフメディアを使用した場合は、作図長を表示します。）
メディア残量表示を **OFF** にすると	リモートモードでメディア残量は表示されません。

- 作図、JOG キーによるフィード量が、メディア残量に反映されます。
- メディア長 (残量初期値) はロールメディア検出時に入力します。(☞ P.2-12)
- ここで行う設定は、設定終了後にメディア検出を行わないと有効になりません。

1 メンテナンスメニューの [メディア ザンリョウ] を選ぶ

(1) ローカルモードで、FUNCTION キーを押す
(2) ▲▼を押して [メンテナンス] を選び、ENTER キーを押す
(3) ▲▼を押して [メディア ザンリョウ] を選ぶ
(4) ENTER キーを押す

2 ▲▼を押して、ON/OFF を選ぶ

メデ゛ィア ザ゛ンリョウ
セッテイ : OFF

3 ENTER キーを押す

ENTER

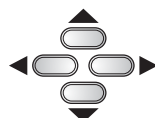
メンテナンス
メデ゛ィア ザ゛ンリョウ <ent>

4 終了するとき、END キーを数回押す

メディア残量を作図する

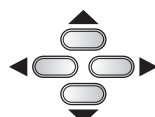
現在のメディア残量を作図することができます。

- メディア残量表示の設定を “ON” にしてください。
- メディア交換時には、今現在お使いのメディアに残量を作図しておくことをお勧めします。あらかじめメディア残量を作図しておけば、交換したメディアを再度使うとき、メディア検出後のメディア残量入力画面 (☞ P.2-12) で正確な数値を入力できます。

1 ローカルモードで、▲▼◀▶を押す

ケ゛ンテン　セッテイ
0.0　———

- 原点設定モードになります。

2 ▲▼◀▶を押して、LED ポインタの光点を変更したい位置へ合わせる

- ▲▼◀▶でキャリッジとメディアを移動させて選びます。
- 原点を変更しない場合は、▲▼◀▶を押さずに手順 3 へ進んでください。

ケ゛ンテン　セッテイ
0.0　0.0

原点位置（長さ）　原点位置（幅）

- ここで ENTER キーを押すと、原点が変更されローカルモードに戻ります。

3 REMOTE キーを押す

REMOTE

メテ゛ィア　サ゛ンリョウ　サクス゛
<ENT>

- ▲▼◀▶を押すと、手順 2 の画面に戻ります。
- END キーを押すと、ローカルモードに戻ります。

4 ENTER キーを押す

- メディア残量の作図を開始します。
- 作図が終わると、ローカルモードに戻ります。

重 要！

- 原点を変更して作図すると、以降のデータの作図をするときもここで設定した原点が有効になります。

ホワイトインクメンテナンス機能

SS21 ホワイトインクは性質上、しばらく未使用のまま放置すると、ノズル抜けや顔料の沈降による色ムラが発生してしまいます。
ヘッドクリーニング (☞ P.2-24) を行っても復旧しなかった場合は、本メンテナンス機能を使用します。（ファームウェア Ver.4.10 以降対応、本機能はホワイトインクが充填されている場合のみ選択可能です。）

ホワイトインクメンテナンス機能では、3 段階のメンテナンスレベルを設定しています。
状況に応じてメンテナンスレベルを選択してください。

LEVEL1	次の順序でメンテナンスを行います。 **(1)** 自動ノズル洗浄機能を実施 *1 **(2)** クリーニングを行う *2
LEVEL2	次の順序でメンテナンスを行います。 **(1)** 自動ノズル洗浄機能を実施 *1 **(2)** ホワイトインクの充填 **(3)** クリーニングを行う *2
LEVEL3	次の順序でメンテナンスを行います。 **(1)** 自動ノズル洗浄機能を実施 *1 **(2)** ヘッドやチューブに残ったホワイトインクを排出 **(3)** ホワイトインクの充填 **(4)** クリーニングを行う *2

*1. ステーションメンテナンスのノズルセンジョウと同様の動作を行います。（放置時間 3 分）
*2. いずれもヘッドクリーニング (☞P.2-24) の “ ハードクリーニング ” と同等のクリーニングを行います。

重要！

- LEVEL1 から 3 になるに従って、ホワイトインクの消費量は多くなります。LEVEL2、3 は LEVEL1 でメンテナンスを行っても症状が改善しない場合に行ってください。
- マシンを長期間未使用のまま放置する場合、およそ 2 週間に 1 回は本機能の LEVEL1 の実施を推奨します。
- その他、本機能及び、ホワイトインクに関する注意事項は、カートリッジ梱包袋内に添付されております。よくお読みになった上でご使用ください。

1 メンテナンスメニューの [ホワイトメンテナンス] を選ぶ

(1) ローカルモードで、FUNCTION キーを押す
(2) ▲ ▼ を押して [メンテナンス] を選び、ENTER キーを押す
(3) ▲ ▼ を押して [ホワイトメンテナンス] を選ぶ

2 ENTER キーを押す

ENTER

ホワイト　メンテナンス
センタク　　　　　　: LEVEL1

3 ▲▼を押して、メンテナンスレベルを設定する

ホワイト　メンテナンス
センタク　　　　　　：LEVEL3

- 設定値 :LEVEL1 ～ LEVEL3
- ここでは、LEVEL3 に設定した場合の操作を説明します。

4 ENTERキーを押す

ホワイトインクカートリッジ　ヲ
フッテクダサイ　　　　<ent>

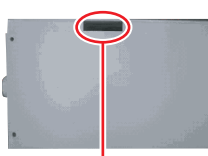
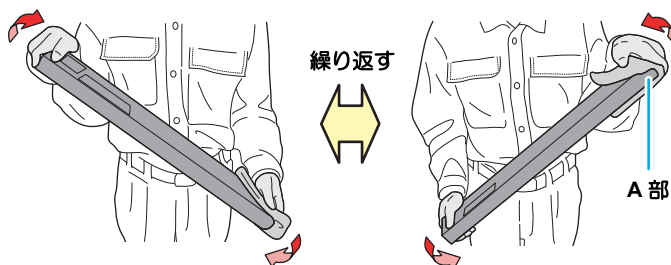
5 ホワイトインクカートリッジを取り外し、**20** 回程度ゆっくりと左右に振る

- 振ったときにインクが漏れ出すのを防ぐため、 手袋を着用して紙タオルなどでカートリッジ上面の A 部とカートリッジ底面の B 部をしっかりと塞ぎ、 ゆっくりとインクを流すように左右に 20 回以上振ります。

- 強く振りすぎると内部のパックを傷つけ、インク漏れの原因となることがあるため、慎重に行ってください。
- インク残量が少ないと十分にかくはんできない場合があるので、カートリッジが縦になるまで傾けてください。

A 部（針の差し口）　**B** 部（底面の隙間）

繰り返す

A 部

紙タオルでしっかりと押さえてゆっくり振る

6 ホワイトインクカートリッジをセットし、ENTER キーを押す

- ノズル洗浄を開始します。
- 手順 3 で設定した LEVEL によって、ノズル洗浄終了後の操作が異なります。
- LEVEL1 ：手順 10 へ進む
  LEVEL2 ：手順 9 へ進む
  LEVEL3 ：手順 7 へ進む

選択したメンテナンスレベルを表示

```
Lv.*  >  ノス゛ル センシ゛ョウ
            03:00
```

残り時間を表示

7 ホワイトインクカートリッジを外す

- ホワイトインクカートリッジを外すと、装置内に残ったホワイトインクの排出を行います。
- 排出が終わると、右の画面を表示します。

```
Lv.3  >  ハイシュツ
            01:30
```

```
インクカートリッシ゛ ヲ セットスル
         _W_W____
```

8 ホワイトインクカートリッジをセットする

9 ホワイトインクの充填を開始する

```
Lv.3  >  シ゛ュウテン
            00:30
```

- LEVEL2 と LEVEL3 では充填時間が異なります。(LEVEL2 を選択したときの方が、充填時間が短くなります。)

10 クリーニングを行う

```
Lv.3  >  クリーニンク゛
            02:00
```

昇華転写インクをより安定した品質で使うために

昇華転写インクをお使いのとき、装置を放置した後に印刷を行うと色材の沈降が原因で色味の変化が生じることがあります。
定期的にインクカートリッジを振るまたはインク充填を行うことにより、状況が緩和されます。(インク充填を行う前にも、インクカートリッジを振る必要があります。)
ファームウェアバージョン 5.00 以降では、インクカートリッジを振るまたはインク充填を行う時期になると、ディスプレイにメッセージ (色材沈降予防ワーニング) を表示してお知らせします。

● インクカートリッジを振る時期がきた場合 (**MBIS** をお使いの場合は表示されません)

カートリッシ゛ ヲ フッテ クタ゛サイ
: ent

ENTER

< ローカル. 1 > [#01]
ハハ゛ : ＊＊＊＊mm

● インク充填を行う時期がきた場合

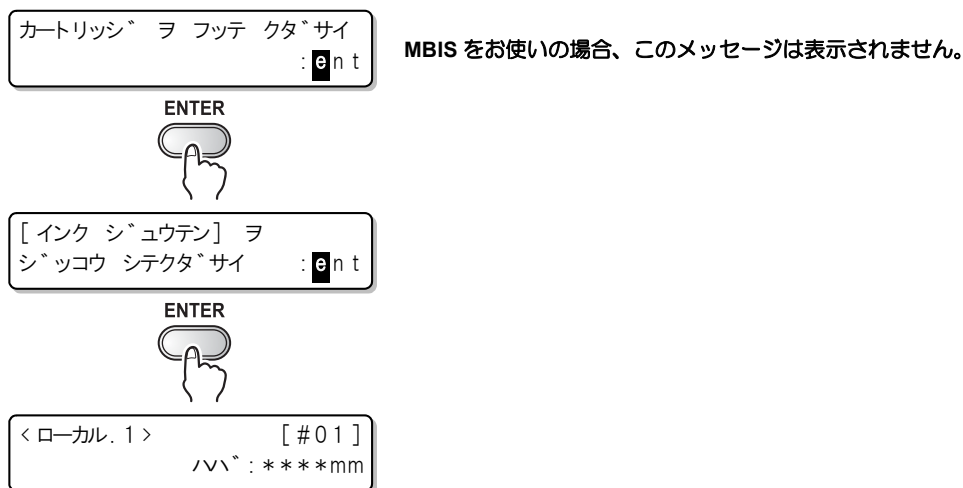
カートリッシ゛ ヲ フッテ クタ゛サイ
: ent

MBIS をお使いの場合、このメッセージは表示されません。

ENTER

[インク シ゛ュウテン] ヲ
シ゛ッコウ シテクタ゛サイ : ent

ENTER

< ローカル. 1 > [#01]
ハハ゛ : ＊＊＊＊mm

- この表示は、ローカルモードになっているとき、またはリモートモードからローカルモードに切り替えたときに表示されます。
  印刷を中断したり、連続印刷を妨げることはありませんが、リモートモード中には表示されません。印刷しないときは、REMOTE キーを押してローカルモードに切り替えることをお勧めします。

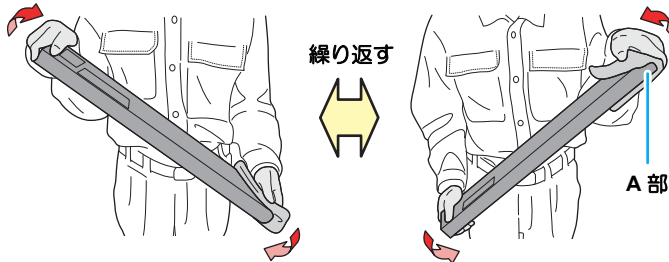
インクカートリッジの振り方

振ったときにインクが漏れ出すのを防ぐため、手袋を着用して紙タオルなどでカートリッジ上面の A 部とカートリッジ底面の B 部をしっかりと塞ぎ、ゆっくりとインクを流すように左右に 20 回以上振ります。

- 強く振りすぎると内部のパックを傷つけ、インク漏れの原因となることがあるため、慎重に行ってください。
- インク残量が少ないと十分にかくはんできない場合があるので、カートリッジが縦になるまで傾けてください。

A 部（針の差し口）　B 部（底面の隙間）

繰り返す

A 部

紙タオルでしっかりと押さえてゆっくり振る

重 要！

- インクカートリッジを強く振りすぎると、内部のパックを傷つけ、インク漏れの原因となる恐れがありますのでお気をつけください。
- 新品カートリッジの場合は、袋から出す前に振ってください。
- 使用中のカートリッジの場合は、必ず手袋を着用の上、差し込み口側にウェスなどを押し当てて振ってください。
- インク残量が少ない場合は、十分に撹拌できない可能性があるため、カートリッジが縦になるくらいまで傾けてください。

注 意

- MBIS をお使いの場合は、エコケースや中間カートリッジを振らないでください。
- MBIS の中間カートリッジは極力、抜き差しをしないでください。インク漏れの原因となります。

ワーニングメッセージの表示時期を設定する

本装置を設定している環境に合わせて、色材沈降予防ワーニングを表示させる時期を設定してください。

- 昇華転写インク Sb52 または Sb53 をお使いの場合、初期状態でメッセージの表示時期が 72 時間に設定されています。
- 昇華転写インク Sb51 または Sb60 をお使いの場合、初期状態で本機能が無効 (OFF) になっています。

1 メンテナンスメニューの [テイキセッテイ] を選ぶ

(1) ローカルで、FUNCTION キーを押す
(2) ▲ ▼ を押して [メンテナンス] を選び、ENTER キーを押す
(3) ▲ ▼ を押して [テイキセッテイ] を選ぶ
(4) ENTER キーを押す

2 ▲ ▼ を押して、[Sub-INK ワーニング] を選ぶ

テイキ　セッテイ
Sub-INK　ワーニング　<ent>

3 ENTER キーを押す

ENTER

テイキ　セッテイ
Sub-INK　ワーニング　=　72h

4 ▲ ▼ を押して、動作時間を設定する

- 設定値：OFF (無効),12 ～ 120 時間

テイキ　セッテイ
Sub-INK　ワーニング　=　84h

5 ENTER キーを押す

ENTER

テイキ　セッテイ
Sub-INK　ワーニング　<ent>

6 終了するとき、END キーを数回押す

ヘッドの高さ調整についてのご注意

昇華転写インクをお使いの場合、ヘッド高さを 5mm(H レンジ / アツイ）にしてお使いになると、作図品質に影響がでる場合があります。
ヘッド高さは4mm(Hレンジ/ウスイ)または､Lレンジにしてお使いになることをお勧めします。

- ヘッド高さが 5mm になっていると、作図開始時や電源オン時に右のメッセージを表示することがあります。
  ENTER キーを押すと、メッセージが消えます。

```
カ゛シツテイカ ノ カノウセイ アリ
ヘット゛タカサ カクニン      :ent
```

- 現在のヘッド高さは、次の操作で確認できます。

  (1) ローカルモードで ENTER キーを押す
  (2) ENTER キーを数回押して、“ ヘッドタカサ ” を表示させて確認する
  “ ヘッドタカサ: ウスイ ” = ヘッド高さが 2mm
  “ ヘッドタカサ: アツイ ” = ヘッド高さが 3mm
  “ ヘッドタカサ: ウスイ +” = ヘッド高さが 4mm
  “ ヘッドタカサ: アツイ +” = ヘッド高さが 5mm
- ヘッド高さの調整方法は、P.2-6「ヘッド高さを調整する」をご参照ください。
- L レンジ ⇔ H レンジ の変更については、弊社営業へお問い合わせください。

廃インクタンク確認メッセージが表示されたら

ヘッドクリーニングなどで使用したインクは、本装置の右下にある廃インクタンクにたまります。本装置では、インクの排出量を累積カウントし、一定の量になったら確認を促すメッセージを表示します。（廃インクタンク交換の目安としてお使いください。）

インク充填などを実行するときにメッセージが表示されたら

インク充填やヘッドクリーニング、PUMP チューブ洗浄など、廃インクタンクを使用する機能を実行するとき、廃インクタンクの状態によって廃インクタンクの確認を促すメッセージを表示します。

● 廃インクタンクがニアフルの場合

右のメッセージが表示される

```
 ＊ハイインク　タンク　カクニン＊
ケイゾ゛ク<               > コウカン
```

1 廃インクタンクの状態を確認する

廃インクタンクが一杯に近い場合

(1) 廃インクタンクを交換 (☞ P.4-48) する

(2) ENTER キーを押して " コウカン " を選択する（インク排出量をリセットする）

廃インクタンクに余裕がある場合

(1) ◀ を押して " ケイゾク " を選択する（インク排出量をリセットしない）

- この場合、ローカルモードにもどると、P.4-47「ローカルモードでの確認メッセージ」のメッセージが表示されます。

● 廃インクタンクがフルの場合

右のメッセージが表示される

```
 ＊ハイインク　タンク　カクニン＊
コウカン                   :ent
```

1 廃インクタンクを交換 **(☞ P.4-48)** し、ENTER キーを押す

- インク排出量のリセットを行います。

重要！

- 廃インクタンクがニアフルまたはフルのとき、上の操作で " コウカン " を選んだ場合は、必ず廃インクタンクの交換 (☞ P.4-48) をしてください。交換しないでそのままお使いになると、確認メッセージが表示されないうちに廃インクがあふれることがあります。
- ステーションメンテナンスのノズルセンジョウ、PUMP チューブセンジョウ、ホカンセンジョウをしたときに排出した廃インクは、本装置で累積カウントされません。これらの操作をする前後は、必ず廃インクタンクの状態を確認してください。

ローカルモードでの確認メッセージ

右のメッセージが表示される

< ローカル. 1 > [#01]
ハイインク タンク カクニン <MNT>

1 廃インクタンクを確認し、必要に応じて廃インクタンクの交換をする (☞ **P.4-48**)

廃インクタンクの確認メッセージを表示させたくないとき

廃インクタンクの確認メッセージを表示させないように設定できます。

1 マシンセッテイメニューの **[** ハイインク ワーニング **]** を選ぶ

(1) ローカルモードで、FUNCTION キーを押す
(2) ▲ ▼ を押して [マシンセッテイ] を選び、ENTER キーを押す
(3) ▲ ▼ を押して [ハイインク ワーニング] を選ぶ
(4) ENTER キーを押す

2 ▲ ▼ を押して、**OFF** を選ぶ

ハイインク ワーニング
セッテイ : OFF

3 ENTER キーを押す

ENTER

マシン セッテイ
ハイインク ワーニング <ent>

4 終了するとき、END キーを数回押す

重要!

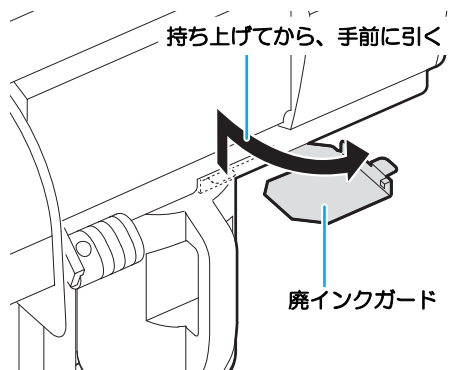
- 廃インクタンクワーニングの設定を "OFF" にすると、確認メッセージは表示されなくなります。必ず廃インクタンク内のインク残量を目視で確認するようにしてください。

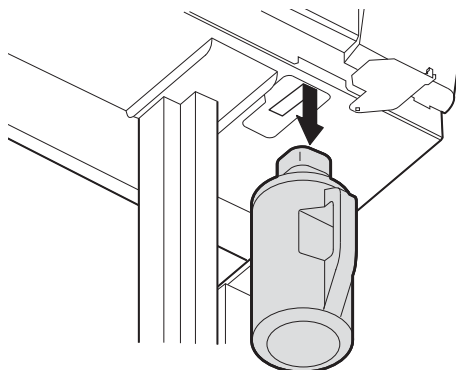
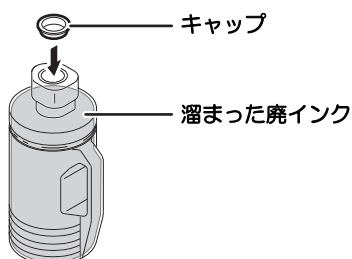
廃インクタンクを交換する

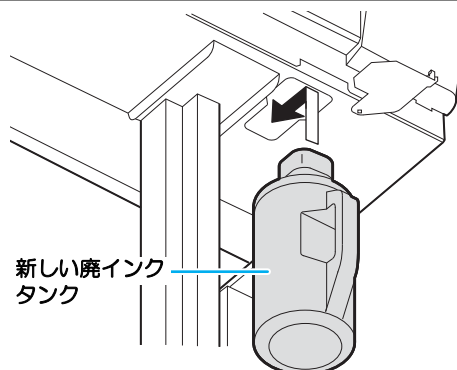
右のメッセージが表示されたら、速やかに廃インクタンクを確認し、状況に応じて交換してください。

```
＜ローカル．1＞          ［＃01］
ハイインク タンク カクニン ＜MNT＞
```

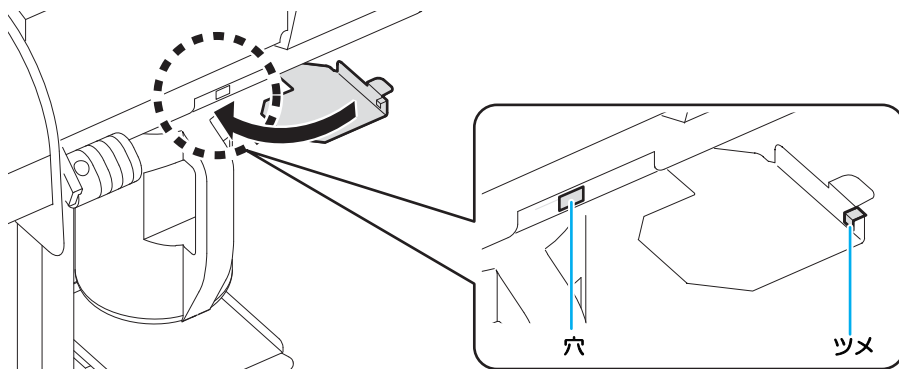
1 廃インクタンクガードを外す

(1) 廃インクタンクガードを持ち上げて、ロックを外す
(2) 廃インクタンクガードを手前に開く

2 廃インクタンクの取っ手を持ち、手前に引いて取り出す

- 取り出した廃インクタンクにキャップをはめてください。

3 廃インクタンクを交換する

(1) 新しい廃インクタンク (SPC-0117) を用意する
(2) 廃インクタンクの取っ手を持ち、差し込む

4 廃インクタンクガードを閉じる

- 廃インクタンクガードのツメを本体の穴に引っ掛けて、ロックしてください。

穴
ツメ

5 メンテナンスメニューの [ハイインクタンクコウカン] を選ぶ

(1) ローカルモードで、FUNCTIONキーを押す
(2) ▲▼を押して [メンテナンス] を選び、ENTERキーを押す
(3) ▲▼を押して [ハイインクタンクコウカン] を選ぶ

6 ENTERキーを押す

- 本装置で管理しているインク排出量のリセットを行い、メッセージを解除します。

ENTER

ハイインクタンク　コウカン
コウカン　: e n t

7 終了するとき、ENDキーを数回押す

インクを変更したいとき

お使いになっているインクの種類や色を変えることができます。

注意
- 「4 色モデル」から「6 色モデル」や「8 色モデル」にするなどインクセットを変更したい場合は、サービスマンによる作業が必要です。弊社サービスまたは販売店にお問い合わせください。

インク種類を変更する

ES3 インクから SS21 インクに変更したい場合など、お使いのインク種類を変更するときは、次のようにしてください。

インクカラーを変更する

SS21 インクの「6 色」と「6 色 + 白」を切り替えたい場合など、お使いのインクカラーを変更するときは、次のようにしてください。

装置に残っているインクの「排出」とヘッドやチューブの 「洗浄」 を行う

P.4-21 「ハイシュツ&センジョウ」 を参照してください。

↓

インクの充填を行う

P.4-23 「インクの初期充填を行う」 を参照してください。

重要!
- **インク種類変更の注意事項**
  現在お使いのインク種類によっては、変更できるインク種類に制限があります。下の表を確認してください。

		変更したいインク種類		
		PIG	昇華転写インク	SS21/ES3
現在のインク種類	PIG	変更できます		弊社サービスまたは販売店にお問い合わせください
	昇華転写インク			
	SS21 / ES3	変更できません		変更できます *1

*1. ただし、ES3 のシルバーインクやホワイトインクに変更する場合は、弊社サービスによる作業が必要です。

- **インクカラー変更の注意事項**
  SS21 の白インクを「SS21W」から「SS21W-2」に交換する場合は、別紙『新白インク (SS21W-2) をお使いになる前に (D201848)』に従って作業を行ってください。
- **洗浄を行うには、専用の洗浄液カートリッジ (別売) が必要です**
  現在お使いのインク種類に合った洗浄液カートリッジを使って洗浄を行ってください。

インクの種類	洗浄液の種類
ソルベントインク	MILD SOLVENT 洗浄液カートリッジ (SPC-0294)
水性顔料インク	水性洗浄液カートリッジ (SPC-0259)
昇華転写インク	

カッター刃の交換

カッター刃は消耗品です。切れ味が悪くなってきたら、新しいカッター刃 (SPA-0107) に交換してください。

注意

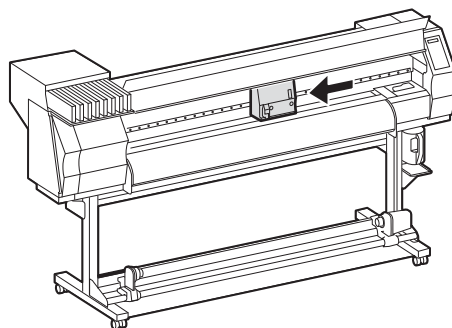
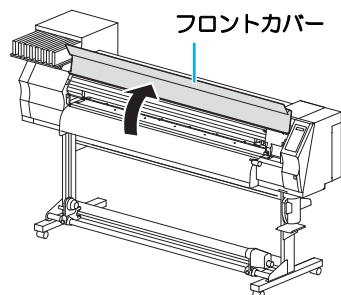
- 刃先は鋭利です。ケガをしないようご注意ください。
- カッター刃は、子供の手の届かないところに保管してください。また、使用済みのカッター刃は、地域の条例に従い廃棄してください。

- カッター刃の下に用紙を敷いておくと、刃先が落ちた時に拾いやすくなります。

1

ST.MAINTE キーを押し、ENTER キーを押す

- キャリッジがプラテン上に移動します。

2

フロントカバーを開ける

フロントカバー

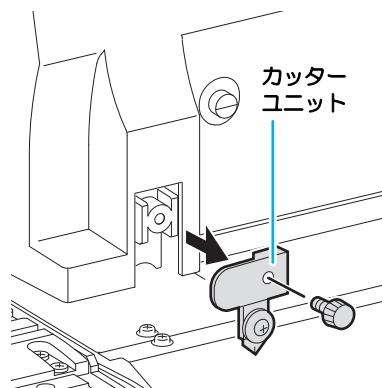
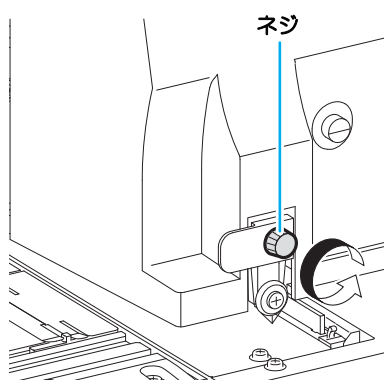
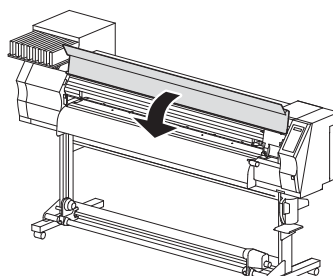
4

日常のお手入れ

3 キャリッジ横のカッターユニットを交換する

(1) カッターユニットのネジを緩める
(2) カッターユニットを取り外す
(3) 新しいカッターユニットを取り付ける
(4) カッターユニットのネジを締めて、カッターユニットを固定する

ネジ

カッター
ユニット

4 フロントカバーを閉じる

5 ENTER キーを押す

ENTER

- ローカルモードに戻ります。

第５章
困ったときは

この章では ...

故障かな？と思ったときの対処方法や、ディスプレイに表示するエラー番号の解消方法などを説明をしています。

故障？と思う前に

故障？と思う前にもう一度確認してください。対処しても正常に戻らない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

電源が入らない

電源が入らない場合の原因の多くは、電源やコンピュータのケーブル接続ミスによるものです。接続が適正かもう一度確認してください。

確認		対処
電源ケーブルを本装置と電源コンセントに接続しましたか？	イイエ →	電源ケーブルを確実に接続してください。
主電源が入っていますか？	イイエ →	主電源を入れてください。(☞ P.2-4)
装置前面にある電源スイッチがオンになっていますか？	イイエ →	前面にある電源スイッチを入れてください。(☞ P.2-4)

作図できない

作図ができない場合は、データが適正に本装置に送られていない場合があります。
また、作図機能に不良がある場合や、メディアのセット方法に問題がある場合などが考えられます。

確認		対処
ご使用のインターフェイスケーブルが合っていますか？	イイエ →	本装置専用のケーブルをご使用ください。
インターフェイスケーブルを確実にセットしていますか？	イイエ →	インターフェイスケーブルを確実にセットしてください。
↓ ハイ		
ディスプレイにインク切れのメッセージを表示していますか？	ハイ →	新しいインクカートリッジに交換してください。

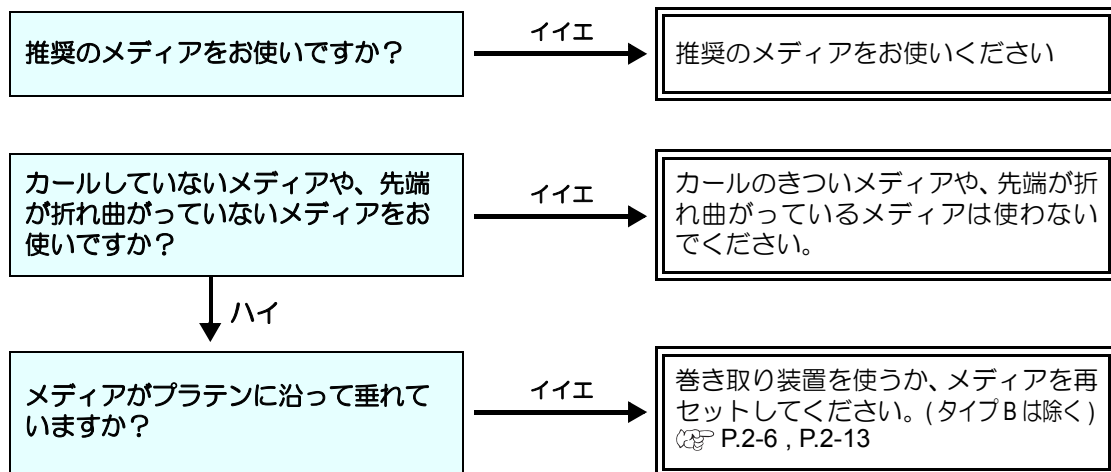
メディア詰まり / メディアが汚れる

メディア詰まりやメディアの汚れは、ご使用のメディアやセット方法に問題があるなどが考えられます。

推奨のメディアをお使いですか？ — イイエ → 推奨のメディアをお使いください

カールしていないメディアや、先端が折れ曲がっていないメディアをお使いですか？ — イイエ → カールのきついメディアや、先端が折れ曲がっているメディアは使わないでください。

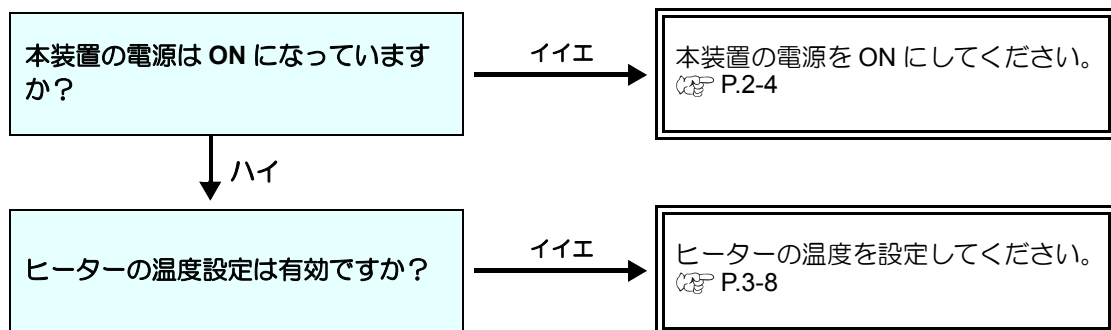
↓ ハイ

メディアがプラテンに沿って垂れていますか？ — イイエ → 巻き取り装置を使うか、メディアを再セットしてください。(タイプ B は除く)
☞ P.2-6 , P.2-13

[HEAT] ランプ ,[CONSTANT] ランプが点灯しない

基本操作を確認してください。

本装置の電源は **ON** になっていますか？ — イイエ → 本装置の電源を ON にしてください。
☞ P.2-4

↓ ハイ

ヒーターの温度設定は有効ですか？ — イイエ → ヒーターの温度を設定してください。
☞ P.3-8

画質不良が発生したときは

ここでは、作図品質に問題があるときの対処方法を説明します。症状に従って対処してください。対処しても改善しない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

現　　象	対処方法
白スジ / カスレ / 色の濃いスジが発生する（ヘッド移動方向）	**(1)** ヘッドクリーニングを行ってください。P.2-24 **(2)** ステーション内部のメンテナンスをしてください。P.4-5 **(3)**「メディア補正」機能を実行してください。P.3-5 **(4)** メディア押さえの上などヘッドが通過する部分に、紙片などのゴミが付着している場合は、ゴミを取り除いてください。
文字が用紙送り方向に **2** 重、**3** 重にブレる	**(1)**「メディア補正」機能を実行してください。P.3-5
往復印字でズレが発生する	**(1)**「ドット位置補正」機能を実行してください。P.4-25
作図中にインク滴が落ちる	**(1)** ワイパーを清掃してください。P.4-6 **(2)** インクキャップのクリーニングをしてください。P.4-6 **(3)** ヘッドクリーニングの [ノーマル] を実行してください。P.2-24 **(4)** 症状が改善されないときは、定期ワイピングの設定を行ってください。P.4-30

ノズル詰まりを解消したいとき

P.2-24 の操作でヘッドのクリーニングをしてもノズル詰まりが解消しない場合は、次の 2 つの項目を確認してください。

● **P.4-20** の操作をして、インクの充填をしてください。

● **P.4-21** の操作をして、インクの交換をしてください。

カートリッジ異常が発生したら

インクカートリッジに異常が発生したら、ワーニングメッセージを表示します。
作図、クリーニング等、インク吐出に関する動作は全てできなくなります。
速やかに新しいインクカートリッジに交換してください。

重 要！

- カートリッジ異常を表示したまま長時間放置しないでください。ノズル詰まりの防止機能が動作しなくなります。
  ノズルが詰まった場合、サービスマンによる修理が必要になります。

カートリッジ異常の詳細を表示する

次の操作をして、カートリッジ異常の内容を確認できます。（☞ P.5-7）

1 ローカルモードで、ENTER キーを押す

ENTER

```
ES3          MMCCYYKK
ザ゛ンリョウ     34567899
```

2 FUNCTION キーを押す

FUNCTION

```
ヒシ゛ュンセイ　インク
---C----
```

- 複数のカートリッジ異常が発生している場合、▲ ▼ を押すと、順番に表示します。
- FUNCTION キーまたは END キーを押すと、インク残量表示に戻ります。

メッセージを表示するトラブル

何らかの異常が発生すると、ブザーが鳴りディスプレイにメッセージを表示します。
メッセージの内容によって対処してください。

ワーニングメッセージ

表示	原因	対処方法
カハ゛ーヲ シメテクタ゛サイ.	フロントカバーまたはメンテナンスカバーが開いている。	フロントカバー、メンテナンスカバーを確認してください。 カバーを閉めても、再度表示する場合は弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
＊ メテ゛ィア カ゛ アリマセン ＊	メディアがセットされていない。	メディアをセットしてください。
!ハ゛ッテリー コウカン シテクタ゛サイ	内部時計の電池切れを検出した。	弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
<ローカル.1> [#01] ワイハ゜ー コウカン <MNT>	キャッピングステーションのワイパー交換時期 (ワイピング回数が規定値に達した。)	ワイパーを交換してください。 (☞ P.4-8)
<ローカル.1> [#01] !テストサクス゛ ヲ シテクタ゛サイ	放置時間が長いため、ノズルの復旧が見込めない。	テスト作図を行い、ノズル抜けを確認します。 ノズル抜けがある場合はクリーニングを行なってください。(☞ P.2-24) ノズル抜けがひどい場合は、P.4-12「ヘッドノズルの洗浄」の操作をしてください。
PRE PRT AFT タ゛ンセン **゜C **゜C	メディアヒーターが断線している。 (この例ではプリヒーターが断線)	弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
PRE PRT AFT サーミスタ **゜C **゜C	メディアヒーターのサーミスタ異常が発生している。 (この例ではプリヒーターのサーミスタ異常)	
<ローカル.1> [#01] ニアエント゛ MMCC----	1 供給経路あたりのインクが少なくなった。	表示しているカラーに対応する供給経路のカートリッジを交換してください。 そのままでも(インクエンドが発生するまで) 作図可能ですが、1 ファイル作図終了毎にローカルモードへ移行します。
リモート.1 [#01] ニアエント゛ MMCC----		
<ローカル.1> [#01] インクエント゛ ----YYKK	1 供給経路あたりのインクが終わった。	表示しているカラーに対応する供給経路のカートリッジを交換してください。
リモート.1 [#01] インクエント゛ ----YYKK		

表示	原因	対処方法
‹ローカル.1› [#01] カートリッシ゛ ----YYKK ＊リモート.1＊ [#01] カートリッシ゛ ----YYKK	1 供給経路あたりのカートリッジ起因による供給不可がある。	表示しているカラーに対応する供給経路のカートリッジを確認してください。
‹ローカル.1› [#01] カートリッシ゛ サイセット	インクの残量が多いカートリッジを挿入した直後に、ニアエンドを検出した。	挿入したカートリッジを抜いて再挿入してください。再度表示される場合は、弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
‹ローカル.1› !CAR [#01] ＊リモート.1＊ !CAR [#01]	装填したインクカートリッジに問題がある。 （他のワーニングと重複した場合は、"< ローカル .1> !CAR/WASH" となり、[#**] は消去されます。）	ガイダンス機能でワーニング詳細を表示して内容を確認してください。
‹ローカル.1› !WASH [#01] ＊リモート.1＊ !WASH [#01]	装填したメンテナンス洗浄液カートリッジに問題がある。 （他のワーニングと重複した場合は、"< ローカル .1> !CAR/WASH" となり、[#**] は消去されます。）	メンテナンス洗浄液カートリッジが正しくセットされているか確認してください。
インク ニア エント゛ MMCC ----	インクカートリッジのインクが少なくなった。	ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。
インク エント゛ ---- YYKK	インクカートリッジのインクがなくなった。	ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。
ヒシ゛ュンセイ インク ---- YYKK	インクカートリッジがミマキ純正品でない。	ワーニングが発生しているカートリッジをミマキ純正品に交換してください。
インク IC イシ゛ョウ ---- YYKK	インクカートリッジの IC チップが正常に読み込めない。	ワーニングが発生しているカートリッジを再挿入してください。 ワーニング解消しない場合は弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
インク シュルイ ---- ----	インクカートリッジのインク種類が充填してあるインクと異なる。	ワーニングが発生しているカートリッジのインク種類を確認してください。
インク カラー ---- ----	インクカートリッジのインクカラーが充填してあるインクと異なる。	ワーニングが発生しているカートリッジのインクカラーを確認してください。
カートリッシ゛ イシ゛ョウ ---- ----	装填したインクカートリッジが異常	ワーニングが発生しているカートリッジを確認してください。
カートリッシ゛ ナシ ---- ----	インクカートリッジがスロットに挿入されていない。	ワーニングが発生しているスロットにカートリッジを挿入してください。

表示	原因	対処方法
カートリッシ゛ キ゛レ ---- ----	インクカートリッジの使用有効期限が切れている。	ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。 そのままでも (使用期限翌月までは) 使用可能です。
キケ゛ン キ゛レ （1カケ゛ツ） ---- ----	インクカートリッジの使用有効期限が切れている (期限切れから 1ヶ月経過)。	赤 LED が点滅します。ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。 そのままでも (使用期限翌々月までは) 使用可能です。
キケ゛ン キ゛レ （2カケ゛ツ） ---- ----	インクカートリッジの使用有効期限が切れている (期限切れから 2ヶ月経過)。	ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。
サ゛ンリョウ 0 ---- ----	インクカートリッジの残量が 0	ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。
ホワイト ノス゛ル シ゛ョウタイ ヲ カクニン シテクタ゛サイ <ENT>	SS21 ホワイトインク使用時、ノズル状態を正常に保つために、テスト作図の実行を促すメッセージを表示する。	テスト作図の " ホワイトカクニン " を実行してください。(☞ P.2-22)
トクショクメンテナンス ヲ シ゛ッコウシマスカ? <ENT>	ES3 のシルバー・ホワイトインク使用時、顔料の沈降による色ムラを防止するために、特色メンテナンスの実行を促すメッセージを表示する。	特色メンテナンスを実行してください。
<ローカル.1> [#01] ハイインク タンク カクニン <MNT>	廃インクタンクがフル間近。	廃インクタンクを交換し、[メンテナンス]-[ハイインクタンク コウカン] を実行してください。(☞ P.4-48)
!センシ゛ョウ エキ エント゛	洗浄カートリッジエンドを検出した。	メンテナンス洗浄カートリッジを交換してください。
!センシ゛ョウ カートリッシ゛ ナシ	洗浄カートリッジが挿入されていない。	メンテナンス洗浄カートリッジを挿入してください。
!センシ゛ョウ カートリッシ゛イシ゛ョウ	洗浄カートリッジに異常がある。	メンテナンス洗浄カートリッジを確認してください。
センシ゛ョウエキ ミシ゛ュウテン	メンテナンス洗浄液が充填されていない。	メンテナンス洗浄液を充填してください。 [メンテナンス]-[ヘッドメンテナンス]-[ジュウテン] を実行してください。 (☞ P.4-20)

エラーメッセージ

エラーメッセージを表示する場合は、下の表に従って、エラーを取り除いてください。
それでもメッセージを表示する場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

表示	原因	対処方法
＊＊＊＊＊ ERROR 01 ＊＊＊＊＊ MAIN ROM	制御基板に異常が発生した。 (ROM)	一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
＊＊＊＊＊ ERROR 02 ＊＊＊＊＊ MAIN RAM	制御基板に異常が発生した。 (RAM)	
＊＊＊＊＊ ERROR 03 ＊＊＊＊＊ POWER ＋5V	制御基板に異常が発生した。 (電源電圧 +5V)	
＊＊＊＊＊ ERROR 03 ＊＊＊＊＊ POWER ＋24V	制御基板に異常が発生した。 (電源電圧 +24V)	
＊＊＊＊＊ ERROR 03 ＊＊＊＊＊ POWER ＋42V	制御基板に異常が発生した。 (電源電圧 +42V)	
＊＊＊＊＊ ERROR 04 ＊＊＊＊＊ ﾌﾗｯｼｭ ROM	制御基板に異常が発生した。 (パラメーター ROM)	
＊＊＊＊＊ ERROR 06 ＊＊＊＊＊ SD-RAM	制御基板に異常が発生した。 (SDRAM)	
＊＊＊＊＊ ERROR 07 ＊＊＊＊＊ ﾍｯﾄﾞ (----)	ヘッドの接続に異常を検出した。 (異常な温度を検出)	
＊＊＊＊＊ ERROR 07 ＊＊＊＊＊ ﾃﾞﾝｱﾂ (----)	ヘッドの接続に異常を検出した。 (異常な電圧を検出)	
＊＊＊＊＊ ERROR 08 ＊＊＊＊＊ ﾘﾆｱｴﾝｺｰﾀﾞｰ:ｾﾝｻｰ	リニアエンコーダーの検出で異常が発生した。 (カウントできない)	
＊＊＊＊＊ ERROR 08 ＊＊＊＊＊ ﾘﾆｱｴﾝｺｰﾀﾞｰ:ﾎｳｺｳ	リニアエンコーダーの検出で異常が発生した。 (取り付け方向の異常)	
＊＊＊＊＊ ERROR 08 ＊＊＊＊＊ ﾘﾆｱｴﾝｺｰﾀﾞｰ:ｶｳﾝﾄ	リニアエンコーダーの検出で異常が発生した。 (読み出しカウント数異常)	
＊＊＊＊＊ ERROR 09 ＊＊＊＊＊ FPGA ｴﾗｰ	制御基板に異常が発生した。 (FPGA PDC)	
＊＊＊＊＊ ERROR 09 ＊＊＊＊＊ HDC ｴﾗｰ (----)	制御基板に異常が発生した。 (FPGA HDC)	

表示	原因	対処方法
＊＊＊＊＊ ERROR 10 ＊＊＊＊＊ ｺﾏﾝﾄﾞ ｴﾗｰ	コマンドデータ以外のデータを受信した。	インターフェイスケーブルを確実に接続してください。 規格に適合したインターフェイスケーブルを使用してください。
＊＊＊＊＊ ERROR 11 ＊＊＊＊＊ ﾊﾟﾗﾒｰﾀｰ ｴﾗｰ	数値範囲外のパラメーターを受信した。	一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
＊＊＊＊＊ ERROR 16 ＊＊＊＊＊ MRL ｺﾏﾝﾄﾞ	受信データが、装置で設定したコマンド体系と異なる。	本装置に対応したコマンド体系のデータを送信してください。
＊＊＊＊＊ ERROR 25 ＊＊＊＊＊ FULL-SPEED	USB2.0接続でホストコンピュータと I/F ボードとの通信にエラーが発生した。(Full-Speed モード接続)	ホスト PC が USB2.0 インタフェイスに対応しているか確認してください。 (そのまま使用できますが、Hi-Speed モード接続を推奨します。)
＊＊＊＊＊ ERROR 25 ＊＊＊＊＊ ﾊﾟｹｯﾄｻｲｽﾞ ｵｰﾊﾞｰ	USB2.0接続でホストコンピュータと I/F ボードとの通信にエラーが発生した。	ケーブルが確実に接続してあるか、またはホストコンピュータ側でエラーが発生していないか確認してください。
＊＊＊＊＊ ERROR 25 ＊＊＊＊＊ USB ﾌﾟﾛﾄｺﾙ	USB2.0接続でホストコンピュータと I/F ボードとの通信にエラーが発生した。	
＊＊＊＊＊ ERROR 25 ＊＊＊＊＊ USB ｶﾝｷｮｳ	USB2.0接続でホストコンピュータと I/F ボードとの通信にエラーが発生した。	
＊＊＊＊＊ ERROR 25 ＊＊＊＊＊ USB ﾃﾞｰﾀｰ	USB2.0接続でホストコンピュータとプリンタとの通信にエラーが発生した。	
＊＊＊＊＊ ERROR 30 ＊＊＊＊＊ ｼﾞｯｺｳ ﾃﾞｷﾏｾﾝ	操作パネルで不当なオペレーションをした。	正しいオペレーションをしてください。
＊＊＊＊＊ ERROR 34 ＊＊＊＊＊ ﾐｻｸｽﾞﾃﾞｰﾀｰ ｱﾘ	受信済みで未作図のデータがあるのに、ファンクション機能の設定を変更しようとしている。	受信済みのデータを全て作図するか、データクリアを実行してから、設定機能を変更してください。
＊＊＊＊＊ ERROR 40 ＊＊＊＊＊ ﾓｰﾀｰｱﾗｰﾑ X	X モーターに過大な負荷がかかった。	一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
＊＊＊＊＊ ERROR 41 ＊＊＊＊＊ ﾓｰﾀｰｱﾗｰﾑ Y	Y モーターに過大な負荷がかかった。	
＊＊＊＊＊ ERROR 42 ＊＊＊＊＊ X ｵｰﾊﾞｰｶﾚﾝﾄ	X モーターの過電流エラーを検出した。	
＊＊＊＊＊ ERROR 43 ＊＊＊＊＊ Y ｵｰﾊﾞｰｶﾚﾝﾄ	Y モーターの過電流エラーを検出した。	
＊＊＊＊＊ ERROR 45 ＊＊＊＊＊ ｷｬｯﾋﾟﾝｸﾞ:ﾊﾟﾗﾒｰﾀｰ	キャッピング制御に異常が発生した。(パラメーター調整値不正)	

表示	原因	対処方法
＊＊＊＊＊ ERROR 46 ＊＊＊＊＊ ワイパ゜ー	ワイパー制御に異常が発生した。	一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
＊＊＊＊＊ ERROR 50 ＊＊＊＊＊ メデ゛ィア ハハ゛ センサー カクニン	用紙を検出できなかった。 メディアのセット位置、使用メディアが不適当。	メディアを正しくセットしても、エラーを表示する場合は弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
＊＊＊＊＊ ERROR 50 ＊＊＊＊＊ メデ゛ィア イチ ヒタ゛リ スキ゛ マス ＊＊＊＊＊ ERROR 50 ＊＊＊＊＊ メデ゛ィア イチ ミキ゛ スキ゛ マス	メディアのセット位置が不適正のため、メディア検出が完了しなかった。	メディアを正しい位置にセットし直してください。(☞ P.2-8、P.2-14)
＊＊＊＊＊ ERROR 51 ＊＊＊＊＊ Y ケ゛ンテン	Y 原点検出ができなかった。	一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
＊＊＊＊ ERROR 120 ＊＊＊＊ シツオン ヒクイ （XX°C）	室温が使用可能温度範囲外 (低い) になっている。	室温を調整してください。(☞ P.3-38)
＊＊＊＊ ERROR 121 ＊＊＊＊ シツオン タカイ （XX°C）	室温が使用可能温度範囲外 (高い) になっている。	
＊＊＊＊ ERROR 144 ＊＊＊＊ カートリッシ゛ セット！	カートリッジが挿入されていないスロットがある。	カートリッジをセットしてください。
＊＊＊＊ ERROR 200 ＊＊＊＊ ヘット゛ メモリー （－－－－）	ヘッドユニットメモリーに異常が発生した。	一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
＊＊＊＊ ERROR 202 ＊＊＊＊ ソウチ コウセイ	ヘッドが接続されていない ヘッドスライダー基板異常 純正ヘッドではない	
＊＊＊＊ ERROR 203 ＊＊＊＊ SDRAM サイス゛	装置に必要なサイズの SD-RAM が搭載されていない。	一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。 (使用可能な SDRAM が存在する場合は、そのまま起動できますが、解像度によっては作図スピードが低下します。)
＊＊＊＊ ERROR 207 ＊＊＊＊ XXXXXXXXXX	ディスプレイ下段に印字している波形の異常を検出した。	一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
＊＊＊＊ ERROR 208 ＊＊＊＊ CHECK MAIN PCB ID XX	メイン基板の機種 ID が違っています。(XX は ID コード)	
＊＊＊＊ ERROR 211 ＊＊＊＊ ヒーター オント゛ （－－/－－/－－）	メディアヒーターの温度異常を検出した。	

表示	原因	対処方法
＊＊＊＊　ERROR　211　＊＊＊＊ カオン　ヒーター　オント゛(－－－－)	ヘッド加温ヒーターの温度異常を検出した。	一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
＊＊＊＊　ERROR　211　＊＊＊＊ カオン　ヒーター　タ゛ンセン(－－－－)	ヘッド加温ヒーターが断線している。	
＊＊＊＊　ERROR　211　＊＊＊＊ カオン　ヒーター　サーミスタ(－－－－)	ヘッド加温ヒーターのサーミズタ異常を検出した。	
＊＊＊＊　ERROR　250　＊＊＊＊ Y　サ゛ヒョウ	スキャン動作時に異常を検出した。	
＊＊＊＊　ERROR　251　＊＊＊＊ システム　エラー	システムエラーが発生	

第6章
付録

この章では ...

本装置の仕様一覧表や、 機能の一覧表を記載しています。

本体仕様

項　目		JV33-130	JV33-160
作図ヘッド部	方式	オンデマンドピエゾヘッド	
	仕様	1 ヘッド	
作図モード (スキャン x フィード)		720 x 540dpi / 540 または 720 x 720dpi / 540 x 900dpi / 540 または 720 x 1080dpi / 720 x 1440dpi / 1440 x 1440dpi	
使用可能インク	専用ソルベントインク	ES3 インク または SS21 インク いずれか 1 種	
	専用水性インク	下記インク のいずれか 1 種 水性顔料インク　: 4 色 (Y,M,C,K) 6 色 (Y,M,C,K,Lc,Lm) Eco-PA1 インク　: 4 色 (Y,M,C,K) 6 色 (Y,M,C,K,Lc,Lm) 7 色 (Y,M,C,K,Lc,Lm,Lk) 昇華転写インク (Sb51/Sb53/Sb60) : 4 色 (Y,M,Bl,K) 6 色 (Y,M,Bl,K,LBl,Lm) 昇華転写インク (Sb52)　: 4 色 (Y,M,Bl,K) 6 色 (Y,M,Bl,K,LBl,Lm) 6 色 (Y,M,BB,K,LBB,Lm) • 昇華転写インク (Sb52) の K は、以下 4 種類から 1 種を選択。 K　: ディープブラック RK　: レディッシュブラック (濃度の高い赤みの Black) NK　: ノーマルブラック (K より濃度の低い Black(Sb51 程度)) NRK : ノーマルレディッシュブラック (RK より濃度の低い Black(Sb51 より若干濃度が高い))	
インク供給		インクカートリッジからのチューブ供給 インクカートリッジ交換方式 : 4 色時のみ、2 カートリッジ /1 色によるトグル切換供給	
インク容量	専用ソルベントインク	8 色搭載時 : 白、シルバー　220cc カートリッジ各色 1 本 それ以外　440cc カートリッジ各色 1 本 6 色搭載時 : 440cc カートリッジ各色 1 本 , 440 cc/1 色 (M,C のみ 2 本 880cc) 6 色 + 白色搭載時 : 白色　220cc カートリッジ 2 本、440cc/1 色 白以外　440cc カートリッジ各色 1 本 , 440 cc/1 色 4 色搭載時 : 440cc カートリッジ各色 2 本 ,880cc/1 色	
	専用水性インク	6 色 /7 色搭載時 : 440cc または 220cc カートリッジ各色 1 本　440cc/1 色 または 220cc/1 色 (M,C または M,Bl のみ 2 本、880cc または 440cc) 4 色搭載時 : 440cc または 220cc カートリッジ各色 2 本　880cc/1 色 または 440cc/1 色)	
使用可能メディア	専用ソルベントインク	ターポリン、FF、塩ビフィルム	
	専用水性インク	フォトペーパー、合成紙、転写紙	
最大作図範囲		1361mm	1610mm

項　目		JV33-130	JV33-160
ロールメディアサイズ	最大幅	1371mm	1620mm
	最小幅	210mm	
	厚さ	1.0mm 以下	
	ロール外径	Φ180mm 以下	
	ロール重量 *1	25kg 以下	
	紙管内径	2 インチまたは 3 インチ	
	作図面	ロール外側面	
	巻終わり処理	紙管にテープ止め、または弱粘着	
リーフメディアサイズ	最大幅	1371mm	1620mm
	最小幅	210mm	
作図マージン	リーフメディア	左右 : 15 ㎜ (デフォルト値) 前 : 40.0 ㎜　後 : 98.5 ㎜	
	ロールメディア	左右 : 15 ㎜ (デフォルト値) 前 : 40.0 ㎜　後 : 0.0 ㎜	
距離精度	絶対精度	± 0.3 ㎜ または指定距離の ± 0.3 % の大きい方	
	再現性	± 0.2 ㎜ または指定距離の ± 0.1 % の大きい方	
直角度		± 0.5 ㎜ / 1000 ㎜	
メディアスキュー		5 ㎜ 以下 / 10 m	
ヘッド高さ調整		2.0mm/3.0mm(プラテン面より)2 段階調整	
メディア裁断		ヘッド部カッターによる Y 方向カット , 裁断精度 (段差) 0.5 mm 以下	
排紙 *2		ロール巻き取り装置標準 (内巻き / 外巻き 切り替え可能)	
廃インクタンク		ボトル式 (2000 cc)	
インターフェイス		USB 2.0	
コマンド		MRL- Ⅲ	
騒音	待機時	58 dB 以下 (FAST-A, 前後左右 1m)	
	動作連続音	65 dB 以下	
	動作不連続音	70 dB 以下	
適合規格		VCCI-classA, FCC ClassA, UL 60950, CE マーキング (EMC 指令、低電圧指令）, CB レポート , RoHS 対応	
電源仕様		AC100 ～ 120±10% , AC220 ～ 240±10% , 50/60Hz±1Hz , 15A 以下	
消費電力 *3		1333 W 以下	
設置環境	使用可能温度	20 ℃～ 35 ℃	
	相対湿度	35 ～ 65% Rh (結露なきこと)	
	精度保証温度	20 ℃～ 25 ℃	
	温度勾配	±10 ℃ / h 以下	
	粉塵	オフィス相当	
重量		145 kg	160 kg
外形寸法	幅	2289 mm	2538 mm
	奥行き	739 mm	
	高さ	1424 mm	

*1.　ただしロールの左右を保持した時、ロールがたわまないこと。
*2.　タイプ B は除く。
*3.　本体とヒーターを含む。

インク仕様

項　目		ソルベントインクをご使用の場合	水性インクをご使用の場合
形態		専用ソルベントインクカートリッジ	専用水性顔料インクカートリッジ 専用昇華転写インクカートリッジ Eco-PA1 インク
色		ブラックインクカートリッジ シアンインクカートリッジ マゼンタインクカートリッジ イエローインクカートリッジ ライトシアンインクカートリッジ ライトマゼンタインクカートリッジ ホワイトインクカートリッジ *1 シルバーインクカートリッジ *2	ブラックインクカートリッジ シアンインクカートリッジ （ブルーインクカートリッジ*3） マゼンタインクカートリッジ イエローインクカートリッジ ライトシアンインクカートリッジ (ライトブルーインクカートリッジ *3） ライトマゼンタインクカートリッジ レディッシュブラック *4 ノーマルブラック *4 ノーマルレディッシュブラック *4 ブリリアントブルー *4 ライトブリリアントブルー *4 ライトブラック *5
インク容量		220cc / 440cc カートリッジ	
有効期限		• SS21 インク 製造日より 1 年間 (常温) • ES3 インク 製造日より 2 年間 (常温) 開封から 3 カ月以内	•水性顔料インク 製造日より 1 年間 (常温) •昇華転写インク 製造日より 1 年間 (常温)
保存温度	保存時	0 ～ 25 ℃（1 日の平均気温） • 容器は密閉した状態で保管すること。	10 ～ 35 ℃（1 日の平均気温） • 容器は密閉した状態で保管すること。 • 乾燥した換気の良い冷暗所に保管すること。
	輸送時	-20 ～ 60 ℃ • -20 ℃より低温になる場所、60 ℃より高温になる場所は避けること。	0 ～ 40 ℃ • 0 ℃より低温になる場所、40 ℃より高温になる場所は避けること。

*1. SS21W-2 (SPC-0504-W) インクカートリッジ使用時
ES3 ホワイトインク (SPC-0433-W) インクカートリッジ使用時
*2. ES3 シルバーインク (SPC-0433-Si) インクカートリッジ使用時
*3. 専用昇華転写インクカートリッジ (Sb51/Sb53/Sb60) 使用時
*4. 専用昇華転写インクカートリッジ (Sb52) 使用時
*5. Eco-PA1 インク使用時

重 要！

● インクカートリッジを分解したり、インクを詰め替えないでください。
● インクは、寒い場所で長時間放置すると凍結する場合があります。
- ソルベントインクをお使いの場合、万一インクが凍結したときは、室温 (25 ℃) で 3 時間以上かけて解凍してから使用してください。
- 水性インクをお使いの場合、インクが凍結すると変質して使用できなくなります。インクが凍結しない環境で保管してください。

お問い合わせシート

プリンタの故障、異常動作については、このシートをお使いください。
下記の必要事項をご記入の上、弊社営業所まで FAX でお送りください。

御社名	
ご担当者名	
お電話番号	
プリンタ機種名	
お使いの **OS**	
マシン情報*1	
エラーメッセージ	
お問い合わせ内容	

*1. 「第 3 章 便利な使い方」の、「装置情報を確認する」をご覧いただき、必要な情報をご記入ください。(☞ P.3-50)

警告ラベルについて

本装置には、下記の警告ラベルが貼ってあります。警告ラベルの内容を十分理解してください。
なお、警告ラベルが汚れて読めなくなったり剥がれた場合は、新しい警告ラベルを販売店または弊社営業所にてお買い求めください。

フロントカバーが開いている状態

❹ ❸

❺ 左右のメディア押さえに貼り付けています

❶ ❷ ❸ ❸

❷

No.	注文番号	ラベル
1	M901549	⚠注 意 滚轮转动时, 请勿将手插入前面外盖的内部。 / ⚠注 意 キャリッジ動作中は、フロントカバーの中に指を入れないでください。 / ⚠CAUTION -MOVING CARRIAGE- Do not put fingers inside this area / ⚠ACHTUNG -Beweglicher Wagen- Finger nicht in diesen Bereich bringen. / ⚠ATTENTION -CHARIOT MOBILE- Ne pas mettre de doigts dans cette zone.
2	M903239	
3	M903330	
4	M903405	
5	M904810	

機能フローチャート

＜ローカル．１＞ ［＃０１］
ハハ゛：＊＊＊＊mm
REMOTE
ケ゛ンテン セッテイ
０．０ －－－－
ENTER
ケ゛ンテン セッテイ
＊＊ ケ゛ンテン ＊＊
FUNCTION
メテ゛ィア カット
＜ｅｎｔ＞
END
原点設定含め終了
HEATER
ＰＲＥ ＰＲＴ ＡＦＴ
３５°Ｃ ４０°Ｃ ５０°Ｃ
ENTER
４０°Ｃ ４０°Ｃ ５０°Ｃ
（ ＯＦＦ ＯＦＦ ＯＦＦ ）
END
TEST DRAW
テスト サクス゛
（ＳＣＡＮ ホウコウ） ＜ＥＮＴ＞
ENTER
＊＊ テスト サクス゛ ＊＊
END
END
テスト サクス゛
（ＦＥＥＤ ホウコウ） ＜ＥＮＴ＞
ENTER
CLEANING
クリーニンク゛
タイフ゜ ：ノーマル
ENTER
クリーニンク゛ チュウ
００：００
END
ソフト、ハード
DATA CLEAR
テ゛ーター クリア
ENTER
＊＊ テ゛ーター クリア ＊＊
END
USER TYPE
ユーサ゛ー タイフ゜ ヘンコウ
タイフ゜（１） －＞ ＜２＞ ：ｅｎｔ
END
ENTER
ＥＳ３ ＭＭＣＣＹＹＫＫ
サ゛ンリョウ ３４５６７８９９
ENTER
ヘット゛ タカサ ： ウスイ
メテ゛ィア ハハ゛ ： １０００ｍｍ
ENTER
END
ＪＶ３３－１６０ Ｖ１．００
ＭＲＬ－ＩＩＩ Ｖ１．００
FUNCTION

メテ゛ィア　サ゛ンリョウ　サクス゛
<ENT>

メンテナンスメニューの [メディアザンリョウ] が “**ON**” の場合のみ

ヒ　シ゛ュンセイ　インク M－C－　－－－K	インク　IC　イシ゛ョウ M－C－　－－－K	インク　シュルイ M－C－　－－－K
インク　カラー M－C－　－－－K	カートリッシ゛　イシ゛ョウ M－C－　－－－K	カートリッシ゛　ナシ M－C－　－－－K
キケ゛ン　キ゛レ　（２カケ゛ツ） M－C－　－－－K	サ゛ンリョウ　０ M－C－　－－－K	インク　エント゛ M－C－　－－－K
インク　ニア　エント゛ M－C－　－－－K	キケ゛ン　キ゛レ　（１カケ゛ツ） M－C－　－－－K	インク　キケ゛ン　キ゛レ M－C－　－－－K

<ローカル．1> [#01]
ハハ゛：＊＊＊＊mm

FUNCTION

FUNCTION
セッテイ <ENT>

ENTER

SETUP

FUNCTION
メンテナンス <ENT>

ENTER

MAINTENANCE

FUNCTION
マシン　セッテイ <ENT>

ENTER

MACHINE SET

FUNCTION
マシンセッテイ2 <ENT>

ENTER

MACHINE SET 2

FUNCTION
シ゛ョウホウ <ENT>

ENTER

INFOMATION

FUNCTION
DISPLAY <ENT>

ENTER

DISPLAY
Japanese <ent>

English <ent>
German <ent>
French <ent>
Spanish <ent>
Italian <ent>
Portugues <ent>

P.6-12 へ進む

P.6-20 へ進む

P.6-28 へ進む

P.6-29 へ進む

P.6-30 へ進む

シハ゛ラク オマチクタ゛サイ
サクス゛ チュウ

作図終了

[1]メテ゛ィア ホセイ
ホセイチ = 0

-255 ～ 255

PRE PRT AFT
35 °C 40 °C 50 °C

数値変更、カーソル移動

スタンハ゛イ :OFF シ゛カン
10min : ナシ

数値変更、カーソル移動

[1]サクス゛ ホウシキ
DRAFT ヒンシツ :ヒョウシ゛ュン

ヒョウジュン / ハヤイ / キレイ

FUNCTION

[1]DRAFT ヒンシツ
540x720 ‹ent›

ENTER

[1]DRAFT ヒンシツ
PASS=8 :スキャン=コウソク

[1]DRAFT ヒンシツ
540x900 ‹ent›

ENTER

[1]DRAFT ヒンシツ
PASS=20:スキャン=コウソク

[1]DRAFT ヒンシツ
540x1080 ‹ent›

ENTER

[1]DRAFT ヒンシツ
PASS=12:スキャン=ヒョウシ゛ュン

[1]サクス゛ ホウシキ
FINE ヒンシツ :キレイ

ヒョウジュン / ハヤイ / キレイ

FUNCTION

[1]FINE ヒンシツ
720x540 ‹ent›

ENTER

[1]FINE ヒンシツ
PASS=12:スキャン=コウソク

[1]FINE ヒンシツ
720x720 ‹ent›

ENTER

[1]FINE ヒンシツ
PASS=16:スキャン=ヒョウシ゛ュン

[1]FINE ヒンシツ
720x1080 ‹ent›

ENTER

[1]FINE ヒンシツ
PASS=4 :スキャン=コウソク

[1]FINE ヒンシツ
720x1440 ‹ent›

ENTER

[1]FINE ヒンシツ
PASS=32:スキャン=コウソク

P6-12 から

P6-12 から

[1]サクス゛ ホウシキ
スキャン ホウコウ <ent>

ENTER

[1]サクス゛ ホウシキ
ロシ゛カルシーク <ent>

ENTER

[1]サクス゛ ホウシキ
シロ カサネサクス゛ <ent>

ENTER

SS21 (6+ 白) インク充填時のみ

[1]
カサネヌリ <ent>

ENTER

[1]カサネヌリ
セッテイ :1カイ

1～9 カイ

[1]
カンソウ シ゛カン <ent>

ENTER

スキャン :サクス゛エント゛
0.0s : 0s

数値変更、
カーソル移動

[1]
オート カット <ent>

ENTER

[1]オート カット
セッテイ :OFF

ON / OFF

[1]
フ゜リ フィート゛ <ent>

ENTER

[1]フ゜リ フィート゛
セッテイ :OFF

ON / OFF

[1]
マーシ゛ン <ent>

ENTER

ヒタ゛リ : ミキ゛
0mm : 0mm

数値変更、
カーソル移動

[1]
カラー ハ゜ターン <ent>

ENTER

[1]カラー ハ゜ターン
セッテイ :ON

ON / OFF

P6-16 へ

[1] サクス゛　ホウシキ
スキャン　ホウコウ　　　: ソウホウコウ

ソウホウコウ / タンホウコウ

[1] サクス゛　ホウシキ
ロシ゛カルシーク　　　　: ON

ON / OFF

[1] シロ　カサネサクス゛
セッテイルシーク　　　: OFF

OFF / ON (LEVEL 1~3)

P6-14 から

P6-18 へ

[1]ユウセン　シ゛ュンイ
メテ゛ィア　ホセイ　: ホスト
ホスト / パネル

ENTER

[1]ユウセン　シ゛ュンイ
ヒーター　: ホスト
ホスト / パネル

ENTER

[1]ユウセン　シ゛ュンイ
サクス゛　ホウシキ　: ホスト
ホスト / パネル

ENTER

[1]ユウセン　シ゛ュンイ
カサネヌリ　: ホスト
ホスト / パネル

ENTER

[1]ユウセン　シ゛ュンイ
カンソウ　シ゛カン　: ホスト
ホスト / パネル

ENTER

[1]ユウセン　シ゛ュンイ
オート　カット　: ホスト
ホスト / パネル

ENTER

[1]ユウセン　シ゛ュンイ
フ゜リ　フィート゛　: ホスト
ホスト / パネル

ENTER

[1]ユウセン　シ゛ュンイ
マーシ゛ン　: ホスト
ホスト / パネル

ENTER

[1]ユウセン　シ゛ュンイ
カラー　ハ゜ターン　: ホスト
ホスト / パネル

ENTER

[1]ユウセン　シ゛ュンイ
リフレッシュ　: ホスト
ホスト / パネル

ENTER

[1]ユウセン　シ゛ュンイ
キュウチャク　: ホスト
ホスト / パネル

ENTER

[1]ユウセン　シ゛ュンイ
フィート゛　ソクト゛　レヘ゛ル : ホスト
ホスト / パネル

カンカク　: タイフ゜
1000mm　: ノーマル

数値変更、
カーソル移動

カンカク　: タイフ゜
1000mm　: ノーマル

数値変更、
カーソル移動

付録

6

P6-16 から

[1]
メディア　ケンシュツ　　　<ent>

[1]メディア　ケンシュツ
ケンシュツ　ホウホウ　　　<ent>

[1]メディア　ケンシュツ
カット　ジ　ケンシュツ　　<ent>

[1]
オクリ　ゲンテン　　　　<ent>

[1]オクリ　ゲンテン
セッテイ　　　　　　　　:OFF

ON / OFF

[1]
セッテイ　リセット　　　<ent>

[1]セッテイ　リセット
リセット　　　　　　　　:ent

ENTER

[1] メデ゛ィア　ケンシュツ
ケンシュツ　ホウホウ　　　　　: セレクト

セレクト / ハバ

[1] メデ゛ィア　ケンシュツ
ケンシュツ　　　　: リョウ　エッシ゛

リョウエッジ / ミギエッジ /
ヒダリエッジ / ナシ

選択ユーザータイプの
設定パラメータの初期化

付録

6

MAINTENANCE

メンテナンス
ステーション　メンテナンス　　＜ｅｎｔ＞

ENTER

ステーション　メンテナンス
キャリッジ　アウト　　　＜ｅｎｔ＞

ENTER

ステーション　メンテナンス
シュウリョウ　　　　　：ｅｎｔ

ENTER

ステーション　メンテナンス
ワイパー　コウカン　　　＜ｅｎｔ＞

ENTER

ステーション　メンテナンス
シュウリョウ　　　　　：ｅｎｔ

ENTER

ステーション　メンテナンス
ノズル　センジョウ　　　＜ｅｎｔ＞

ENTER

ワイパー　クリーニング
シュウリョウ　（ツギへ）　：ｅｎｔ

ENTER

ステーション　メンテナンス
ＰＵＭＰチューブセンジョウ＜ｅｎｔ＞

ENTER

ステーション　メンテナンス
シュウリョウ　　　　　：ｅｎｔ

ENTER

ステーション　メンテナンス
ホカン　センジョウ　　　＜ｅｎｔ＞

ENTER

ワイパー　クリーニング
シュウリョウ　（ツギへ）　：ｅｎｔ

ENTER

メンテナンス
キャリッジ　メンテナンス　　＜ｅｎｔ＞

ENTER

キャリッジ　メンテナンス
シュウリョウ　　　　　：ｅｎｔ

ENTER

カバーヲ　シメテクダサイ

P6-22 へ

カハ゛ーヲ　シメテクタ゛サイ → カバーを閉める → RESTART

カハ゛ーヲ　シメテクタ゛サイ → カバーを閉める → RESTART

センシ゛ョウエキ　ヲ　ミタス
シュウリョウ　（ツキ゛ヘ）　:ent
ENTER
ステーション　メンテナンス
ホウチ　シ゛カン　:1min
ENTER
カハ゛ーヲ　シメテクタ゛サイ
カバーを閉める
RESTART

カハ゛ーヲ　シメテクタ゛サイ → カバーを閉める → RESTART

センシ゛ョウエキ　ヲ　ミタス
シュウリョウ　（ツキ゛ヘ）　:ent
ENTER
ステーション　メンテナンス
ホウチ　シ゛カン　:1min
ENTER
カハ゛ーヲ　シメテクタ゛サイ
カバーを閉める
＊　ショキカ　チュウ　＊
シハ゛ラク　オマチクタ゛サイ
センシ゛ョウエキ　ヲ　ミタス
シュウリョウ　:ent
ENTER
カハ゛ーヲ　シメテクタ゛サイ
カバーを閉める
RESTART

カバーを閉める → RESTART

付録

6

P6-20 から

メンテナンス
ヘット゛ メンテナンス <ent>

ENTER

ヘット゛ メンテナンス
インクシ゛ュウテン <ent>

ENTER

インク シ゛ュウテン チュウ
00:00

ヘット゛ メンテナンス
ハイシュツ&センシ゛ョウ <ent>

ENTER

インク カートリッシ゛ ヲ ハス゛ス
MMCC YYKK

ENTER

ヘット゛ メンテナンス
メンテナンス センシ゛ョウエキ<ent>

ENTER

メンテナンス センシ゛ョウエキ
シ゛ュウテン <ent>

ENTER

メンテナンス センシ゛ョウエキ
ハイシュツ <ent>

ENTER

メンテナンス
ト゛ット イチ ホセイ <ent>

ENTER

ト゛ット イチ ホセイ
サクス゛ カイシ :ent

ENTER

サクス゛ チュウ
シハ゛ラク オマチクタ゛サイ

P6-24 へ

＊ ハイシュツ　チュウ　＊
00：00

センシ゛ョウ　エキ　ヲ　セット　スル
1234　5678

＊ キュウイン　チュウ　＊
00：00

センシ゛ョウ　エキ　ヲ　ハス゛ス
1234　5678

＊ ハイシュツ　チュウ　＊
00：00

センシ゛ョウ　エキ　ヲ　セット　スル
1234　5678

＊ キュウイン　チュウ　＊
00：00

センシ゛ョウ　エキ　ヲ　ハス゛ス
1234　5678

＊ ハイシュツ　チュウ　＊
00：00

シ゛ョウキョウニ　オウシ゛テ　センタク
END＜　　　　＞サイセンシ゛ョウ

メンテナンス　センシ゛ョウエキ
カートリッシ゛　：　ナシ

ENTER

メンテナンス　センシ゛ョウエキ
シ゛ュウテン　カイシ　：ent

メンテナンス　センシ゛ョウエキ
カートリッシ゛　：　アリ

ENTER

メンテナンス　センシ゛ョウエキ
ハイシュツ　カイシ　：ent

作図終了

ト゛ット　イチ　ホセイ
ハ゜ターン1　＝　0.0

ENTER

パターン2～の
設定を行う

P6-22 から

メンテナンス
スリープ゜ セッテイ <ent>

ENTER

スリープ゜ セッテイ
リフレッシュ <ent>

ENTER

スリープ゜ セッテイ
リフレッシュ カンカク = 1 h

OFF/1 ～ 168h

スリープ゜ セッテイ
PUMPチューブ゛センジ゛ョウ<ent>

ENTER

スリープ゜ セッテイ
センジ゛ョウ カンカク = 4 h

OFF/1 ～ 168h

スリープ゜ セッテイ
クリーニング゛ <ent>

ENTER

スリープ゜ セッテイ
クリーニング゛ カンカク = OFF

FUNCTION

OFF/1 ～ 168h

メンテナンス
テイキ セッテイ <ent>

ENTER

テイキ セッテイ
テイキ ワイピ゜ング゛ <ent>

ENTER

テイキ ワイピ゜ング゛
スキャン カイスウ <ent>

ENTER

テイキ ワイピ゜ング゛
オンド゛サ <ent>

ENTER

テイキ セッテイ
リフレッシュ <ent>

ENTER

テイキ セッテイ
リフレッシュ カンカク = 1 h

OFF/1 ～ 168h

テイキ セッテイ
PUMPチューブ゛センジ゛ョウ<ent>

ENTER

テイキ セッテイ
センジ゛ョウ カンカク = 4 h

OFF/1 ～ 168h

テイキ セッテイ
クリーニング゛ <ent>

ENTER

テイキ セッテイ
クリーニング゛ カンカク = OFF

FUNCTION

OFF/1 ～ 168h

メンテナンス
ワイパ゜ー レベ゛ル <ent>

ENTER

ワイパ゜ー レベ゛ル
レベ゛ル :10/10

9/10 ～ 1/10

P6-26 へ

P6-24 から

メンテナンス ハイインクタンク　コウカン　　<ent>	ENTER	ハイインクタンク　コウカン コウカン　　　　　　　　:ent

メンテナンス メテ゛ィア　サ゛ンリョウ　　<ent>	ENTER	メテ゛ィア　サ゛ンリョウ セッテイ　　　　　　　　:OFF

ON / OFF

メンテナンス ホワイト　メンテナンス　　<ent>	ENTER	ホワイト　メンテナンス センタク　　　:　LEVEL1	ENTER	ホワイトインクカートリッシ゛　ヲ フッテクタ゛サイ　　　:ent
		ホワイト　メンテナンス センタク　　　:　LEVEL2	ENTER	ホワイトインクカートリッシ゛　ヲ フッテクタ゛サイ　　　:ent
		ホワイト　メンテナンス センタク　　　:　LEVEL3	ENTER	ホワイトインクカートリッシ゛　ヲ フッテクタ゛サイ　　　:ent

LV.1 > ノズ゛ル センシ゛ョウ
03:00

LV.1 > クリーニンク゛
02:00

LV.2 > ノズ゛ル センシ゛ョウ
03:00

LV.2 > シ゛ュウテン
00:30

LV.2 > クリーニンク゛
02:00

LV.3 > ノズ゛ル センシ゛ョウ
03:00

インクカートリッシ゛ ヲ ハズ゛ス
_W_W_ _ _ _

LV.3 > ハイシュツ
01:30

インクカートリッシ゛ ヲ セットスル
_W_W_ _ _ _

LV.3 > シ゛ュウテン
00:30

LV.3 > クリーニンク゛
02:00

MACHINE SETUP

マシン　セッテイ
ハイキ　ファン　<ent>

ENTER

ハイキ　ファン
テイシ　タイマー　<ent>

ENTER

ハイキ　ファン
テイシ　タイマー　：120Min

ハイキ　ファン
キリカエ　<ent>

ENTER

ハイキ　ファン
キリカエ　：ON

ON / OFF

マシン　セッテイ
カンソウ　フィート゛　<ent>

ENTER

カンソウ　フィート゛
セッテイ　：ON

ON / OFF

マシン　セッテイ
スタンフ゜　セッテイ　<ent>

ENTER

スタンフ゜　セッテイ
スタンフ゜　：OFF

ON / OFF

マシン　セッテイ
ハイインク　ワーニンク゛　<ent>

ENTER

ハイインク　ワーニンク゛
セッテイ　：ON

ON / OFF

マシン　セッテイ
テスト　サクス゛　ハイチ　<ent>

ENTER

テスト　サクス゛　ハイチ
セッテイ　：FEED　ホウコウ

FEED ホウコウ / SCAN ホウコウ

マシン　セッテイ
インク　キョウキュウ　ユウセン<ent>

ENTER

インク　キョウキュウ　ユウセン
センタク　：サ゛ンリョウ

ザンリョウ / ユウコウキゲン

ファームウェアバージョン **V4.60** より

マシン　セッテイ
シツオン　<ent>

ENTER

シツオン
センタク　：トウタツ　ヲ　マツ

トウタツ ヲ マタナイ / トウタツ ヲ マツ

MACHINE SETUP 2

マシン　セッテイ2
カクニン　フィート゛　<ent>
ENTER
カクニン　フィート゛
セッテイ　:ON
ON / OFF

カクニンフィード ON の場合のみ
FUNCTION
カクニン　フィート゛
メテ゛ィア　モト゛シ　フィート゛:ON
ON / OFF

マシン　セッテイ2
シ゛コク　セッテイ　<ent>
ENTER
シ゛コク　セッテイ
2012.10.05　15:30:00
ENTER
シ゛コク　セッテイ
2012.10.05　15:30:00

マシン　セッテイ2
タンイ　セッテイ　<ent>
ENTER
オント゛　:　ナカ゛サ
°C　:　mm
オンド　:　℃ / °F
ナガサ　:　mm / inch

マシン　セッテイ2
マシン　メイショウ　<ent>
ENTER
マシン　メイショウ
JV33-01

マシン　セッテイ2
キー　フ゛サ゛ー　<ent>
ENTER
キー　フ゛サ゛ー
セッテイ　:ON
ON / OFF

INFOMATION

シ゛ョウホウ
エラー リレキ ‹ent›

ENTER

エラー リレキ
[01] 12.10.10 12:15

エラー内容を表示

シ゛ョウホウ
メンテナンス リレキ ‹ent›

ENTER

[01] 12.09.29 08:18
キャリッシ゛ アウト

シ゛ョウホウ
サクス゛ モート゛ リレキ ‹ent›

ENTER

[01] 720x1080 .12
Bd.Vd.x1.1L: 12.34m

サクス゛ モート゛ リレキ
[01] 12.09.29 09:57

シ゛ョウホウ
リスト ‹ent›

ENTER

リスト
＊＊ サクス゛ チュウ ＊＊

ファームウェアバージョン **V4.60** より

シ゛ョウホウ
インク コウカン レホ゜ート ‹ent›

ENTER

作図開始

シ゛ョウホウ
ハ゛ーシ゛ョン ‹ent›

ENTER

JV33-160 V5.00
MRL-III V1.20

シ゛ョウホウ
シリアル ＆ テ゛ィーラーNo‹ent›

ENTER

S/N = ＊＊＊＊＊＊＊＊
D/N = ＊＊＊＊＊＊＊＊

索引

さ

し

す

せ

そ

た

て

と

に

の

は

ひ

ふ

へ

ほ

ま

め

ゆ

り

ろ

わ

JV33-130/160 取扱説明書

2012 年 1 月

発行者　　株式会社ミマキエンジニアリング
発行所　　株式会社ミマキエンジニアリング
〒 389-0512
長野県東御市滋野乙 2182-3

D201693-16-31012012